

令和6年度 第2回市民意識調査 報告書

調査期間：令和6年8月9日(金)～8月25日(日)

テーマ

- 1 市政広報について
- 2 災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について
- 3 歯・口腔の健康づくりについて
- 4 札幌市における自殺対策について

札幌市

目 次

1 調査実施の概要

(1) 目 的	5
(2) 項 目	5
(3) 設 計	5
(4) 回収結果	5
(5) 回答者の特性	5
(6) 集計・分析上の注意事項	6

2 調査結果の詳細

(1) 市政広報について

「広報さっぽろ」を読んでいる割合	9
「広報さっぽろ」で読みたい企画について	10
「広報さっぽろ」を読んでいない理由	11
「広報さっぽろ」で重点的に取り上げてほしいテーマ	12
「広報さっぽろ」で取り上げてほしい特集記事の具体的な内容	13
データ放送によるお知らせ情報配信の認知度、利用の有無について	14
データ放送で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由	15
市が行うイベント情報の入手方法について	16

(2) 災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について

災害対策として行っていること	17
災害に備えて用意している備蓄品	18
厳冬期における災害用備蓄品の用意について	22
厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について	23
厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由	24
夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について	25
「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無について	26
防災に関して知りたいと思う項目	27
防災に関する知識、情報の取得方法	28
防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無	29
今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うか	30
防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由	31

(3) 歯・口腔の健康づくりについて

過去1年間に歯科健診を受けたか	32
歯の健康のために気をつけていること	33
自身の歯の本数について	34
かんで食えるときの状態について	35
喫煙が歯周病の要因のひとつであることの認知度	36
糖尿病が歯周病を悪化させたり歯周病が糖尿病を悪化させることの認知度	37
「かかりつけ歯科医」の有無	38

どのようなときに「かかりつけ歯科医」を利用するか-----	39
「さっぽろ市歯周病検診」の受診の有無-----	40
「さっぽろ市歯周病検診」を受診した年齢-----	41
「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由-----	42
「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由-----	43
「後期高齢者歯科健診」の受診の有無-----	44
「後期高齢者歯科健診」を受診した理由-----	45
オーラルフレイルの認知度-----	46
(4) 札幌市における自殺対策について	
札幌市で年間300人以上が自殺していることに関する認知度-----	47
自殺に関する相談を受けたことがあるか-----	48
悩んでいる人に対する最も望ましいと思う対応について-----	49
「ゲートキーパー」に関する認知度-----	50
アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え	
ア 依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない-----	51
イ 依存症は、誰にでも起こりうる問題である-----	52
ウ お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない-----	53
エ 借金などのトラブルを家族が肩代わりして解決するべきではない-----	54
オ 本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切----	55
カ 本人が依存症であることを認めることから回復が始まる-----	56
キ 依存症の回復には長い時間がかかる-----	57
自殺対策の取り組み-----	58
自殺対策の取り組みを知ったきっかけ-----	59
「生きがい」を持っているか-----	60
自身の持っている「生きがい」の内容-----	61
過去1年間のうちに死のうとした、死にたいと考えた事があるか-----	62
死のうとした、死にたいと考えた原因-----	63
死のうとした、死にたいと考えたのを思いとどまったきっかけ-----	64
困りごとや相談を聞いてほしい相手、場所-----	65
自殺のない社会の実現のために推進したい取組-----	66
資料：令和6年度第2回市民意識調査票-----	68

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 6 年度第 2 回調査では、「市政広報について」「災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

市政広報について
災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について
歯・口腔の健康づくりについて
札幌市における自殺対策について

(3) 設計

調査地域 札幌市内
調査対象 満 18 歳以上の男女個人
標本数 5,000 人
調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
調査期間 令和 6 年(2024 年)8 月 9 日(金)～8 月 25 日(日)
抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,237 (44.7%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,237	100.0	872	39.0	1,339	59.9	8	0.4	18	0.8	2,237	100.0
【性別】												
男性	872	39.0	872	100.0	-	-	-	-	-	-	872	100.0
女性	1,339	59.9	-	-	1,339	100.0	-	-	-	-	1,339	100.0
その他	8	0.4	-	-	-	-	8	100.0	-	-	8	100.0
無回答	18	0.8	-	-	-	-	-	-	18	100.0	18	100.0
【年代】												
29歳以下	137	6.1	64	46.7	71	51.8	2	1.5	-	-	137	100.0
30～39歳	196	8.8	73	37.2	122	62.2	1	0.5	-	-	196	100.0
40～49歳	335	15.0	123	36.7	209	62.4	3	0.9	-	-	335	100.0
50～59歳	411	18.4	155	37.7	255	62.0	1	0.2	-	-	411	100.0
60～69歳	446	19.9	180	40.4	264	59.2	1	0.2	1	0.2	446	100.0
70歳以上	693	31.0	277	40.0	415	59.9	-	-	1	0.1	693	100.0
無回答	19	0.8	-	-	3	15.8	-	-	16	84.2	19	100.0
【居住区】												
中央区	300	13.4	108	36.0	190	63.3	1	0.3	1	0.3	300	100.0
北区	303	13.5	123	40.6	177	58.4	2	0.7	1	0.3	303	100.0
東区	294	13.1	114	38.8	179	60.9	1	0.3	-	-	294	100.0
白石区	220	9.8	80	36.4	139	63.2	1	0.5	-	-	220	100.0
厚別区	150	6.7	59	39.3	91	60.7	-	-	-	-	150	100.0
豊平区	250	11.2	99	39.6	150	60.0	1	0.4	-	-	250	100.0
清田区	124	5.5	48	38.7	75	60.5	1	0.8	-	-	124	100.0
南区	163	7.3	74	45.4	89	54.6	-	-	-	-	163	100.0
西区	265	11.8	103	38.9	160	60.4	1	0.4	1	0.4	265	100.0
手稲区	150	6.7	64	42.7	86	57.3	-	-	-	-	150	100.0
無回答	18	0.8	-	-	3	16.7	-	-	15	83.3	18	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,237	100.0	872	39.0	1,339	59.9	8	0.4	18	0.8	2,237	100.0
【職業】												
会社員	681	30.4	385	56.5	289	42.4	5	0.7	2	0.3	681	100.0
公務員	79	3.5	44	55.7	35	44.3	-	-	-	-	79	100.0
自営業	95	4.2	62	65.3	32	33.7	-	-	1	1.1	95	100.0
パート・アルバイト	352	15.7	58	16.5	293	83.2	1	0.3	-	-	352	100.0
主婦・主夫	380	17.0	2	0.5	378	99.5	-	-	-	-	380	100.0
学生	42	1.9	17	40.5	25	59.5	-	-	-	-	42	100.0
無職	488	21.8	251	51.4	235	48.2	2	0.4	-	-	488	100.0
その他	92	4.1	50	54.3	42	45.7	-	-	-	-	92	100.0
無回答	28	1.3	3	10.7	10	35.7	-	-	15	53.6	28	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,363	60.9	588	43.1	774	56.8	1	0.1	-	-	1,363	100.0
乳幼児(0～2歳程度)	60	2.7	25	41.7	35	58.3	-	-	-	-	60	100.0
就学前児童(3～5歳程度)	76	3.4	33	43.4	43	56.6	-	-	-	-	76	100.0
小学生(6～12歳程度)	191	8.5	66	34.6	125	65.4	-	-	-	-	191	100.0
中学生(13～15歳程度)	117	5.2	38	32.5	79	67.5	-	-	-	-	117	100.0
高校生(16～18歳程度)	132	5.9	40	30.3	90	68.2	1	0.8	1	0.8	132	100.0
大学(院)・専門学校生	113	5.1	36	31.9	77	68.1	-	-	-	-	113	100.0
65歳以上の高齢者	320	14.3	118	36.9	201	62.8	-	-	1	0.3	320	100.0
上記「1」～「8」以外の方	454	20.3	172	37.9	282	62.1	-	-	-	-	454	100.0
いない	415	18.6	142	34.2	265	63.9	7	1.7	1	0.2	415	100.0
無回答	35	1.6	7	20.0	13	37.1	-	-	15	42.9	35	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

(1) 市政広報について

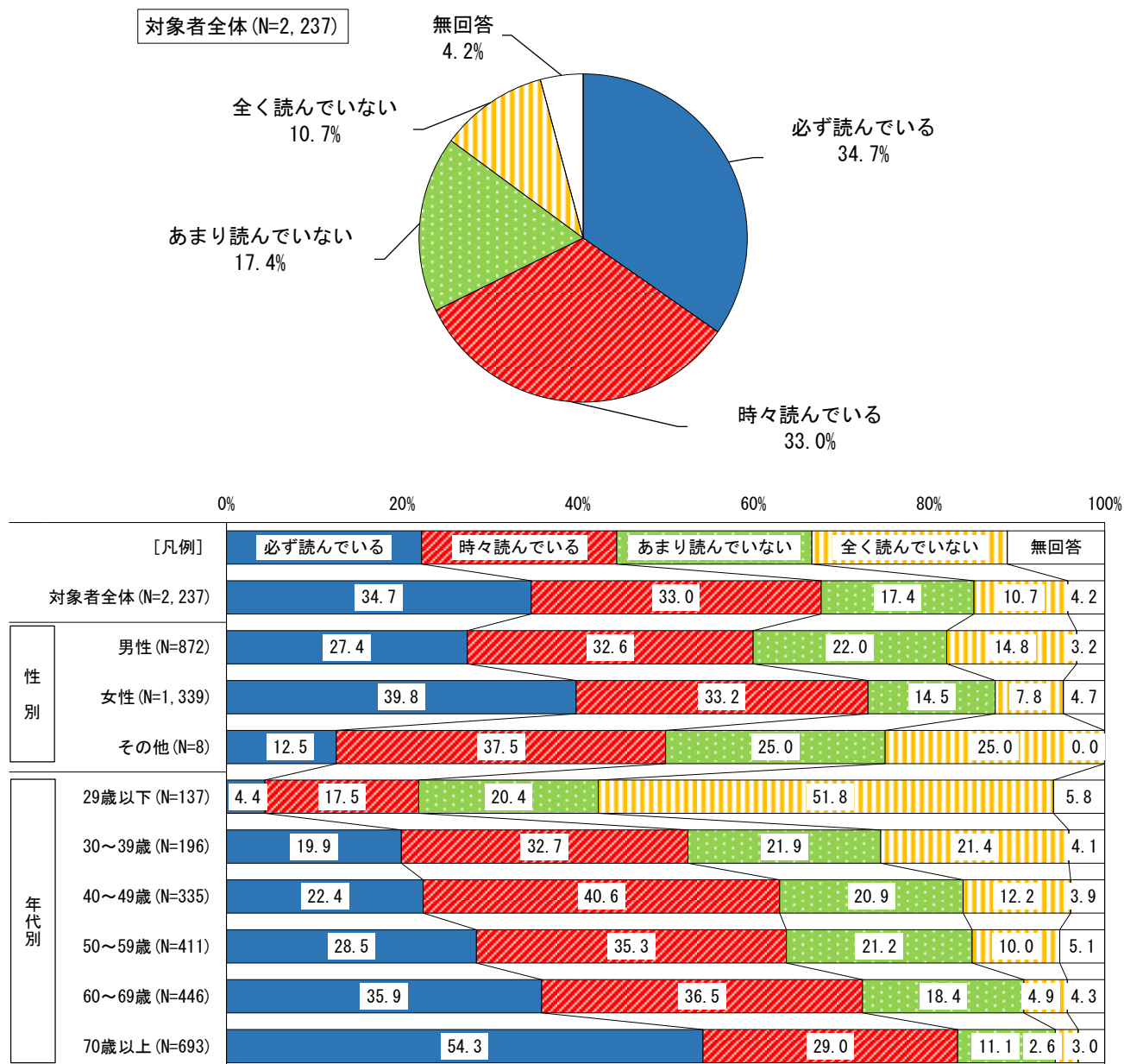
◇「広報さっぽろ」を読んでいる割合

※皆さまにお聞きします。※

問1 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください（ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含みます。）。

「広報さっぽろ」を“読んでいる”人が67.7%

※ “読んでいる” = (「必ず読んでいる」 + 「時々読んでいる」)



【全 体】「広報さっぽろ」を読んでいる割合は、「必ず読んでいる」が34.7%、「時々読んでいる」が33.0%、合わせると67.7%となっている。一方で、「あまり読んでいない」が17.4%、「全く読んでいない」が10.7%、合わせると28.1%となっている。

【性 別】「あまり読んでいない」、「全く読んでいない」は、男性が女性より7.0ポイント以上高くなっている。「必ず読んでいる」は、女性が男性より12.4ポイント高くなっている。

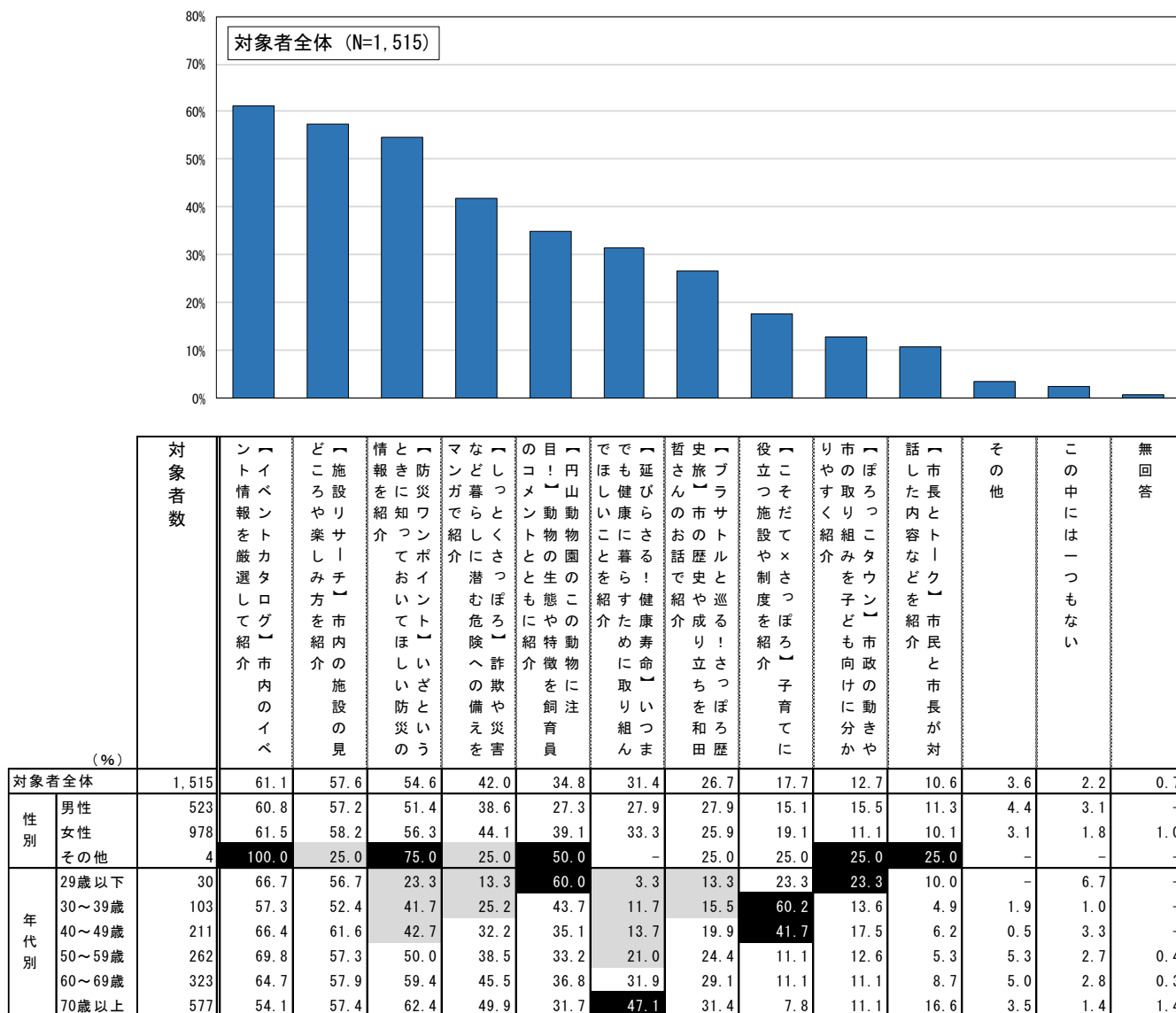
【年代別】“読んでいる”は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「広報さっぽろ」で読みたい企画について

「問1で「1 必ず読んでいる」または「2 時々読んでいる」と答えた方にお聞きします。」

問1—1 「広報さっぽろ」では、主に以下の企画が掲載されています。次のうち、あなたは、どの企画を読みたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「広報さっぽろ」で読みたい企画については、「【イベントカタログ】市内のイベント情報を厳選して紹介」と回答した人が61.1%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「広報さっぽろ」で読みたい企画については、「【イベントカタログ】市内のイベント情報を厳選して紹介」が61.1%、「【施設リサーチ】市内の施設の見どころや楽しみ方を紹介」が57.6%、「【防災ワンポイント】いざというときに知っておいてほしい防災の情報を紹介」が54.6%となっている。

【性 別】「【しっとくさっぽろ】詐欺や災害など暮らしに潜む危険への備えをマンガで紹介」、「【円山動物園のこの動物に注目！】動物の生態や特徴を飼育員のコメントとともに紹介」、「【延びらさる！健康寿命】いつまでも健康に暮らすために取り組んでほしいことを紹介」は、女性が男性より5.4ポイント以上高くなっている。

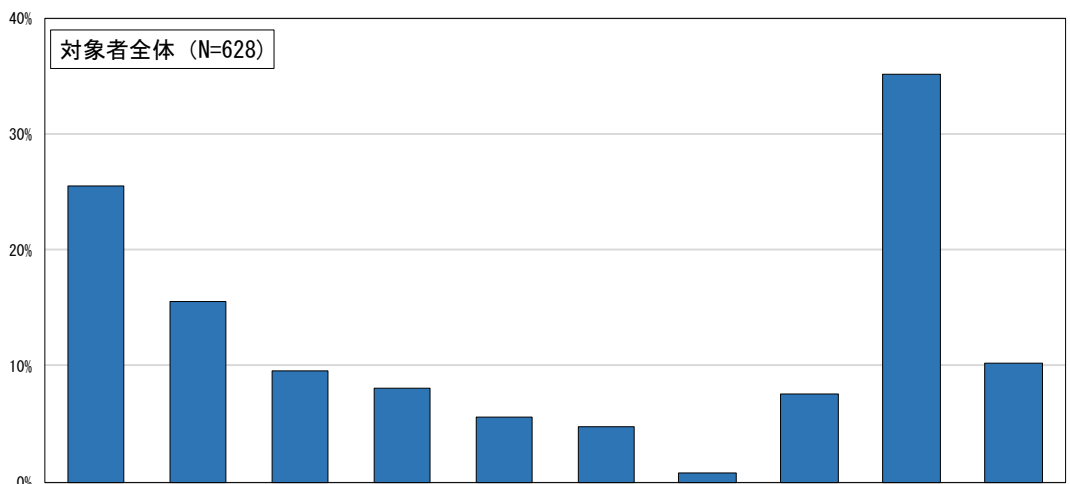
【年代別】「【イベントカタログ】市内のイベント情報を厳選して紹介」が50歳代（69.8%）で最も高く、次いで29歳以下（66.7%）、40歳代（66.4%）となっている。

◇「広報さっぽろ」を読んでいない理由

「問1で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きします。」

問1—2 あなたが、「広報さっぽろ」を読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「広報さっぽろ」を読んでいない理由は、「読む時間がないから」と回答した人が25.5%



		対象者数	読む時間がないから	知りたい情報が掲載されていないから	市政に関心がないから	文字が多く、読む気になれないから	誌面の構成が読みづらいから	市政情報は別の手段で入手しているから	表紙のデザインが好きではないから	その他	特に理由はない	無回答
		(%)										
対象者全体		628	25.5	15.6	9.6	8.1	5.6	4.8	0.8	7.6	35.2	10.2
性別	男性	321	22.7	13.1	10.0	6.5	5.9	5.0	0.6	8.4	38.3	9.3
	女性	298	28.9	17.8	9.1	9.7	5.4	4.7	1.0	6.4	32.2	11.1
	その他	4	-	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-
年代別	29歳以下	99	22.2	6.1	15.2	5.1	-	2.0	-	14.1	36.4	10.1
	30～39歳	85	38.8	17.6	10.6	14.1	3.5	2.4	2.4	4.7	28.2	5.9
	40～49歳	111	28.8	17.1	8.1	5.4	4.5	9.9	0.9	5.4	36.0	9.9
	50～59歳	128	30.5	18.8	10.9	8.6	6.3	6.3	1.6	6.3	31.3	9.4
	60～69歳	104	21.2	24.0	8.7	7.7	12.5	2.9	-	2.9	34.6	11.5
	70歳以上	95	10.5	8.4	4.2	8.4	6.3	4.2	-	12.6	46.3	13.7

 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「広報さっぽろ」を読んでいない理由は、「読む時間がないから」が25.5%、「知りたい情報が掲載されていないから」が15.6%、「市政に関心がないから」が9.6%となっている。

【性 別】「読む時間がないから」は、女性が28.9%と、男性の22.7%より6.1ポイント高くなっている。

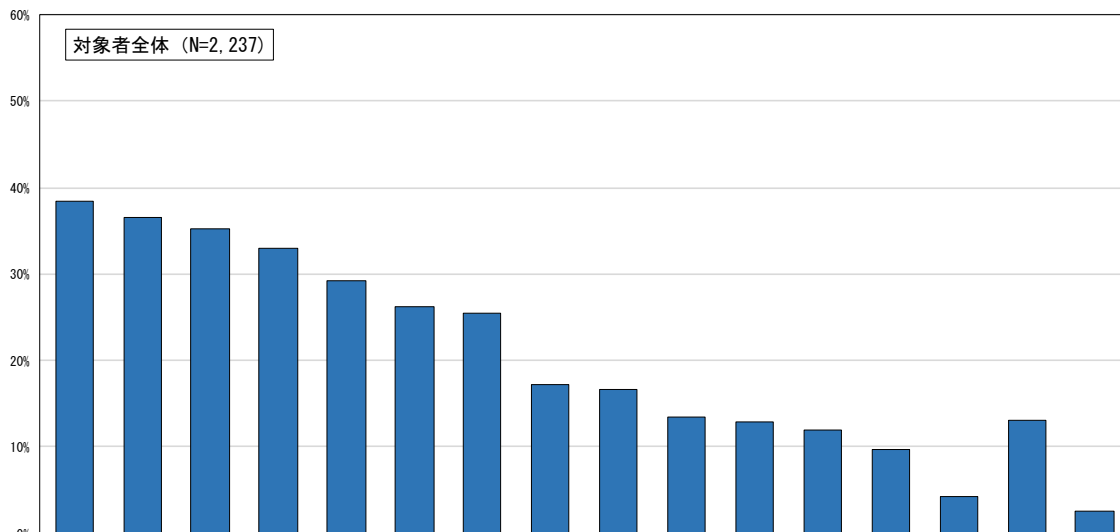
【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「読む時間がないから」が、60歳代では「知りたい情報が掲載されていないから」が最も高くなっている。

◇「広報さっぽろ」で重点的に取り上げてほしいテーマ

※皆さまにお聞きます。※

問2 あなたが、「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「広報さっぽろ」で重点的に取り上げてほしいテーマは、「防災」と回答した人が38.4%



	対象者数	防災	公共施設	高齢者福祉	健康・食	地域のまちづくり活動	文化・芸術	ごみ	子ども・子育て	環境・エネルギー	教育	スポーツ	障がい者福祉	ボランティア	その他	特にない	無回答
対象者全体	2,237	38.4	36.6	35.3	32.9	29.3	26.2	25.5	17.1	16.6	13.4	12.8	12.0	9.7	4.2	13.1	2.5
性別																	
男性	872	36.1	35.1	34.6	28.8	31.3	20.6	23.1	14.9	18.8	12.5	15.8	10.9	9.3	5.5	15.5	1.4
女性	1,339	40.4	37.9	36.2	35.9	28.2	30.0	27.6	18.7	15.3	14.1	11.1	12.9	10.1	3.2	11.3	3.1
その他	8	12.5	25.0	-	12.5	-	25.0	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	25.0	50.0	-
年代別																	
29歳以下	137	23.4	24.8	3.6	26.3	18.2	19.0	8.0	19.7	7.3	13.9	15.3	8.8	5.1	3.6	30.7	0.7
30～39歳	196	25.5	34.7	6.6	26.5	19.4	19.9	12.2	45.9	8.2	23.0	9.2	7.7	6.6	6.1	16.8	-
40～49歳	335	37.6	37.9	12.5	27.5	26.0	23.9	22.7	34.9	12.2	26.3	14.9	9.3	10.4	5.7	15.8	0.3
50～59歳	411	45.3	40.4	29.4	31.4	30.4	30.2	31.4	14.4	16.5	12.2	15.8	12.4	10.7	7.5	14.8	1.0
60～69歳	446	43.5	40.4	41.9	34.8	26.2	30.5	30.3	7.6	17.7	8.1	13.5	11.2	11.9	3.1	10.5	1.8
70歳以上	693	38.5	34.9	60.2	38.7	37.4	25.8	28.1	7.8	22.4	8.8	10.5	15.6	9.2	1.7	7.8	5.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「広報さっぽろ」で重点的に取り上げてほしいテーマは、「防災」が38.4%、「公共施設」が36.6%、「高齢者福祉」が35.3%となっている。

【性 別】「健康・食」、「文化・芸術」は、女性が男性より7.1ポイント以上高くなっている。

【年代別】「高齢者福祉」、「健康・食」、「環境・エネルギー」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また30歳代では「子ども・子育て」が45.9%で最も割合が高くなっている。

◇「広報さっぽろ」で取り上げてほしい特集記事の具体的な内容

≪問2で「1」から「14」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。≫

問2—1 あなたは、問2で答えたテーマについて、具体的にどのような特集記事を読みたいと思いますか。お考えがあれば、ご自由にお書きください。

この設問には 741 人の方が回答を記載しました。回答の一部を照会します。

- 過去に起こった地震等の災害情報をもとに、どのような準備、蓄えが必要なのかを取り上げると良いと思う。(女性・29歳以下)
- 公共施設等で行われている期間限定の展共物の情報や、イベントのお知らせ(女性・29歳以下)
- リニューアルした公園情報。又リニューアルの今後予定のある公園の情報。(女性・30歳代)
- 公共施設での子どもイベントや文化・芸術とのふれあいについて子育てに関するお得な情報など。子どもと行ける公共施設の空いてる時期や時間の特集。(女性・30歳代)
- 病気予防のため食生活の改善特集、料理等、健診特集、病院紹介(女性・40歳代)
- ごみ：リサイクルされるプラごみ、ペットボトル、雑紙等が具体的にどのような再利用のされ方をしているのか知りたい。回収された古着や小型家電等もどのように再利用されているのか詳しく知りたい。(女性・50歳代)
- 札幌市が力を入れている防災活動と市民に取り組んでほしい防災の具体的な活動内容(女性・60歳代)
- 睡眠に役立つ方法とか、健康に過して長いきしておられる方々の体験談の特集があると読みたいです。(女性・70歳以上)
- 健康な生活を送るためにオススメのメニューや食事で気を付けるべきことが書いてあるような記事(男性・29歳以下)
- 支援級や不登校児についての事。また、放課後デイサービスなどの情報もあるとうれしい。(男性・30歳代)
- 市内で開催される、文化的イベント(陶芸や絵画や写真教室)の案内や、小中学校での教育、授業内容(過去との比較)、部活動の現状のお知らせ、地域の防災情報(男性・40歳代)
- 単身者世帯の後見人に関する情報(どこに相談した方が良いか?) (男性・50歳代)
- 都再開発について。特に駅前開発がとても興味深く、令和12年頃には街の景観が様変わりしているかと思いきその様な特集をお願いします。(男性・60歳代)
- 北海道新幹線札幌延伸に伴うトンネル工事開削の進捗状況を毎月定期的に知りたい。※トンネルの長さに対しての開削状況等。(男性・70歳以上)
- 住まいを決めるにあたっての安全・安心に係る情報の紹介や地盤の良し悪し。熊が出没しやすく身の危険が発生している地域。(男性・30歳代)

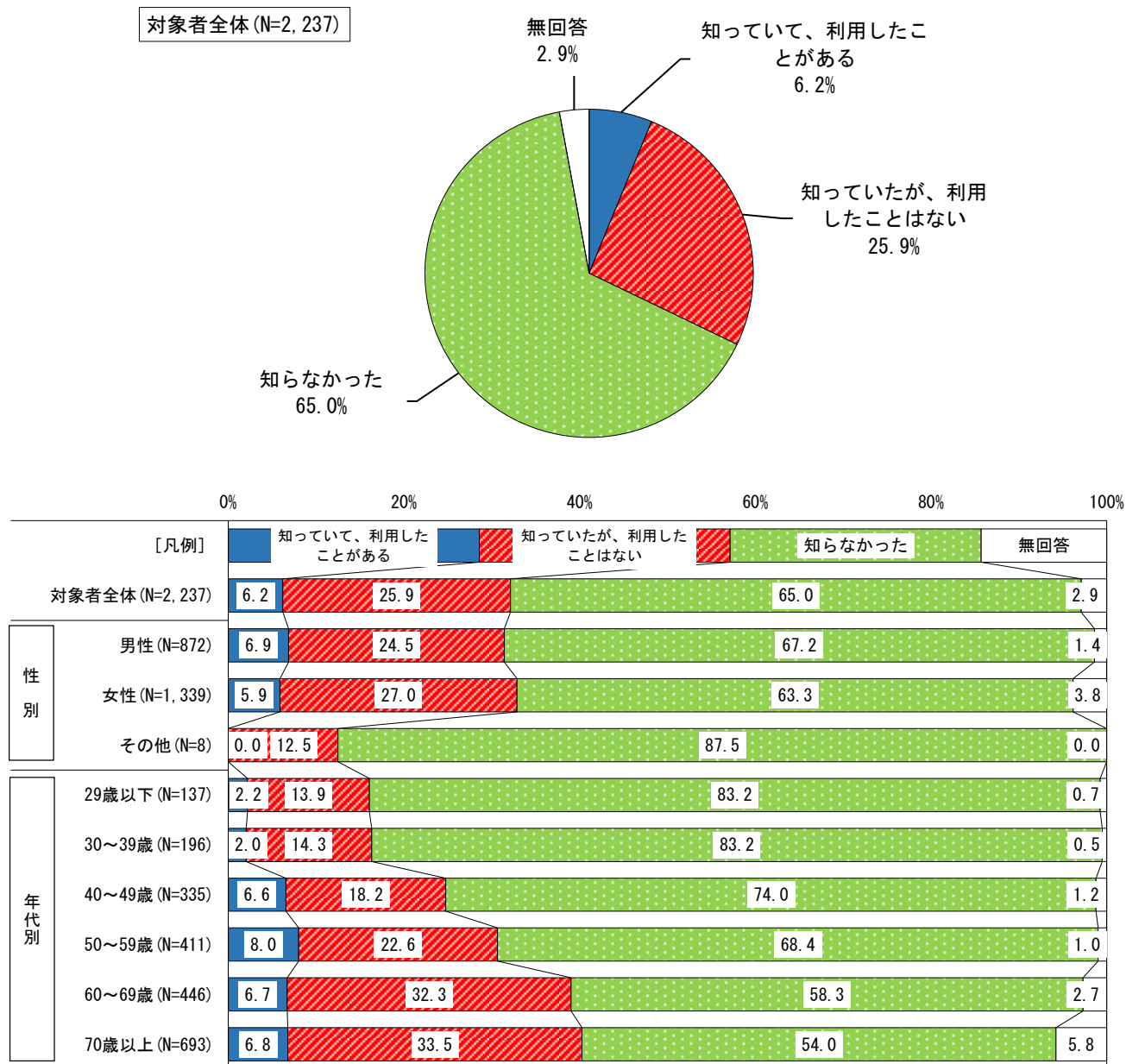
◇データ放送によるお知らせ情報配信の認知度、利用の有無について

※皆さまにお聞きます。≫

問3 あなたは、札幌市からのお知らせ情報がテレビのデータ放送で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市からのお知らせ情報がテレビのデータ放送で配信されていることを“知っていた”人が32.1%

※ “知っていた” = (「知っていて、利用したことがある」 + 「知っていたが、利用したことはない」)



【全 体】 データ放送での配信によるお知らせ情報配信の認知度は、利用の有無については、「知っていて、利用したことがある」が6.2%、「知っていたが、利用してことはない」が25.9%、合すると32.1%となっている。一方で、「知らなかった」が65.0%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

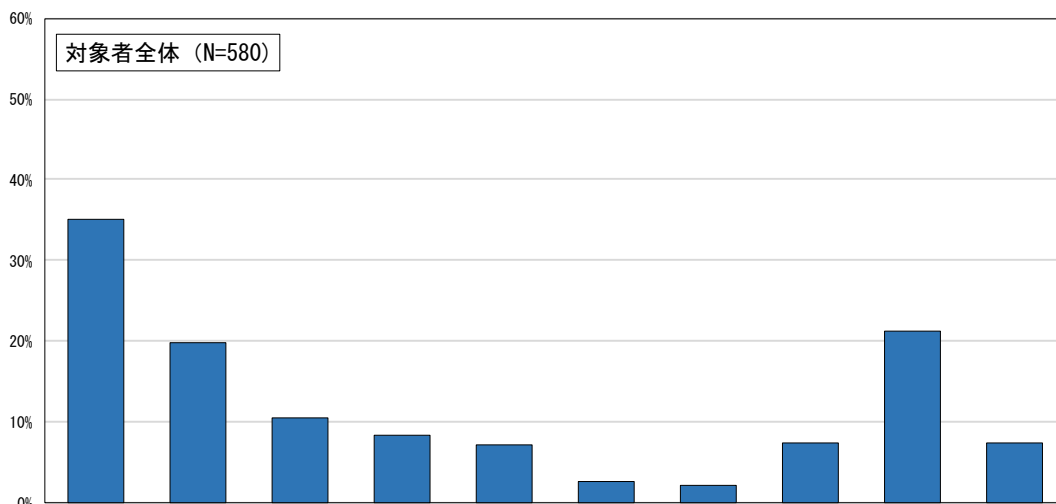
【年代別】 “知っていた” は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇データ放送で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由

≪問3で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。≫

問3—1 あなたが、テレビのデータ放送で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

テレビのデータ放送でお知らせ情報を利用したことがない理由は、「データ放送を見ないから」が35.2%



		対象者数	データ放送を見ないから	札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから	データ放送の見方が分からないから	札幌市からのお知らせ情報を見たいと思わないから	札幌市からのお知らせ情報を見る時間がないから	札幌市からのお知らせ情報を見つけられないから	テレビを持っていないから	その他	特に理由はない	無回答
		(%)										
対象者全体		580	35.2	19.8	10.5	8.4	7.1	2.6	2.1	7.4	21.2	7.4
性別	男性	214	39.3	22.4	6.1	10.3	6.1	1.9	2.8	6.5	19.2	7.0
	女性	361	32.7	18.3	13.0	7.5	7.8	3.0	1.7	8.0	22.2	7.8
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	19	36.8	36.8	5.3	10.5	-	-	-	5.3	15.8	5.3
	30～39歳	28	35.7	14.3	3.6	10.7	14.3	3.6	7.1	10.7	25.0	-
	40～49歳	61	36.1	21.3	6.6	16.4	11.5	-	-	11.5	16.4	-
	50～59歳	93	37.6	17.2	4.3	10.8	14.0	-	3.2	9.7	17.2	6.5
	60～69歳	144	36.1	25.0	5.6	8.3	6.3	1.4	1.4	5.6	22.9	6.3
	70歳以上	232	32.8	16.4	18.5	5.2	3.4	5.2	2.2	6.5	22.8	11.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】データ放送で札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は、「データ放送を見ないから」が35.2%、「札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから」が19.8%、「データ放送の見方が分からないから」が10.5%となっている。

【性 別】「データ放送を見ないから」は、男性が39.3%と、女性の32.7%より6.6ポイント高くなっている。また、「データ放送の見方が分からないから」は、女性が13.0%と、男性の6.1%より6.9ポイント高くなっている。

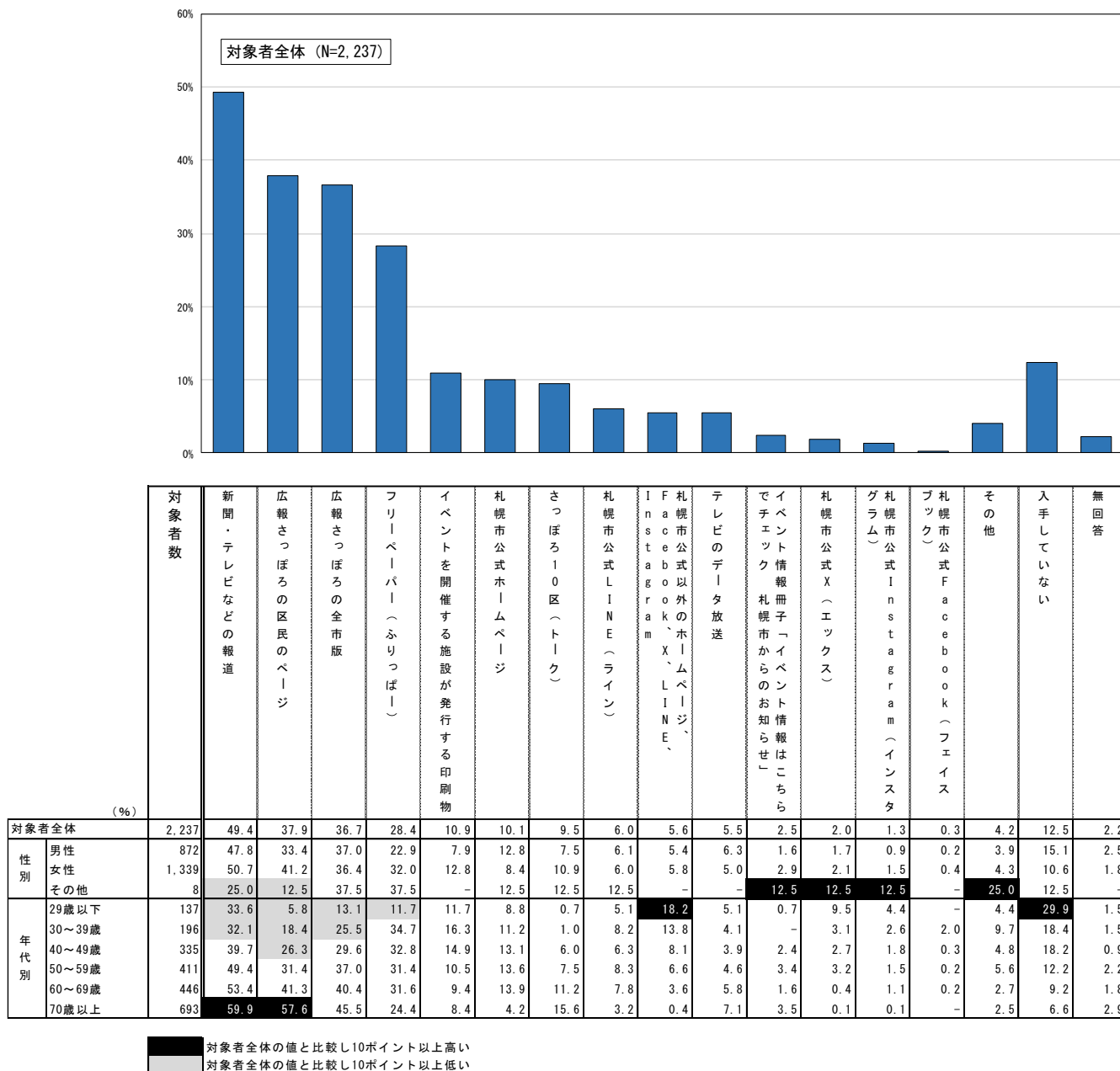
【年代別】「データ放送を見ないから」が50歳代（37.6%）で最も高く、最も低い70歳以上（32.8%）と比べると4.8ポイントの差となっている。

◇市が行うイベント情報の入手方法について

「皆さまにお聞きます。」

問4 あなたは市が行っているイベントの情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

市が行うイベント情報の入手方法については、「新聞・テレビなどの報道」が49.4%



【全 体】市が行うイベント情報の入手方法については、「新聞・テレビなどの報道」が49.4%、「広報さっぽろの区民のページ」が37.9%、「広報さっぽろの全市版」が36.7%となっている。

【性 別】「広報さっぽろの区民のページ」、「フリーペーパー（ふりっぱー）」は、女性が男性より7.8ポイント以上高くなっている。

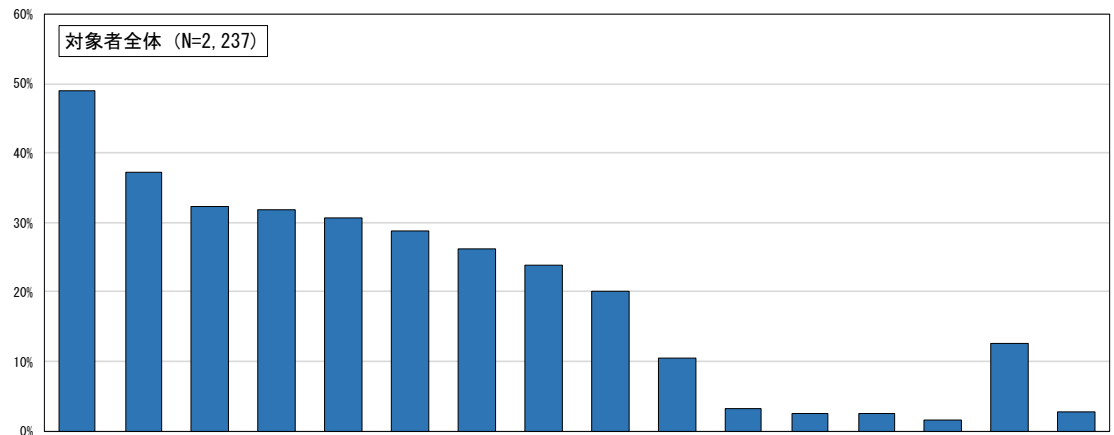
【年代別】「広報さっぽろの区民のページ」、「広報さっぽろの全市版」、「さっぽろ10区（トーク）」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「札幌市公式以外のホームページ、Facebook、X、LINE、Instagram」、「札幌市公式Instagram（インスタグラム）」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(2)災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について

◇災害対策として行っていること

問5 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

災害対策として行っていることは、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」と回答した人が48.9%



		対象者数	食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）	備蓄品や非常持ち出し品の用意	ハザードマップの確認	家具の固定や配置の工夫	避難方法や最寄りの避難場所の確認	地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入	自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）	テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得	家族間での連絡方法や集合場所などの共有	所有している電子端末に防災関係アプリのインストール	地域での防災訓練や防災イベントへの参加	親戚や知人宅への避難の相談	家屋や塀などの補強	その他	特に何もしていない	無回答
		(%)																
対象者全体		2,237	48.9	37.3	32.3	31.8	30.7	28.7	26.3	23.7	20.2	10.5	3.3	2.6	2.5	1.6	12.5	2.7
性別	男性	872	42.4	36.6	33.4	32.2	28.9	29.6	29.5	22.9	17.9	12.3	3.7	2.3	3.2	1.9	15.4	2.1
	女性	1,339	53.1	37.6	31.7	31.6	31.9	28.4	24.4	24.3	21.8	9.4	2.9	2.8	2.1	1.2	10.5	3.1
	その他	8	62.5	62.5	12.5	37.5	50.0	-	25.0	37.5	-	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-
年代別	29歳以下	137	32.1	33.6	12.4	24.8	20.4	10.2	10.2	25.5	13.9	5.1	-	5.1	0.7	1.5	27.0	0.7
	30～39歳	196	43.4	41.3	24.0	21.9	20.9	21.4	22.4	25.5	17.3	7.7	1.5	4.6	2.6	1.0	18.9	0.5
	40～49歳	335	49.6	38.2	26.6	26.0	26.0	23.0	28.4	20.6	19.7	7.8	0.9	1.5	0.6	1.5	13.4	1.2
	50～59歳	411	54.3	40.4	33.3	34.3	30.4	30.4	35.5	25.5	23.4	17.0	1.2	2.9	2.4	2.7	9.7	1.0
	60～69歳	446	51.1	34.8	35.2	34.8	29.4	31.6	33.2	22.6	18.4	14.3	2.7	1.6	1.3	1.1	9.4	2.7
	70歳以上	693	49.1	36.4	39.0	35.5	39.1	34.3	20.1	24.1	21.8	7.6	7.1	2.6	4.6	1.2	11.0	5.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害対策として行っていることは、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が48.9%、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」が37.3%、「ハザードマップの確認」が32.3%となっている。

【性別】「自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）」は、男性が29.5%と、女性の24.4%より5.1ポイント高くなっている。また、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」は、女性が53.1%と、男性の42.4%より10.7ポイント高くなっている。

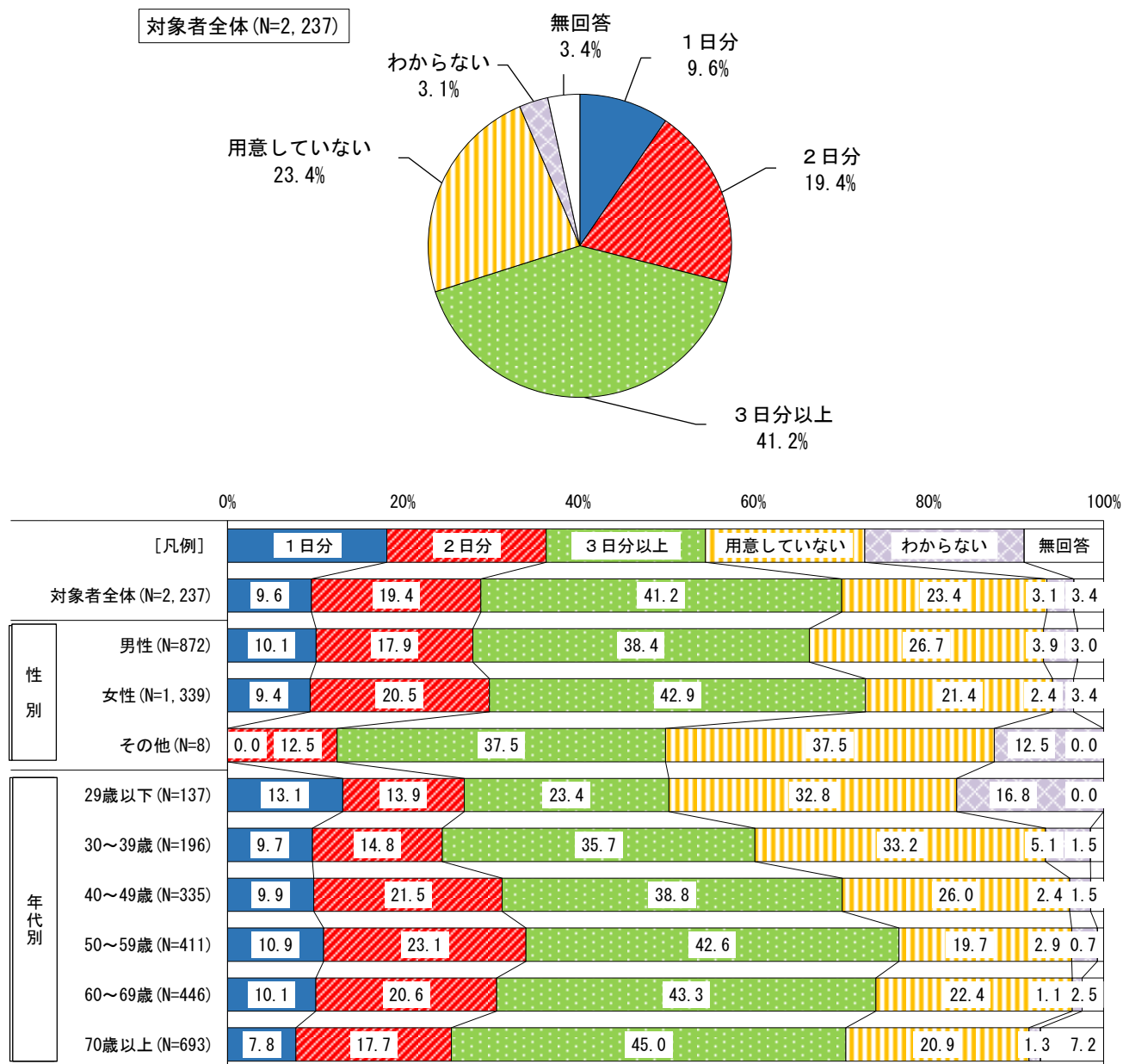
【年代別】「ハザードマップの確認」、「地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ア 飲料水

飲料水を何日分用意しているかは、「3日分以上」と回答した人が41.2%



【全 体】飲料水を何日分用意しているかは、「3日分以上」が41.2%、「2日分」が19.4%、「1日分」が9.6%、合わせると70.2%となっている。一方で、「用意していない」が23.4%となっている。

【性 別】「用意していない」は、男性が26.7%と、女性の21.4%より5.4ポイント高くなっている。

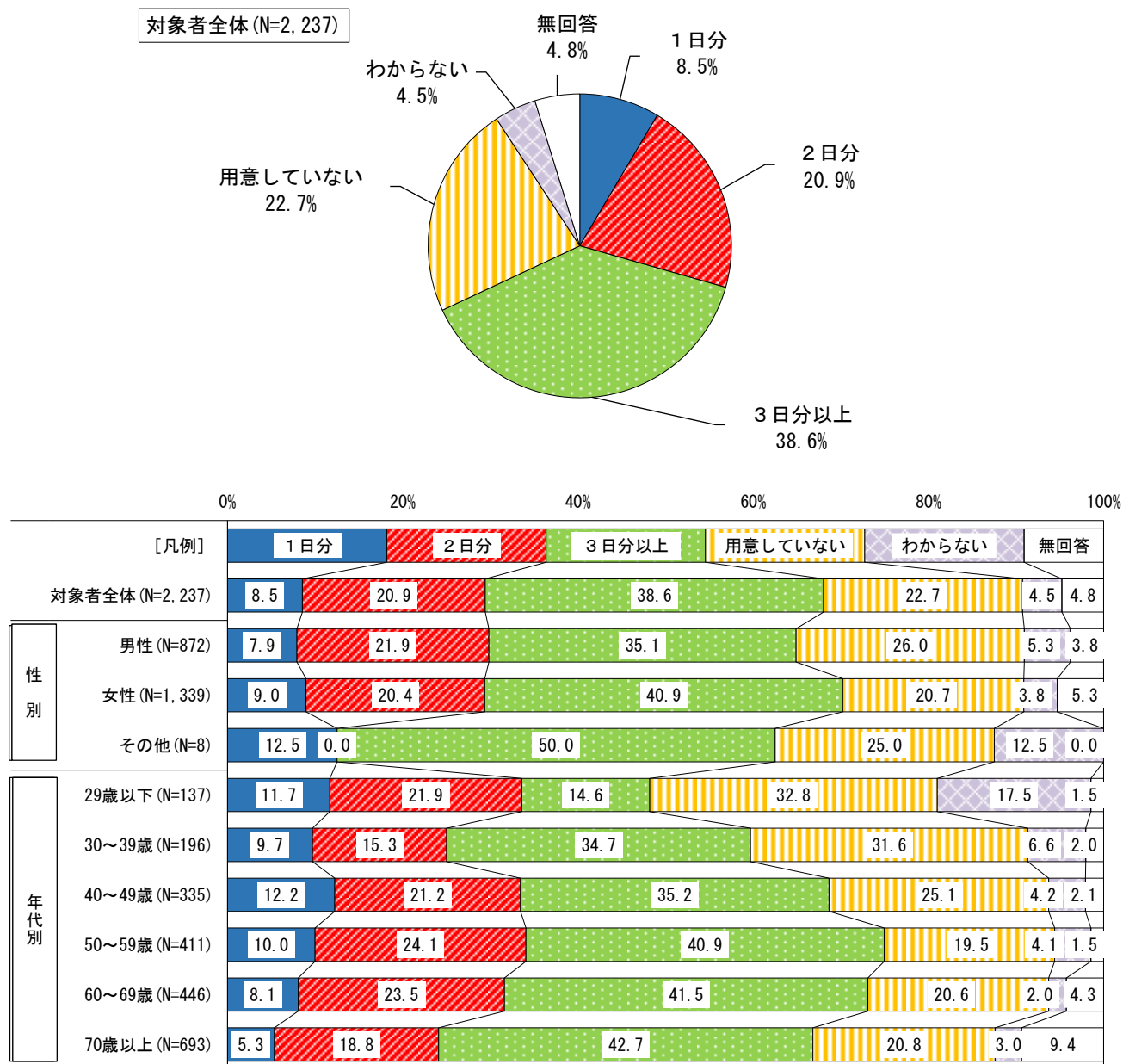
【年代別】「3日分以上」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

イ 食料

食料を何日分用意しているかは、「3日以上」と回答した人が38.6%



【全 体】飲料水を何日分用意しているかは、「3日以上」が38.6%、「2日分」が20.9%、「1日分」が8.5%、合わせると68.0%となっている。一方で、「用意していない」が22.7%となっている。

【性 別】「用意していない」は、女性のが20.7%と、男性の26.0%より5.3ポイント低くなっている。

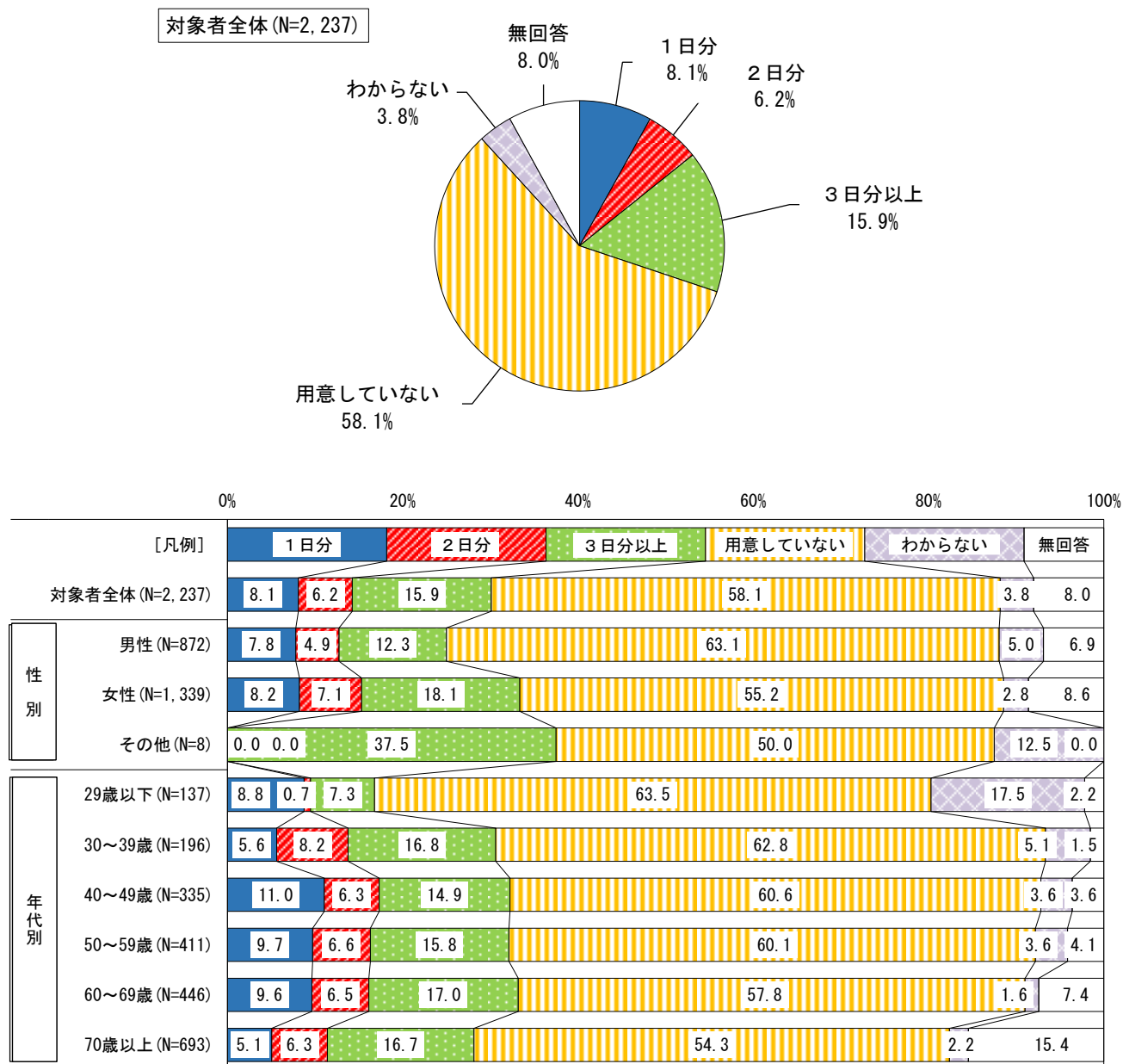
【年代別】「3日以上」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ 携帯トイレ

携帯トイレを「用意している」と回答した人が30.2%



【全 体】携帯トイレを何日分用意しているかは、「1日分」が8.1%、「2日分」が6.2%、「3日分以上」が15.9%、合わせると30.2%となっている。一方で、「用意していない」が58.1%となっている。

【性 別】「3日分以上」は、女性が18.1%と、男性の12.3%より5.8ポイント高くなっている。また、「用意していない」は、男性が63.1%と、女性の55.2%より7.9ポイント高くなっている。

【年代別】「3日分以上」が60歳代（17.0%）で最も高く、最も低い29歳以下（7.3%）と比べると9.7ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6－1 問6のア～ウ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

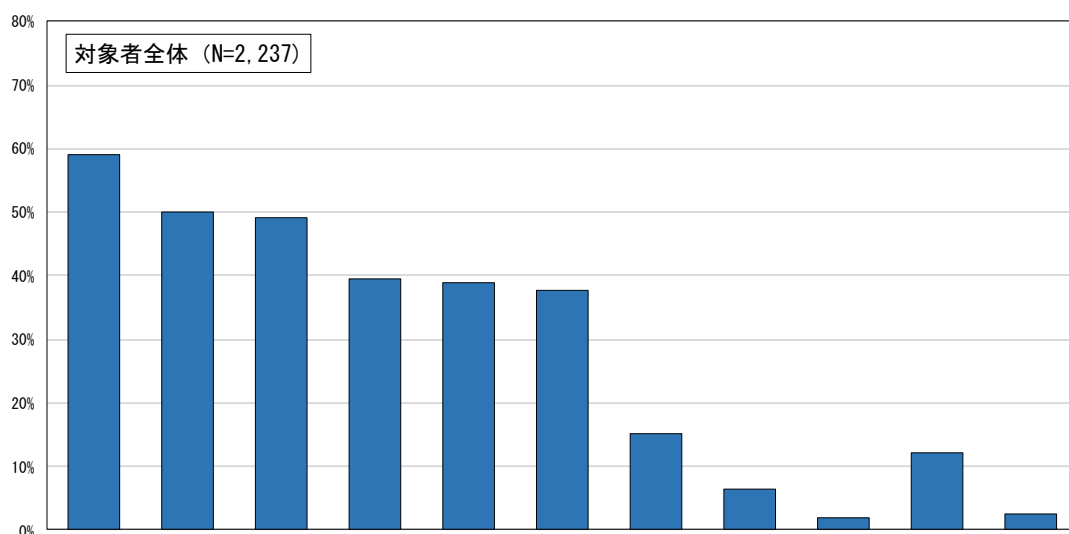
この設問には 576 人の方が回答を記載しました。主な意見は次の通りです。

- 衛生用品等2日分程度（女性・29歳以下）
- 2リットルの水1ケース。缶詰、インスタント麺、レトルトカレーなど5日分（女性・40歳代）
- トイレットペーパー3日分、ライト、アルコールウェットティッシュ3日分。皿、コップ（紙）3日分。ティッシュ。見ると元気になれるアイドルキャラクターのカード（1～2枚）。（女性・30歳代）
- ティッシュペーパー、トイレットペーパー、マスク、新聞紙、ゴミ袋（1週間以上）（女性・60歳代）
- 乾電池2週間以上、ポータブルストーブ（冬用）、携帯用ガスボンベ2週間以上、ろうそく2週間以上（女性・70歳以上）
- ガスの止まった時に備え七輪と炭、焼きつけ、簡易ガスレンジ、玉ネギ、人参等、10日分程度（女性・70歳以上）
- 缶詰、3日位。米、20kg。味噌、2ヶ月位。しょうゆ、油、2ヶ月位。ティッシュ、トイレロール、3ヶ月位。（女性・70歳以上）
- トイレットペーパー、キッチンペーパー（各1ヶ月分）。ティッシュ（BOX）、ビニール袋（45リットル、30リットル、大、中、小サイズ各100枚前後）飲料ドリンク類、パックご飯、ジャム類、缶、ビン詰め等、ローソク（1ヶ月分）（男性・70歳以上）
- カセットガスボンベ3日以上、電池3日以上、灯油20リットルポリ1個（冬）（男性・70歳以上）
- 冬期間の暖房用の灯油（30リットル）3日以上（男性・60歳代）
- ペットボトル型、炭酸水や野菜ジュースもストック、3日以上。・食料はレトルト型が多い。お菓子もストック。2日はもつ（男性・50歳代）。
- 簡易トイレ（便器に付けて使用するもの）3日以上。（男性・40歳代）
- オムツ3日以上、ミルク3日以上（男性・30歳代）
- ガスボンベストーブとガスボンベ3日分（男性・29歳以下）
- （麺類を1ヶ月分以上）（水・ウーロン茶7日間以上）（男性・70歳以上）
- 乾電池（3日分程度）ランタン用。・薬（3日分程度）常備薬として。カットバン等含む。（男性・50歳代）

◇厳冬期における災害用備蓄品の用意について

問7 あなたは、厳冬期での災害発生に備えてどのような備蓄品を用意していますか。当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

厳冬期における災害用備蓄品の用意については、「カセットコンロ」と回答した人が59.1%



		対象者数	カセットコンロ	使い捨てカイロ	防寒着	暖かいインナーウェア（靴下、保温肌着など）	寝袋や毛布	電源不要のポータブルストーブ	防寒シートや段ボール	非常用発電機	その他	特に何も備えていない	無回答
		(%)											
対象者全体		2,237	59.1	50.0	49.3	39.6	39.0	37.8	15.3	6.4	1.9	12.2	2.7
性別	男性	872	58.7	40.3	50.5	36.0	37.6	37.2	11.5	7.8	2.3	15.1	2.2
	女性	1,339	59.4	56.5	48.7	42.1	39.9	38.4	17.8	5.4	1.6	10.3	2.9
	その他	8	87.5	50.0	62.5	50.0	50.0	37.5	12.5	12.5	-	-	-
年代別	29歳以下	137	32.8	43.1	40.9	34.3	38.0	16.8	8.8	13.9	1.5	24.8	2.9
	30～39歳	196	42.9	44.9	44.9	41.3	38.3	20.4	11.2	7.1	0.5	19.9	0.5
	40～49歳	335	59.4	45.7	44.5	39.7	40.6	35.5	13.7	8.4	1.5	13.1	2.1
	50～59歳	411	67.9	52.3	49.6	43.3	42.3	39.4	18.7	4.9	2.4	8.3	1.2
	60～69歳	446	65.9	51.6	52.5	41.9	39.5	43.5	17.5	6.7	1.8	8.5	2.7
	70歳以上	693	59.6	52.8	52.7	36.9	36.7	43.9	14.9	4.2	2.3	11.7	4.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 厳冬期における災害用備蓄品の用意については、「カセットコンロ」が59.1%、「使い捨てカイロ」が50.0%、「防寒着」が49.3%となっている。

【性 別】 「使い捨てカイロ」、「暖かいインナーウェア（靴下、保温肌着など）」、「防寒シートや段ボール」は、女性が男性より6.1ポイント以上高くなっている。

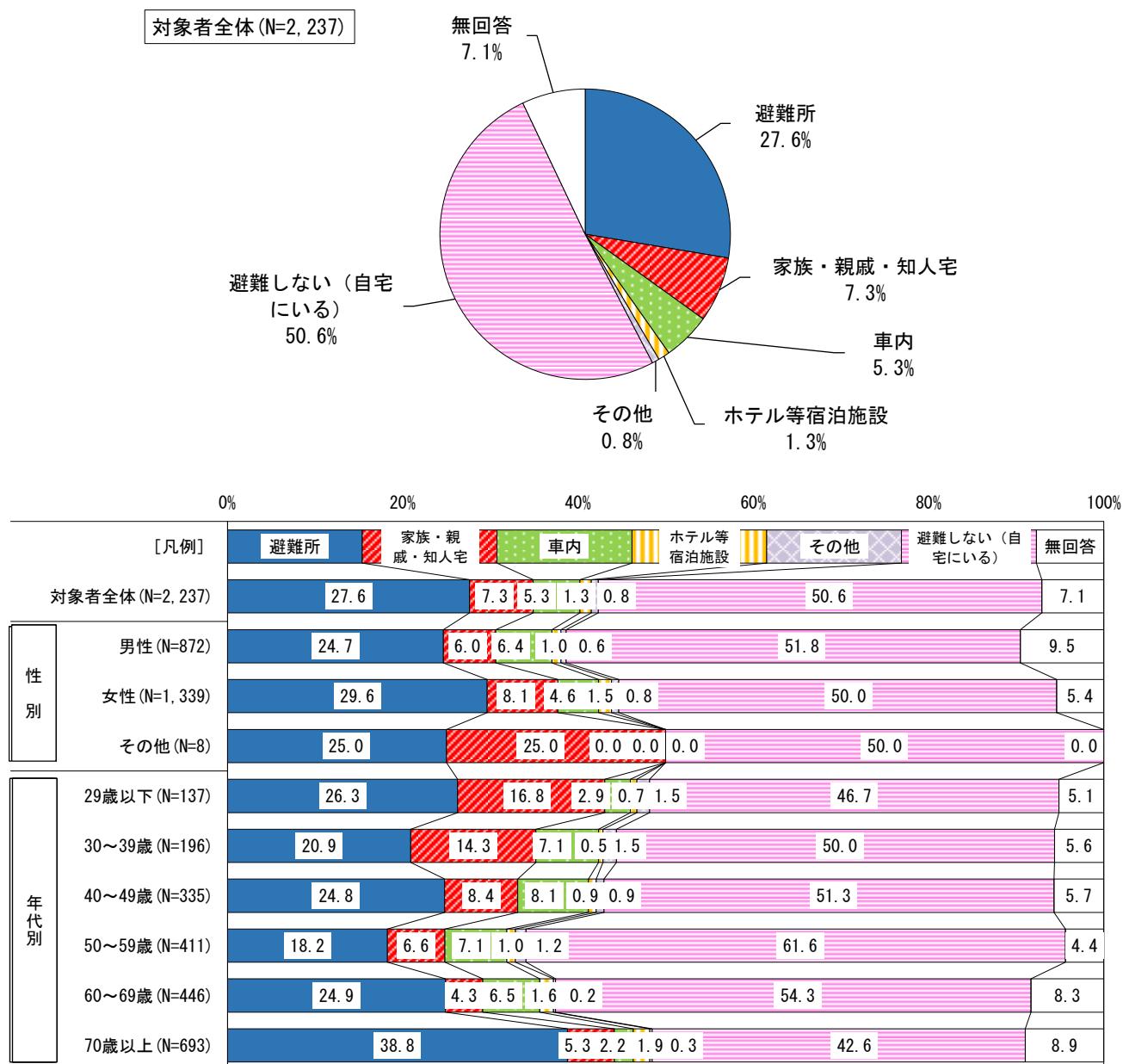
【年代別】 「電源不要のポータブルストーブ」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について

問8 厳冬期に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウト（※）となったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※電力会社が管轄するエリア全域に及ぶ大規模停電のことをいう

厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」と回答した人が50.6%



【全 体】 厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」が50.6%、「避難所」が27.6%、「家族・親戚・知人宅」が7.3%となっている。

【性 別】 「避難所」は、女性が29.6%と、男性の24.7%より4.9ポイント高くなっている。

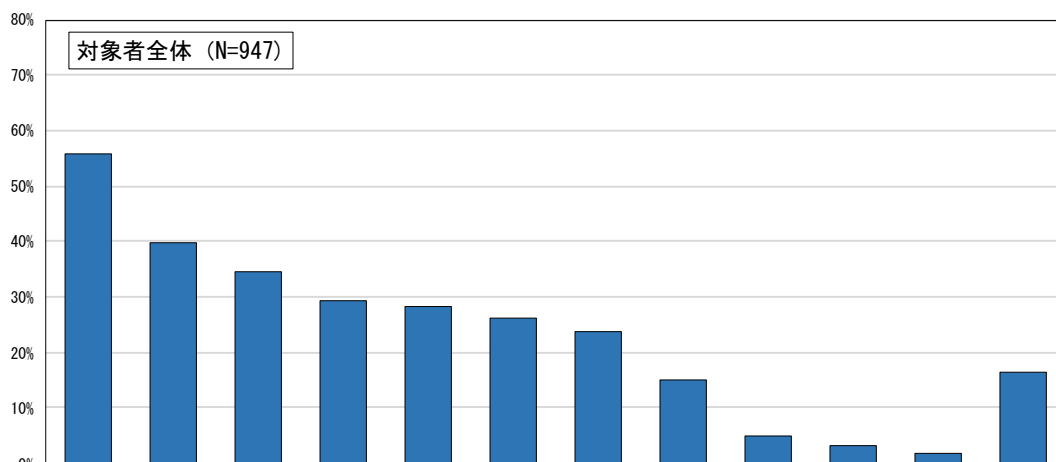
【年代別】 「避難所」が70歳以上（38.8%）で最も高く、最も低い50歳代（18.2%）と比べると20.6ポイント差となっている。

◇厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由

≪問8で「6 避難しない（自宅にいる）」と答えた方以外の方にお聞きします。≫

問8—1 厳冬期に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたが避難する理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由は、「暖房機器が使用できず寒いから」と回答した人が55.6%



		対象者数	暖房機器が使用できず寒いから	冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから	不安だから	余震が心配だから	(マンションなど) 停電により水が使えないから	避難先に何か情報があるかもしれないから	食べ物の備蓄がない、または少ないから	乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がないから	避難先に友人・知人などがいる	その他	特に理由はない	無回答
		(%)												
対象者全体		947	55.6	39.8	34.6	29.1	28.1	26.2	23.8	15.0	4.8	3.2	1.7	16.3
性別	男性	337	56.1	43.6	22.8	24.6	28.8	22.3	26.4	18.4	3.0	3.0	3.0	15.4
	女性	598	56.0	38.0	41.0	31.4	27.9	28.1	22.6	13.2	5.7	3.2	1.0	16.9
	その他	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	66	39.4	31.8	37.9	25.8	19.7	18.2	27.3	19.7	12.1	6.1	-	22.7
	30～39歳	87	58.6	29.9	33.3	21.8	21.8	16.1	10.3	12.6	2.3	9.2	2.3	16.1
	40～49歳	144	61.1	38.9	30.6	18.1	21.5	25.0	20.8	18.1	4.9	2.8	2.8	12.5
	50～59歳	140	57.9	37.1	27.1	22.9	22.9	16.4	20.0	17.1	1.4	3.6	2.1	18.6
	60～69歳	167	58.1	43.7	37.7	32.3	32.9	28.7	32.9	16.2	4.2	1.8	1.2	11.4
	70歳以上	336	54.5	44.0	36.9	37.2	34.2	33.9	25.3	11.9	5.7	1.5	1.5	18.2

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由は、「暖房機器が使用できず寒いから」が55.6%、「冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから」が39.8%、「不安だから」が34.6%となっている。

【性別】「冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから」、「乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がないまたは少ないから」は、男性が女性より5.2ポイント以上高くなっている。また、「不安だから」、「余震が心配だから」、「避難先に何か情報があるかもしれないから」は、女性が男性より5.8ポイント以上高くなっている。

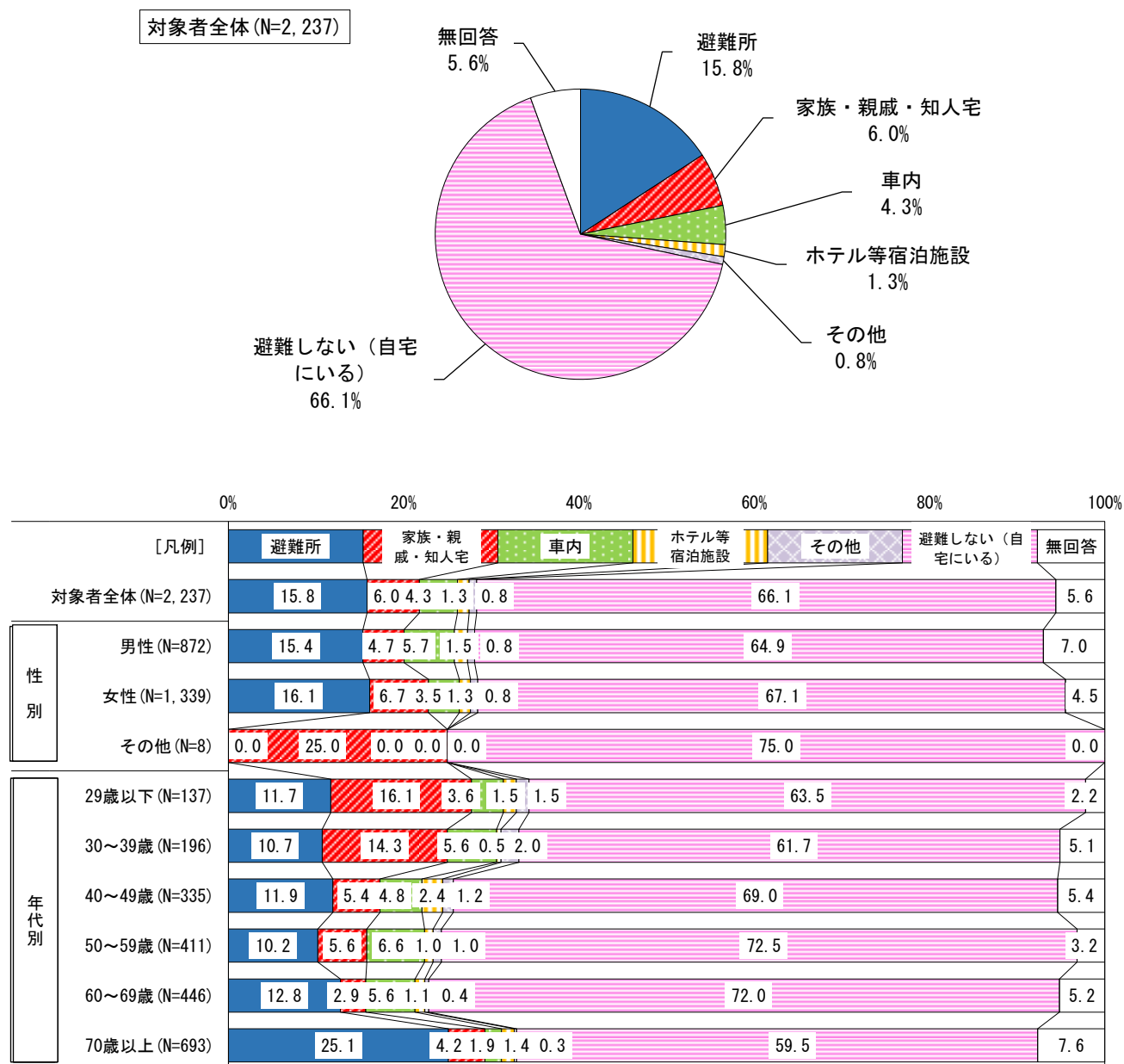
【年代別】「食べ物の備蓄がない、または少ないから」が60歳代(32.9%)で最も高く、最も低い30歳代(10.3%)と比べると22.6ポイント差となっている。

◇夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について

「皆さまにお聞きします。」

問9 夏季に大地震が発生し、自宅に被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」と回答した人が66.1%



【全 体】夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」が66.1%、「避難所」が15.8%、「家族・親戚・知人宅」が6.0%となっている。

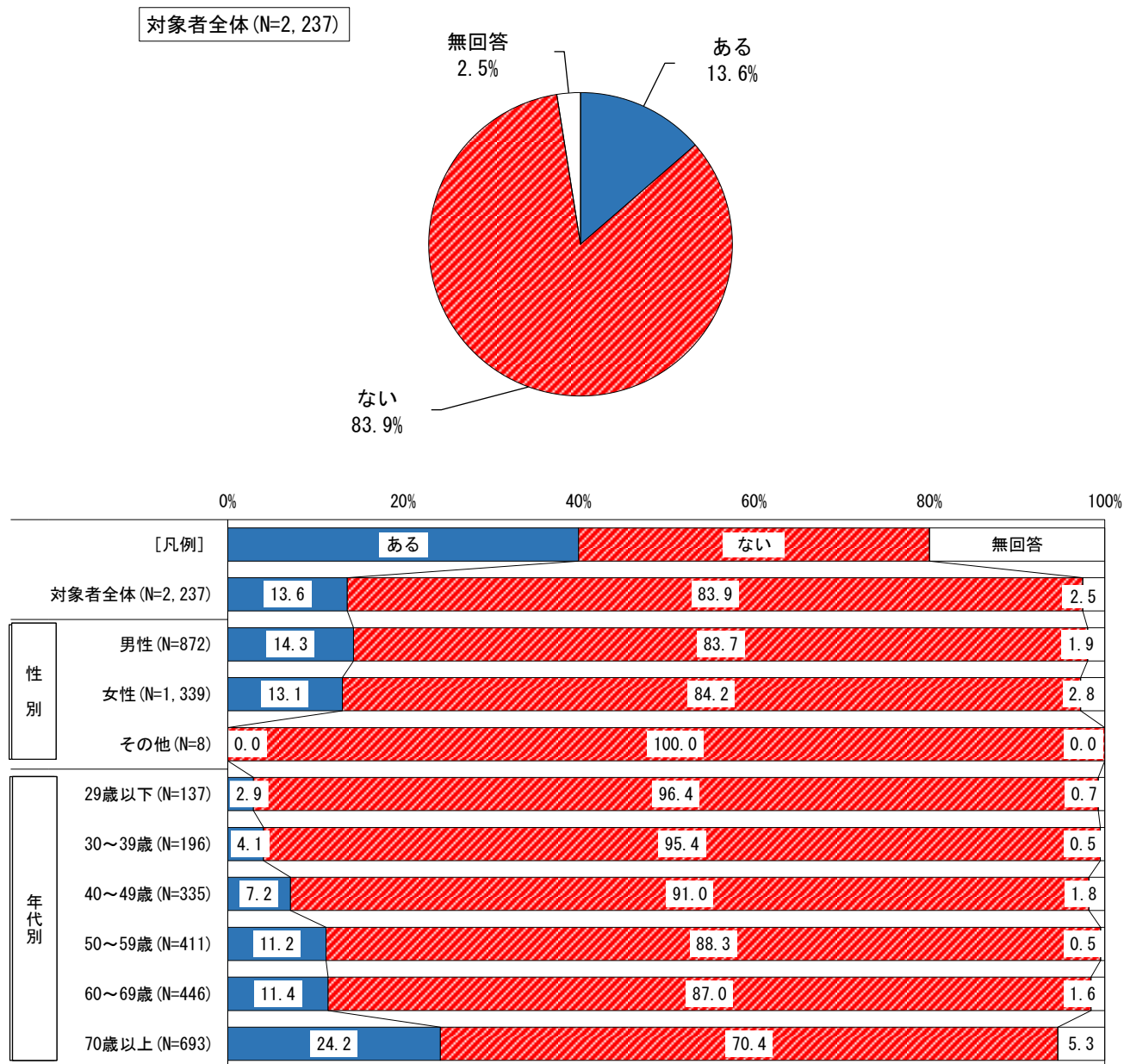
【性 別】男女で大きな差が見られない。

【年代別】「避難所」が70歳以上（25.1%）で最も高く、最も低い50歳代（10.2%）と比べると14.9ポイントの差となっている。

◇「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無について

問10 あなたは、札幌市が作成している「札幌防災動画 気づきから行動へ」を見たことがありますか。

「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無については、「ある」と回答した人が13.6%



【全 体】「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無については、「ない」が83.9%、「ある」が13.6%となっている。

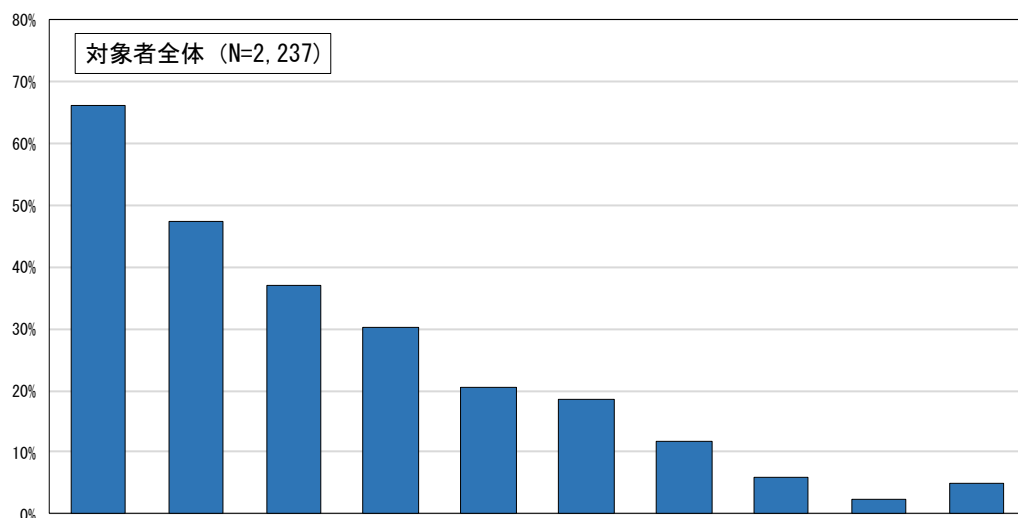
【性 別】男女で大きな差が見られない。

【年代別】「ある」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関して知りたいと思う項目

問 1 1 あなたが知りたいと思う防災に関する項目は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関して知りたいと思う項目は、「地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」と回答した人が 66.3%



		対象者数	地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所	家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について	洪水や内水氾濫にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所	マンション特有の被害や防災について	地域で助け合うための自主防災制度や活動について	土砂災害のリスク・基礎知識・災害時の情報収集先・最寄りの避難場所	津波にかかる災害リスク・基礎知識・災害時の情報収集先	企業が行うべき防災について	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		2,237	66.3	47.4	37.0	30.2	20.4	18.4	11.8	5.8	2.3	5.1
性別	男性	872	67.4	42.8	38.1	27.5	20.3	19.0	14.2	7.0	2.4	4.4
	女性	1,339	65.9	50.6	36.5	32.0	20.5	18.1	10.1	5.1	2.2	5.3
	その他	8	50.0	37.5	12.5	50.0	12.5	-	-	-	12.5	-
年代別	29歳以下	137	67.2	56.2	40.9	27.0	13.1	26.3	27.0	5.8	2.2	2.2
	30～39歳	196	71.9	58.2	39.3	35.2	12.2	26.0	18.4	6.6	2.0	2.6
	40～49歳	335	69.9	54.0	38.8	26.3	18.8	20.6	15.5	9.3	2.7	3.0
	50～59歳	411	70.1	49.4	41.1	32.4	18.5	20.2	11.7	7.8	2.2	2.7
	60～69歳	446	65.2	43.3	36.3	34.5	20.0	15.5	7.6	4.9	1.8	4.0
	70歳以上	693	61.6	41.3	32.8	27.6	26.3	14.3	7.4	3.3	2.5	8.9

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】防災に関して知りたいと思う項目は、「地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」が66.3%、「家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について」が47.7%、「洪水や内水氾濫にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」が37.0%となっている。

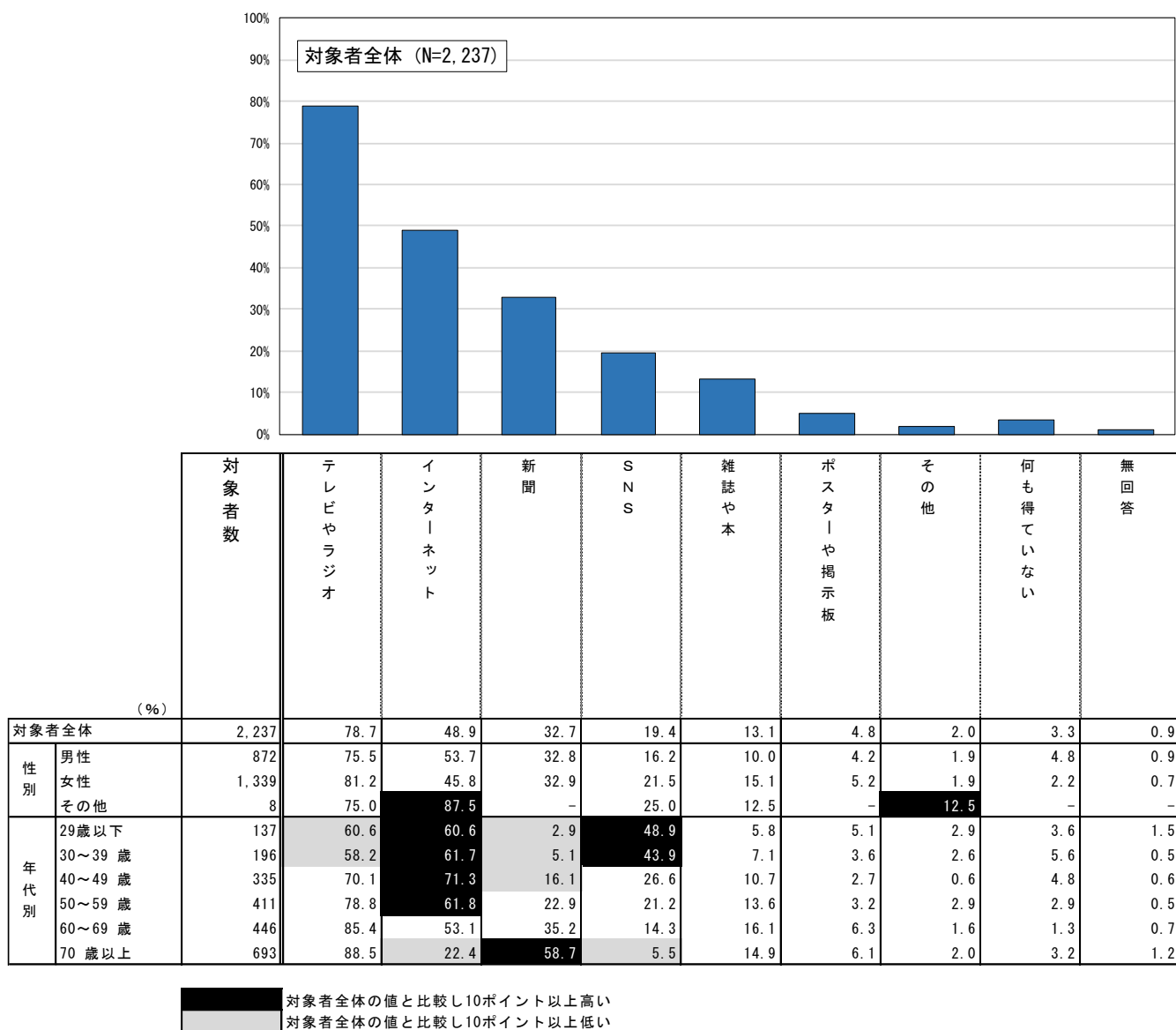
【性 別】「家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について」は、女性が50.6%と、男性の42.8%より7.8ポイント高くなっている。

【年代別】「土砂災害のリスク・基礎知識・災害時の情報収集先・最寄りの避難場所」、「津波にかかる災害リスク・基礎知識・災害時の情報収集先」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関する知識、情報の取得方法

問 1 2 あなたは、防災の知識や情報を何で得ていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関する知識、情報の取得方法は、「テレビやラジオ」と回答した人が78.7%



【全 体】防災に関する知識、情報の取得方法は、「テレビやラジオ」が78.7%、「インターネット」が48.9%、「新聞」が32.7%となっている。

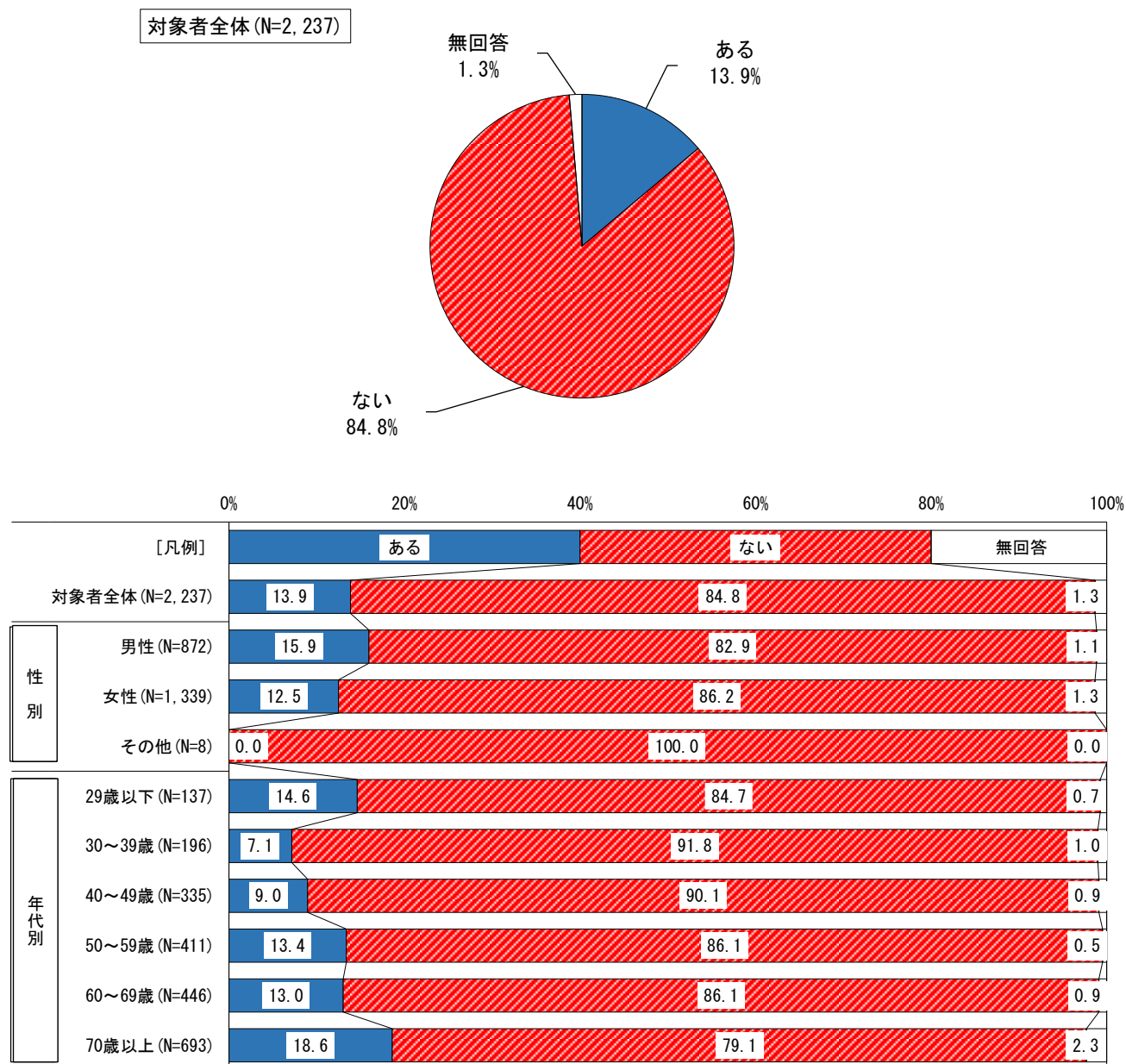
【性 別】「インターネット」は、男性が女性より 7.9 ポイント高くなっている。また、「テレビやラジオ」、「SNS」、「雑誌や本」は、女性が男性より 5.1 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「新聞」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無

問 1 3 あなたは、過去に防災に関するセミナーやイベントに参加したことがありますか。

防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無は、「ある」と回答した人が13.9%



【全 体】防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無は、「ない」が84.8%、「ある」が13.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

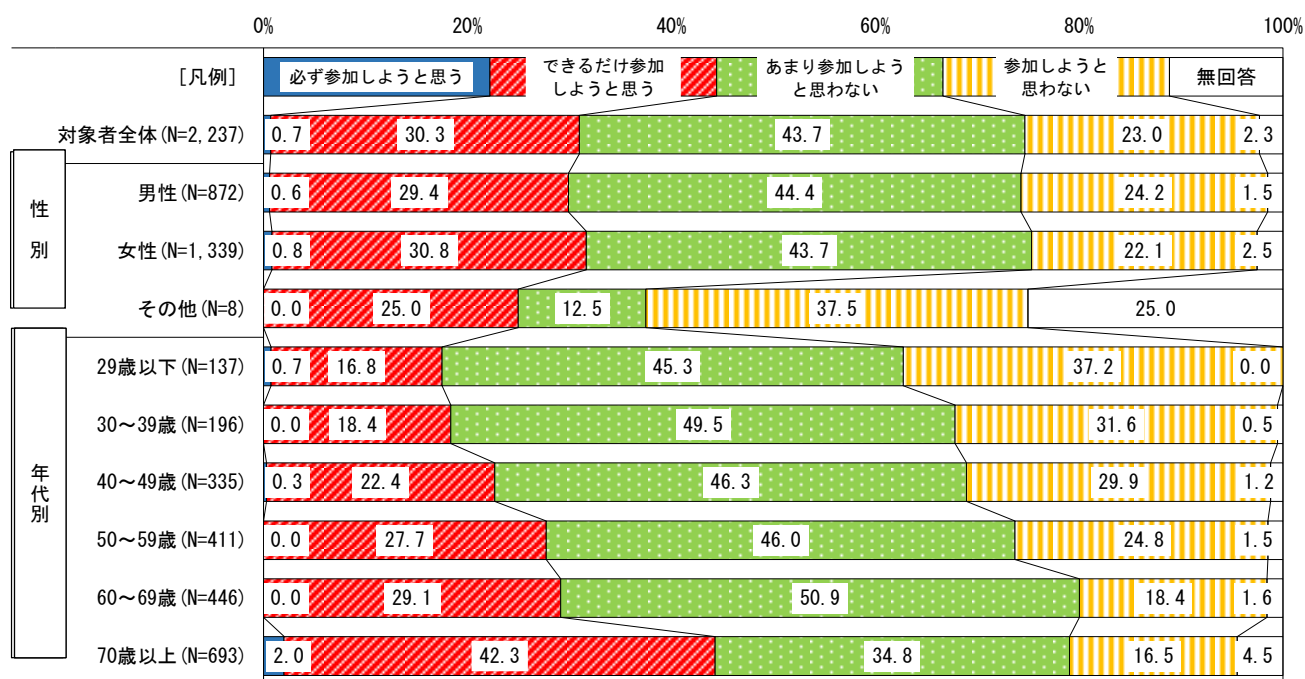
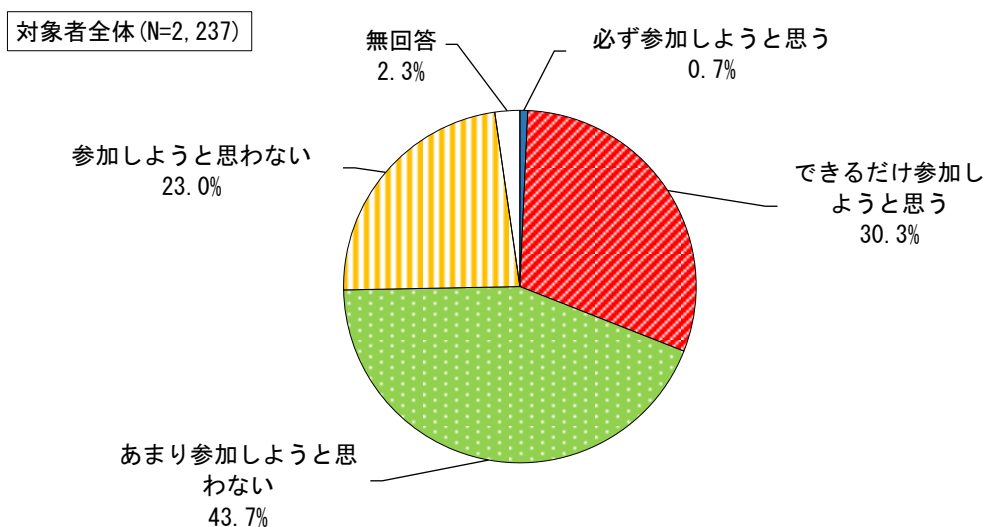
【年代別】「ある」が70歳代（18.6%）で最も高く、最も低い30歳以上（7.1%）と比べると11.5ポイントの差となっている。

◇今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うか

問14 あなたは今後、防災にかかるセミナーやイベントに参加しようと思いますか。

今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うかは、「参加しようと思う」人は31.0%

※「参加しようと思う」＝（「必ず参加しようと思う」＋「できるだけ参加しようと思う」）



【全 体】今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うかは、「あまり参加しようと思わない」が43.7%、「参加しようとは思わない」が23.0%、合すると66.7%となっている。一方で、「できるだけ参加しようと思う」が30.3%、「必ず参加しようと思う」が0.7%、合すると31.0%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

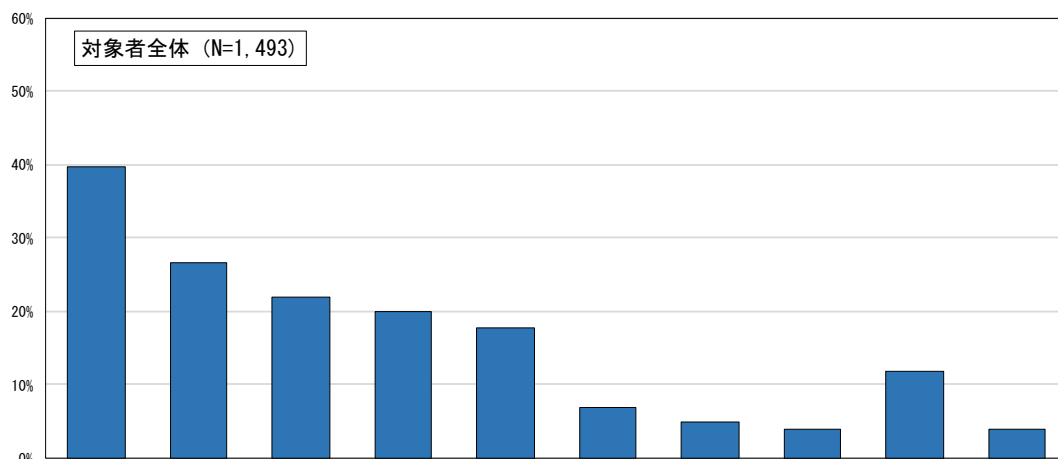
【年代別】“参加しようと思う”は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由

≪問14で「3 あまり参加しようと思わない」または「4 参加しようと思わない」と答えた方にお聞きします。≫

問14-1 あなたが参加しようと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由は、「時間がとれないから」と回答した人が39.9%



	対象者数	時間がとれないから	会場まで行くのが大変だから	インターネットや本などですでに必要な情報が得ているから	1人では参加しにくいから	開催される日時や場所が分からないから	興味・関心がないから	役に立つ情報が得られると思えないから	その他	特に理由はない	無回答
(%)											
対象者全体	1,493	39.9	26.7	22.0	19.9	17.7	6.8	5.0	3.8	11.9	3.8
性別											
男性	598	40.8	20.1	23.6	11.9	16.7	10.0	7.5	3.7	13.9	3.2
女性	881	39.2	31.3	20.9	25.4	18.6	4.5	3.4	3.9	10.3	4.3
その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-
年代別											
29歳以下	113	60.2	30.1	19.5	29.2	15.0	13.3	1.8	1.8	9.7	3.5
30～39歳	159	59.1	23.9	18.2	19.5	15.1	11.9	3.8	1.9	7.5	0.6
40～49歳	255	56.9	21.2	27.1	18.4	18.4	8.2	5.9	2.0	6.7	0.8
50～59歳	291	50.9	21.0	24.1	17.9	18.9	5.8	5.8	4.1	8.6	2.4
60～69歳	309	33.0	23.3	23.6	18.8	20.1	4.5	6.1	2.3	14.2	4.5
70歳以上	355	9.6	38.6	17.7	21.1	16.3	4.2	4.5	7.9	18.3	8.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由は、「時間がとれないから」が39.9%、「会場まで行くのが大変だから」が26.7%、「インターネットや本などですでに必要な情報が得ているから」が22.0%となっている。

【性別】「興味・関心がないから」は、男性が女性より5.5ポイント高くなっている。また、「会場まで行くのが大変だから」、「1人では参加しにくいから」は、女性が男性より11.3ポイント以上高くなっている。

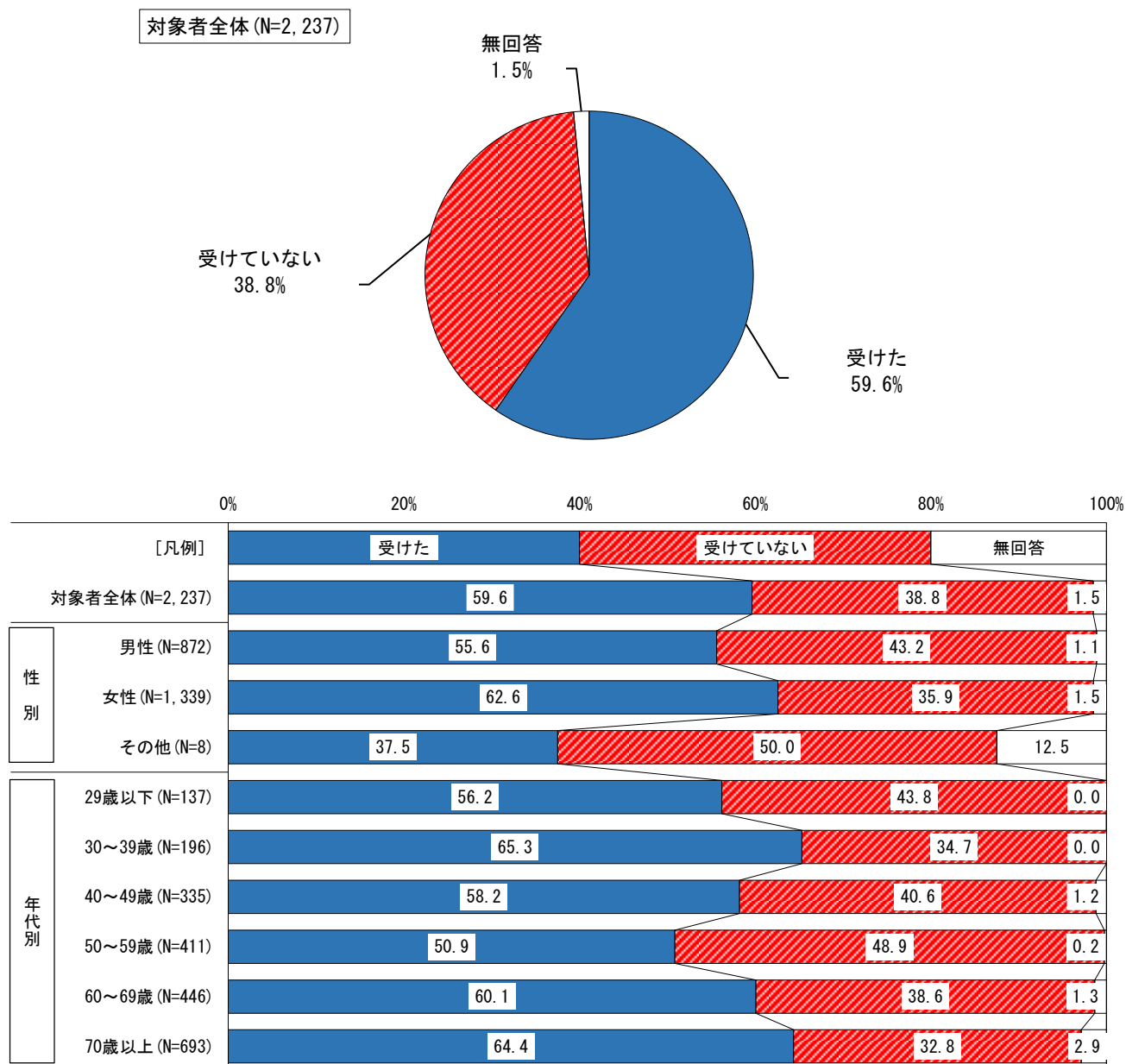
【年代別】「興味・関心がないから」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

(3)歯・口腔の健康づくりについて

◇過去1年間に歯科健診を受けたか

問15 あなたは、過去1年間に歯科健診を受けましたか。

過去1年間に歯科健診を受けたかは、「受けた」と回答した人が59.6%



【全 体】過去1年間に歯科健診を受けたかは、「受けた」が59.6%、「受けていない」が38.8%となっている。

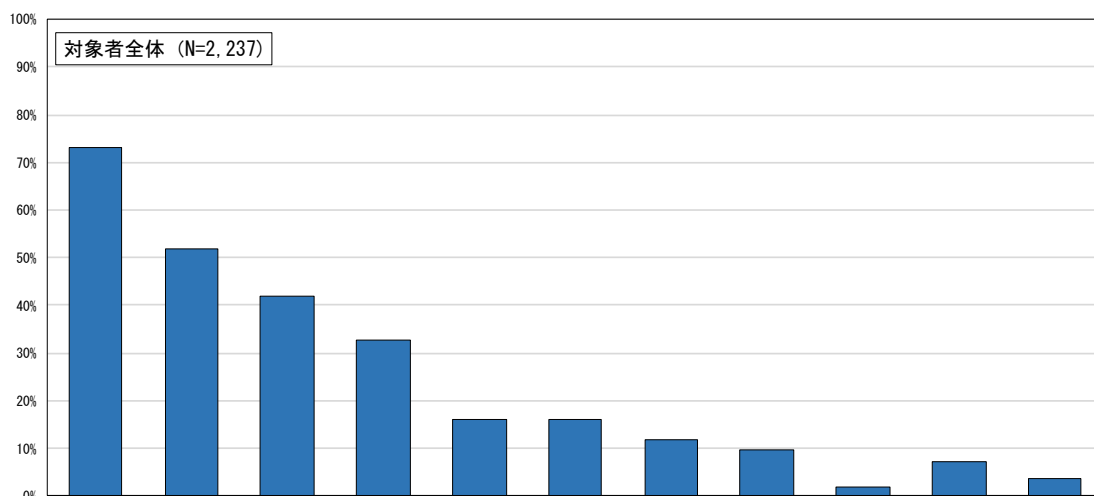
【性 別】「受けた」は、女性が62.6%と、男性の55.6%より7.0ポイント高くなっている。

【年代別】「受けた」が30歳代（65.3%）で最も高く、最も低い50歳以上（50.9%）と比べると14.4ポイントの差となっている。

◇歯の健康のために気をつけていること

問16 あなたは、歯の健康のために気をつけていることはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

歯の健康のために「歯磨きを1日2回以上している」と回答した人が73.3%



		対象者数	歯磨きを1日2回以上している	歯間ブラシも使用している	定期的に歯科検診を受けている	歯石は年1回以上取るようにしている	禁煙をする	歯ごたえのあるものをよくかむ	間食の回数を控える	甘いものを控える	その他	特に何も気をつけていない	無回答
		(%)											
対象者全体		2,237	73.3	51.9	42.1	32.7	16.0	15.9	11.7	9.5	1.7	7.2	3.6
性別	男性	872	64.2	42.3	34.4	28.8	18.1	13.4	12.0	10.6	2.4	10.9	4.0
	女性	1,339	79.4	58.3	47.3	35.5	14.7	17.5	11.5	8.9	1.2	4.7	3.1
	その他	8	62.5	50.0	12.5	-	12.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5
年代別	29歳以下	137	67.9	32.1	28.5	13.9	23.4	13.9	13.9	9.5	0.7	10.2	-
	30～39歳	196	74.5	44.4	45.4	36.2	22.4	9.2	7.1	5.1	1.5	6.1	0.5
	40～49歳	335	78.8	49.9	42.4	34.3	14.6	9.9	6.0	6.3	1.2	7.8	1.2
	50～59歳	411	77.1	54.0	37.5	31.4	15.1	14.4	9.5	9.2	1.9	8.0	2.4
	60～69歳	446	73.8	55.4	42.8	34.5	16.4	13.2	13.5	11.2	1.6	7.4	4.5
	70歳以上	693	69.0	55.6	45.9	34.3	13.9	23.5	15.6	11.5	2.0	5.9	6.2

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】歯の健康のために気をつけていることは、「歯磨きを1日2回以上している」が73.3%、「歯間ブラシも使用している」が51.9%、「定期的に歯科検診を受けている」が42.1%となっている。

【性 別】「歯磨きを1日2回以上している」「歯間ブラシも使用している」「定期的に歯科検診を受けている」「歯石は年1回以上取るようにしている」は女性が男性より6.7ポイント以上高くなっている。

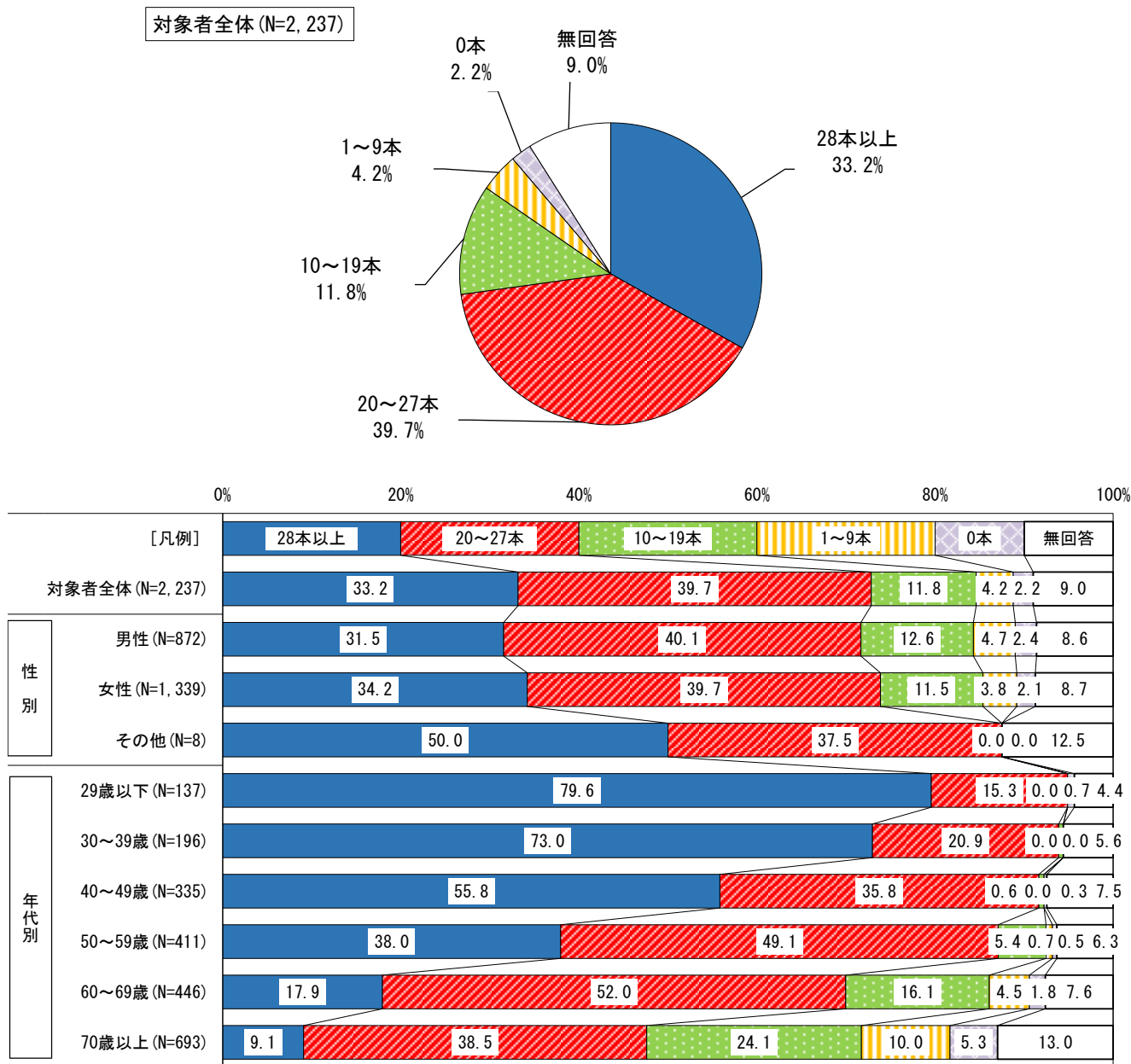
【年代別】「歯間ブラシも使用している」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇自身の歯の本数について

問 1 7 あなた自身の歯は何本ありますか。

※差し歯は含みますが、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。親知らずを除くと全部で28本ですが、28本より多い場合や少ない場合もあります。

自身の歯の本数は、「28本以上」と回答した人が33.2%



【全 体】自身の歯の本数は、「28本以上」が33.2%、「20～27本」が39.7%、合わせると20本以上が72.9%となっている。一方で、10本未満の本数については「1～9本」が4.2%、「0本」が2.2%、合わせると6.4%となっている。

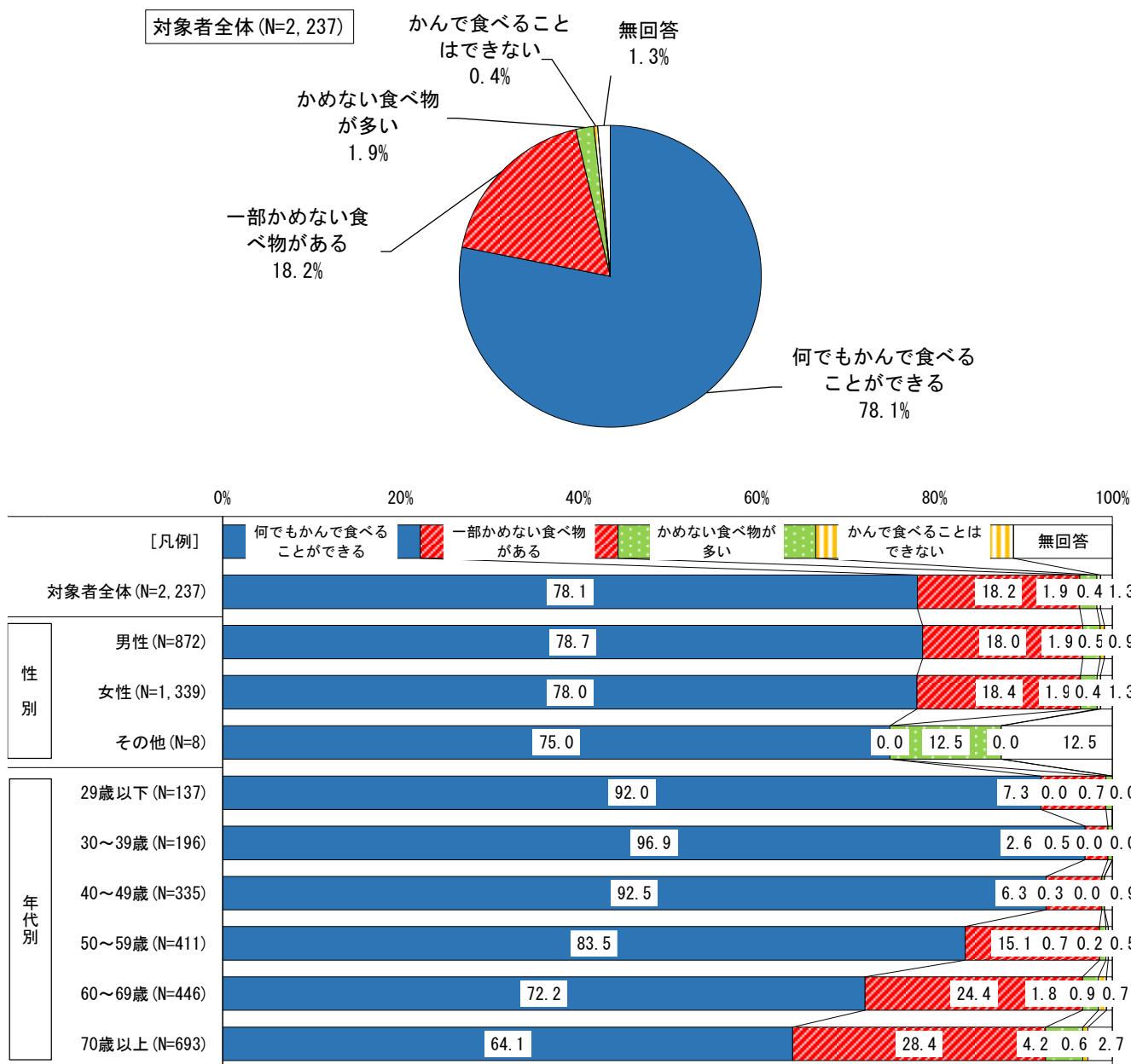
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「28本以上」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇かんで食べる時の状態について

問 1 8 あなたがかんで食べる時の状態について、次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

かんで食べる時の状態については、「何でもかんで食べることができる」人が78.1%



【全 体】 かんで食べる時の状態について、「何でもかんで食べることができる」が78.1%となっている。一方で、「一部かめない食べ物がある」が18.2%、「かめない食べ物が多い」が1.9%、「かんで食べることはできない」が0.4%、合わせると20.5%となっている。

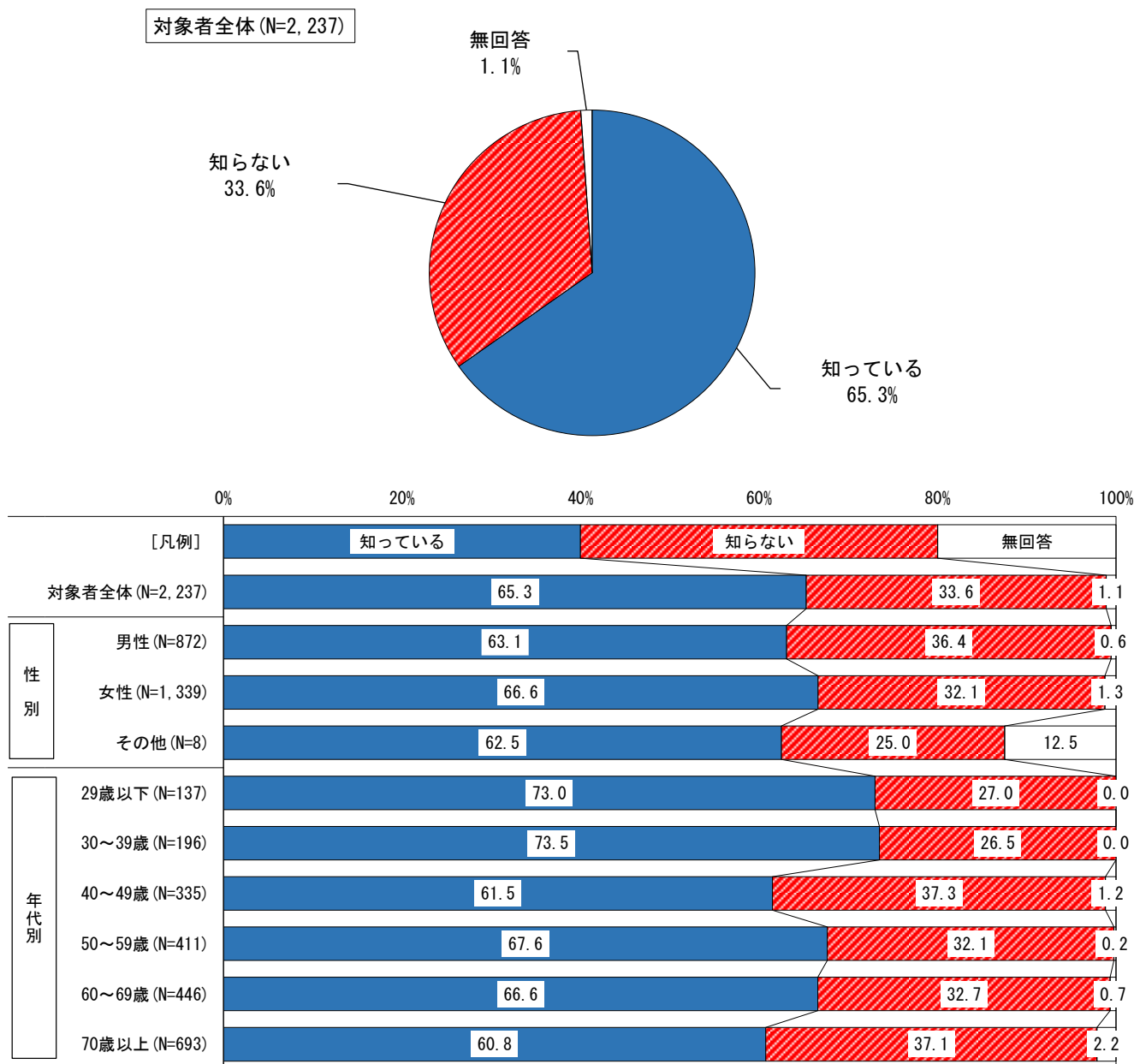
【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「何でもかんで食べることができる」が30歳代で最も高く（96.9%）、次いで40歳代（92.5%）、29歳以下（92.0%）となっている。

◇喫煙が歯周病の要因のひとつであることの認知度

問19 あなたは、喫煙は歯周病を悪化させる要因のひとつであることを知っていますか。

喫煙が歯周病の要因のひとつであることは、「知っている」人が65.3%



【全 体】喫煙が歯周病の要因のひとつであることの認知度は、「知っている」が65.3%、「知らない」は33.6%となっている。

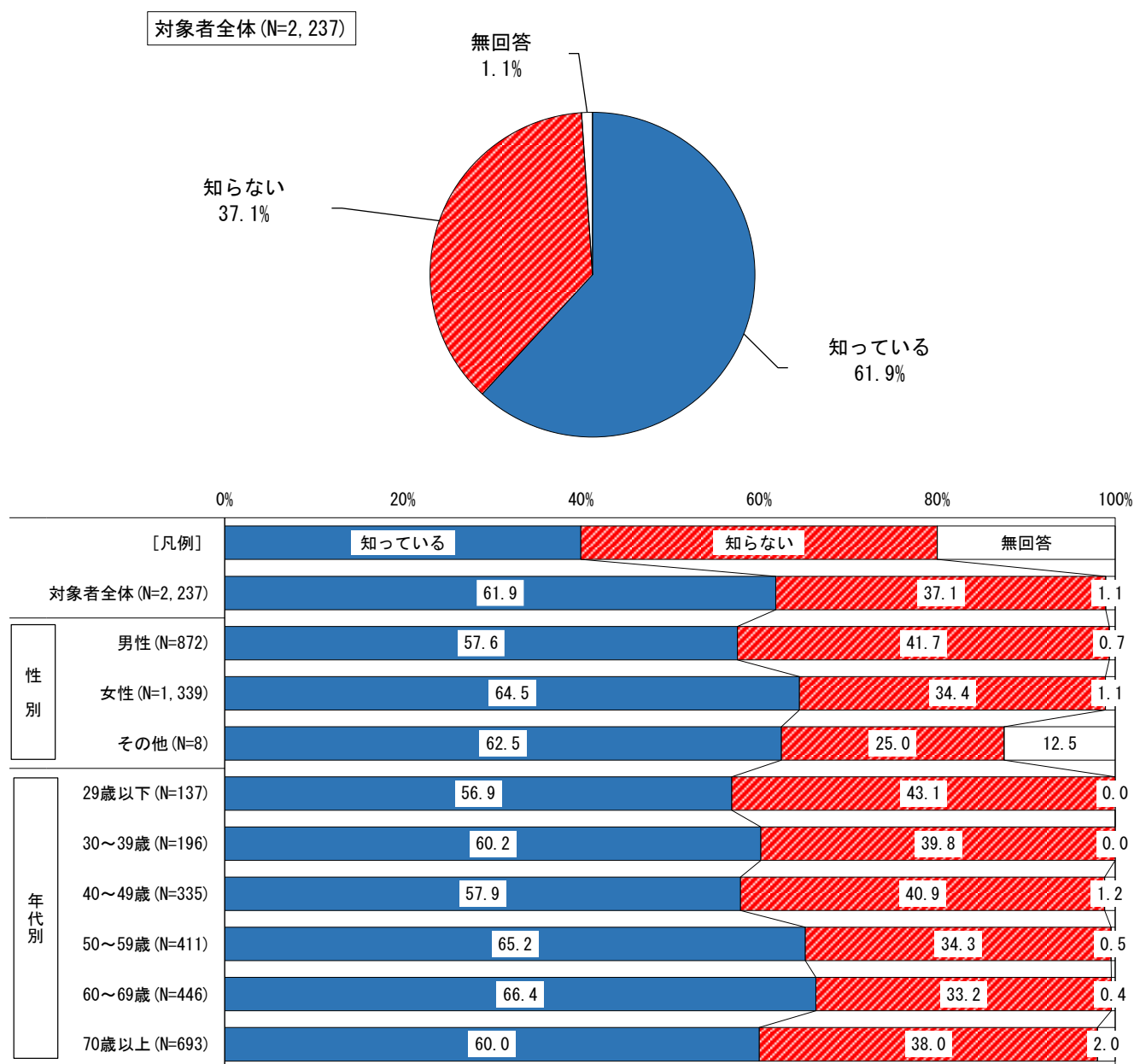
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」が30歳代（73.5%）で最も高く、最も低い70歳以上（60.8%）と比べると12.7ポイントの差となっている。

◇糖尿病が歯周病を悪化させたり歯周病が糖尿病を悪化させることの認知度

問20 あなたは、糖尿病が歯周病を悪化させたり、逆に歯周病が糖尿病を悪化させる可能性があることを知っていますか。

糖尿病が歯周病を悪化させたり歯周病が糖尿病を悪化させる可能性を、「知っている」人が61.9%



【全 体】糖尿病が歯周病を悪化させたり歯周病が糖尿病を悪化させる可能性の認知度は、「知っている」が61.9%となっている。一方で、「知らない」が37.1%となっている。

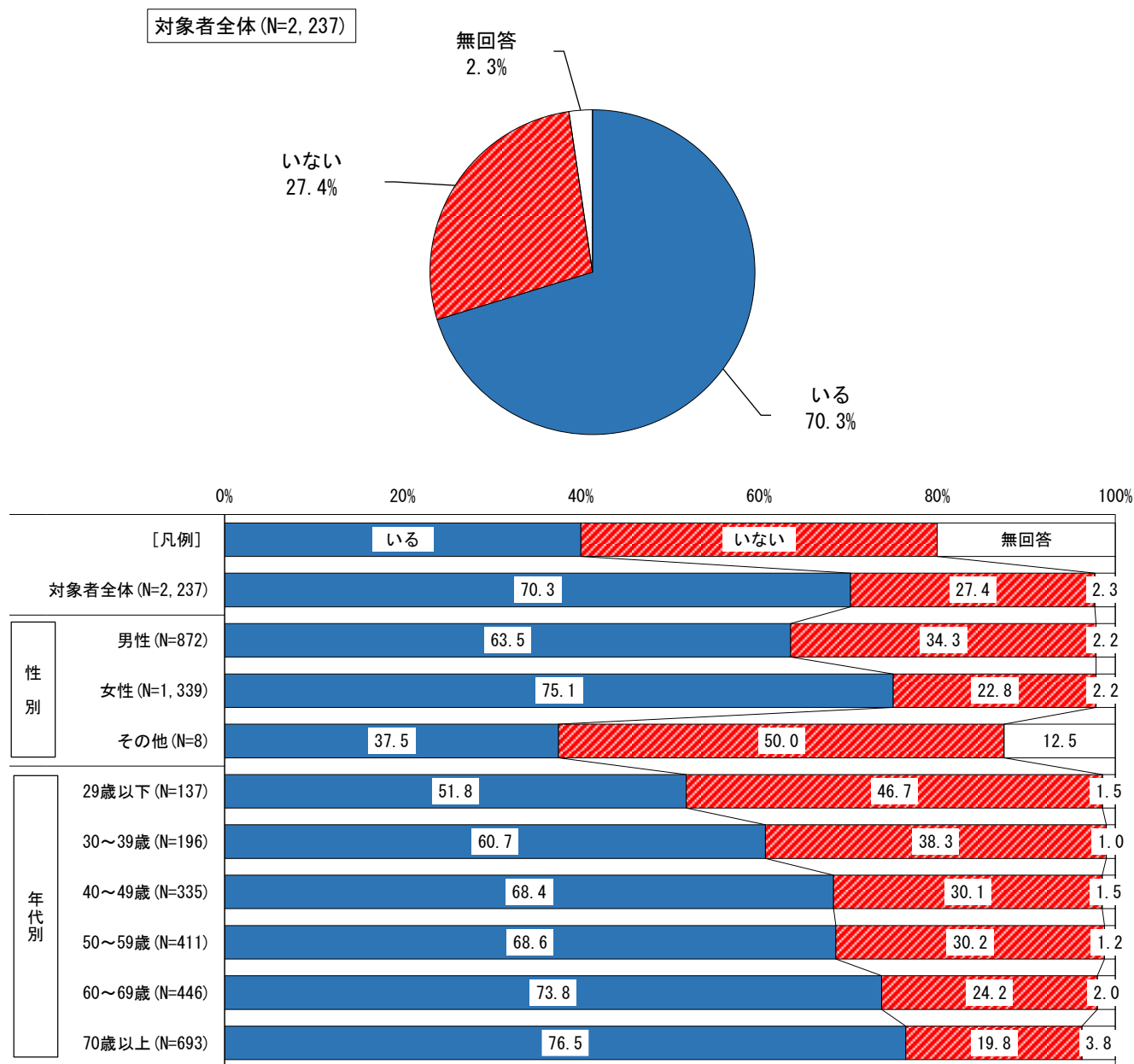
【性 別】「知っている」は、女性が64.5%と、男性の57.6%より6.9ポイント高くなっている。

【年代別】「知っている」が60歳代（66.4%）で最も高く、次いで50歳代（65.2%）、30歳代（60.2%）となっている。

◇「かかりつけ歯科医」の有無

問21 あなたは、「かかりつけ歯科医」がいますか。

「かかりつけ歯科医」の有無は、「いる」人が70.3%



【全 体】かかりつけ歯科医の有無は、「いる」が70.3%となっている。一方で、「いない」が27.4%となっている。

【性 別】「いる」は女性が75.1%と、男性の63.5%より11.6ポイント高くなっている。

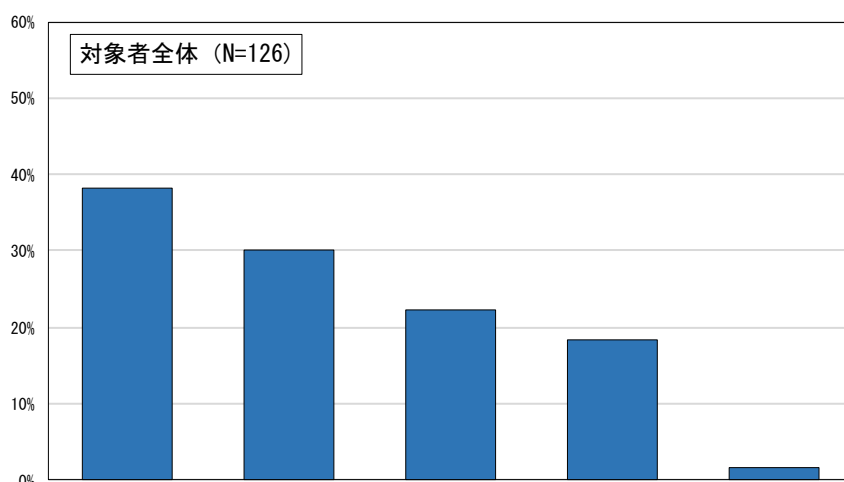
【年代別】「いる」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇どのようなときに「かかりつけ歯科医」を利用するか

≪問21で「1 いる」と答えた方にお聞きます。≫

問21-1 あなたは、どのようなときに「かかりつけ歯科医」に行きますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「かかりつけ歯科医」を利用するときは、「痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている」と回答した人が62.2%



		対象者数	60歳	70歳	40歳	50歳	無回答
(%)							
対象者全体		126	38.1	30.2	22.2	18.3	1.6
性別	男性	39	43.6	25.6	23.1	7.7	2.6
	女性	87	35.6	32.2	21.8	23.0	1.1
	その他	0	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-
	30～39歳	0	-	-	-	-	-
	40～49歳	23	-	-	100.0	-	-
	50～59歳	16	-	-	25.0	81.3	-
	60～69歳	36	83.3	-	-	19.4	-
	70歳以上	51	35.3	74.5	2.0	5.9	3.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】どのようなときに「かかりつけ歯科医」を利用するかは、「痛みなどの症状や気になるところがあったときに行っている」が62.2%、「症状の有無に関係なく定期的に行っている」が42.4%、「歯科医院から歯科検診受診等の通知があったときに行っている」が20.5%となっている。

【性 別】「症状の有無に関係なく定期的に行っている」は女性が44.5%と、男性の38.8%より5.7ポイント高くなっている。

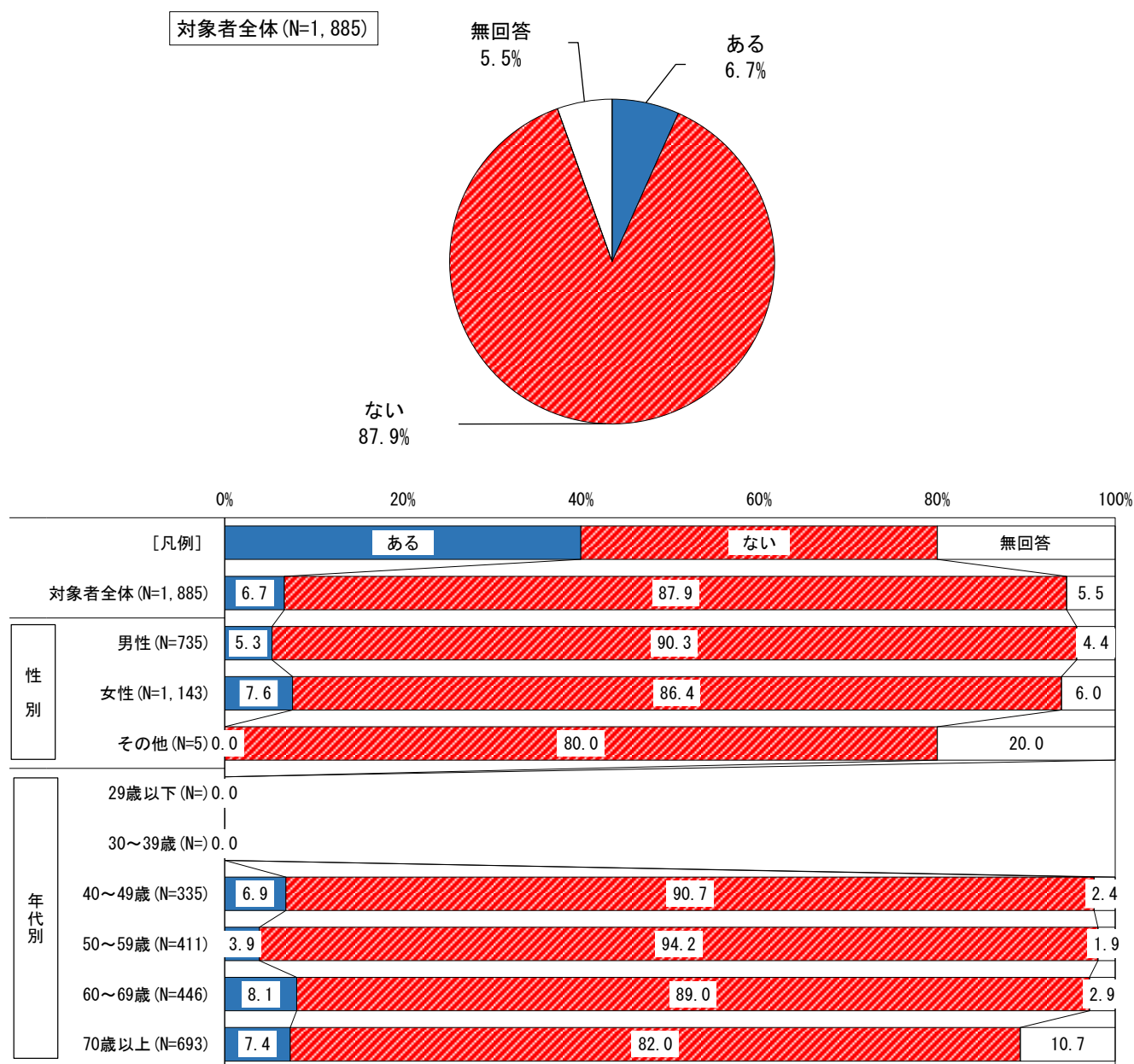
【年代別】「症状の有無に関係なく定期的に行っている」が30歳代(47.9%)で最も高く、次いで40歳代(45.9%)、70歳以上(44.9%)となっている。

◇「さっぽろ市歯周病検診」の受診の有無

※令和6年8月1日時点で40歳以上の方にお聞きします。40歳未満の方は問25へお進みください。※

問22 あなたは、「さっぽろ市歯周病検診」を受診したことがありますか。

「さっぽろ市歯周病検診」を受診したことが、「ある」人は6.7%



【全 体】「さっぽろ市歯周病検診」の受診の有無は、「ある」が6.7%、「ない」が87.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

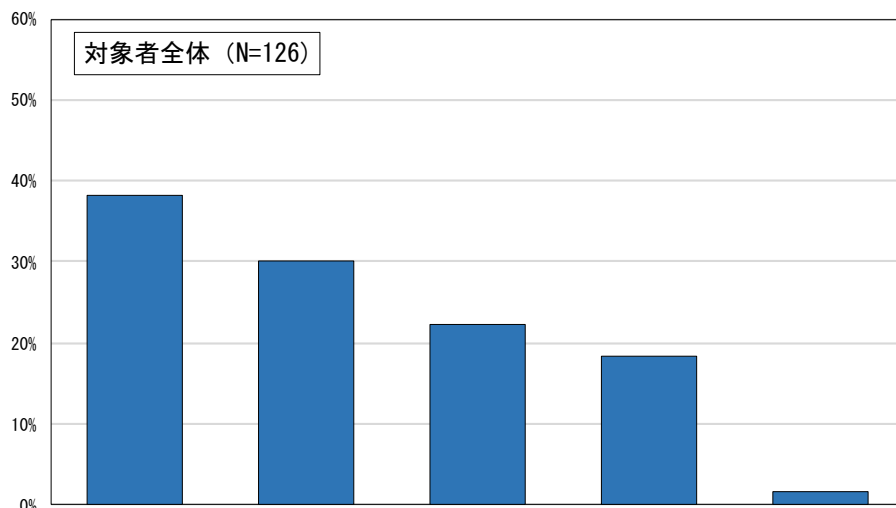
【年代別】「ある」は60歳代（8.1%）で最も高く、次いで70歳以上（7.4%）、40歳代（6.9%）となっている。

◇「さっぽろ市歯周病検診」を受診した年齢

≪問22で「1 ある」と答えた方にお聞きます。≫

問22-1 あなたが、「さっぽろ市歯周病検診」を受診したときの年齢を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「さっぽろ市歯周病検診」を受診したときの年齢は、「60歳」と回答した人が38.1%



		対象者数	60歳	70歳	40歳	50歳	無回答
(%)							
対象者全体		126	38.1	30.2	22.2	18.3	1.6
性別	男性	39	43.6	25.6	23.1	7.7	2.6
	女性	87	35.6	32.2	21.8	23.0	1.1
	その他	0	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-
	30～39歳	0	-	-	-	-	-
	40～49歳	23	-	-	100.0	-	-
	50～59歳	16	-	-	25.0	81.3	-
	60～69歳	36	83.3	-	-	19.4	-
	70歳以上	51	35.3	74.5	2.0	5.9	3.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「さっぽろ市歯周病検診」を受診した年齢は、「60歳」が38.1%、「70歳」が30.2%、「40歳」が22.2%となっている。

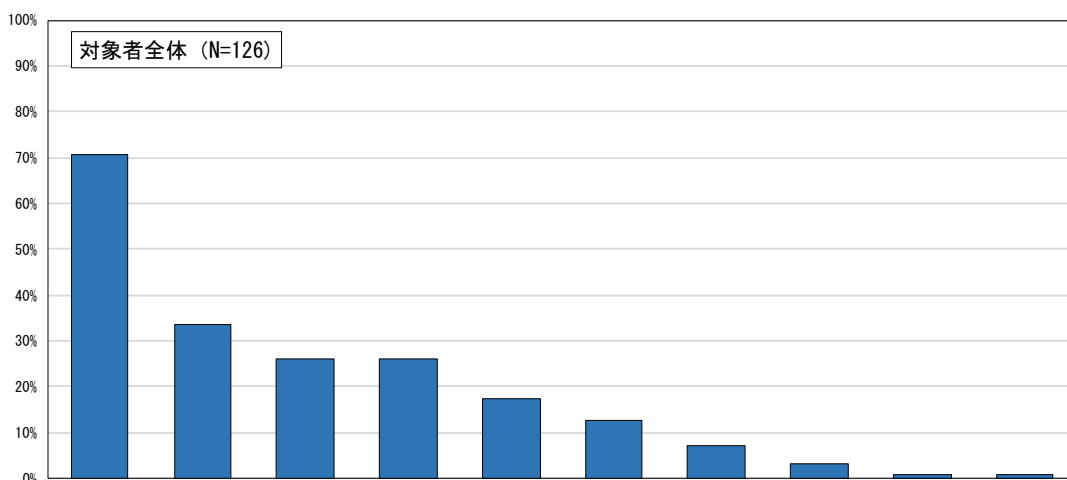
【性 別】「60歳」は男性が43.6%と、女性の35.6%より8ポイント高くなっている。また、「70歳」は男性が25.6%と女性の32.2%より6.6ポイント、「50歳」は男性が7.7%と女性の23.0%より15.3ポイント低くなっている。

【年代別】40歳代は「40歳」が、50歳代は「50歳」が、60歳代では「60歳」が、70歳以上では「70歳」が最も高くなっている。

◇「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由

問22-2 あなたが「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由は、「受診券（はがき）が届いたから」が70.6%



		対象者数	受診券（はがき）が届いたから	日頃から歯に気をつけているから	必要性を感じたから	500円で受診できるから	歯科医院で勧められたから	行きやすいところに歯科医院があったから	興味があったから	家族や友人などから勧められたから	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		126	70.6	33.3	26.2	26.2	17.5	12.7	7.1	3.2	0.8	0.8
性別	男性	39	69.2	35.9	33.3	23.1	15.4	12.8	5.1	5.1	-	2.6
	女性	87	71.3	32.2	23.0	27.6	18.4	12.6	8.0	2.3	1.1	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	23	91.3	8.7	47.8	39.1	-	8.7	4.3	-	-	-
	50～59歳	16	75.0	12.5	18.8	37.5	18.8	12.5	12.5	6.3	-	-
	60～69歳	36	72.2	33.3	27.8	22.2	16.7	8.3	8.3	5.6	-	2.8
	70歳以上	51	58.8	51.0	17.6	19.6	25.5	17.6	5.9	2.0	2.0	-

 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「さっぽろ市歯周病検診」を受診した理由は、「受診券（はがき）が届いたから」が70.6%、「日頃から歯に気をつけているから」が33.3%、「必要性を感じたから」「500円で受診できるから」が26.2%となっている。

【性 別】「必要性を感じたから」は、男性が33.3%と、女性の23.0%より10.3ポイント高くなっている。

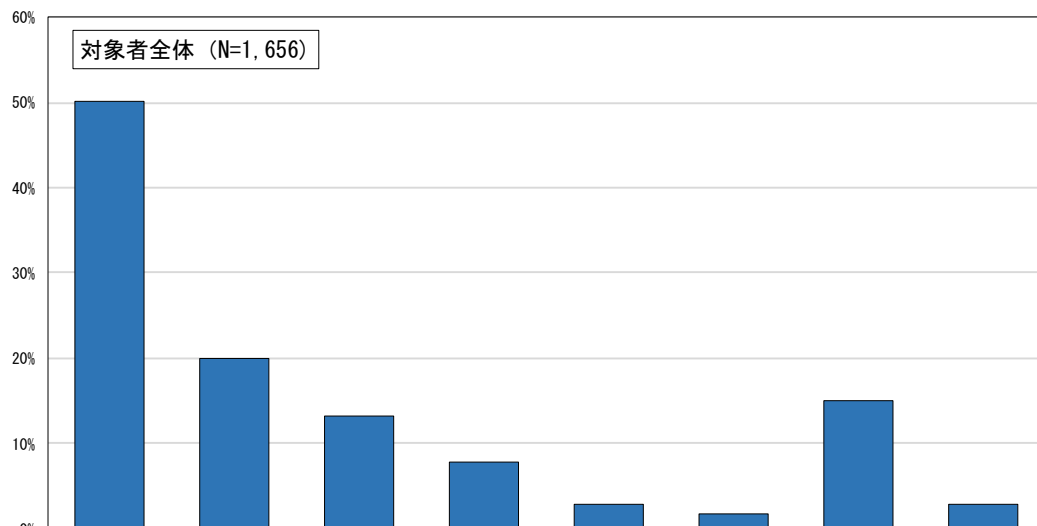
【年代別】「日頃から歯に気をつけているから」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「受診券（はがき）が届いたから」「500円で受診できるから」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由

≪問22で「2 ない」と答えた方にお聞きます。≫

問23 あなたは、さっぽろ市歯周病検診を受診しなかった理由は何ですか？あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由は、「知らなかったから」が50.2%



		対象者数	知らなかったから	必要性を感じなかったから	忙しかったから	かかりつけ歯科医院で受診できないから	興味がなかったから	体調が悪かったから	その他	無回答
		(%)								
対象者全体		1,656	50.2	19.9	13.1	7.7	2.8	1.7	15.1	2.8
性別	男性	664	55.1	20.2	12.8	5.7	3.3	1.2	13.0	2.1
	女性	987	46.8	19.9	13.4	9.1	2.5	2.0	16.5	3.2
	その他	4	75.0	-	-	-	-	-	25.0	-
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	304	62.5	14.5	17.1	4.6	2.0	0.3	8.6	0.7
	50～59歳	387	58.4	15.5	16.5	6.5	2.8	1.6	13.2	0.3
	60～69歳	397	55.4	15.6	14.6	7.8	3.0	1.8	15.6	2.5
	70歳以上	568	34.5	28.9	7.6	10.2	3.2	2.5	19.5	5.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「さっぽろ市歯周病検診」を受診しなかった理由は、「知らなかったから」が50.2%「必要性を感じなかったから」が19.9%、「忙しかったから」が13.1%となっている。

【性 別】「知らなかったから」は、男性が55.1%と、女性の46.1%より8.3ポイント高くなっている。

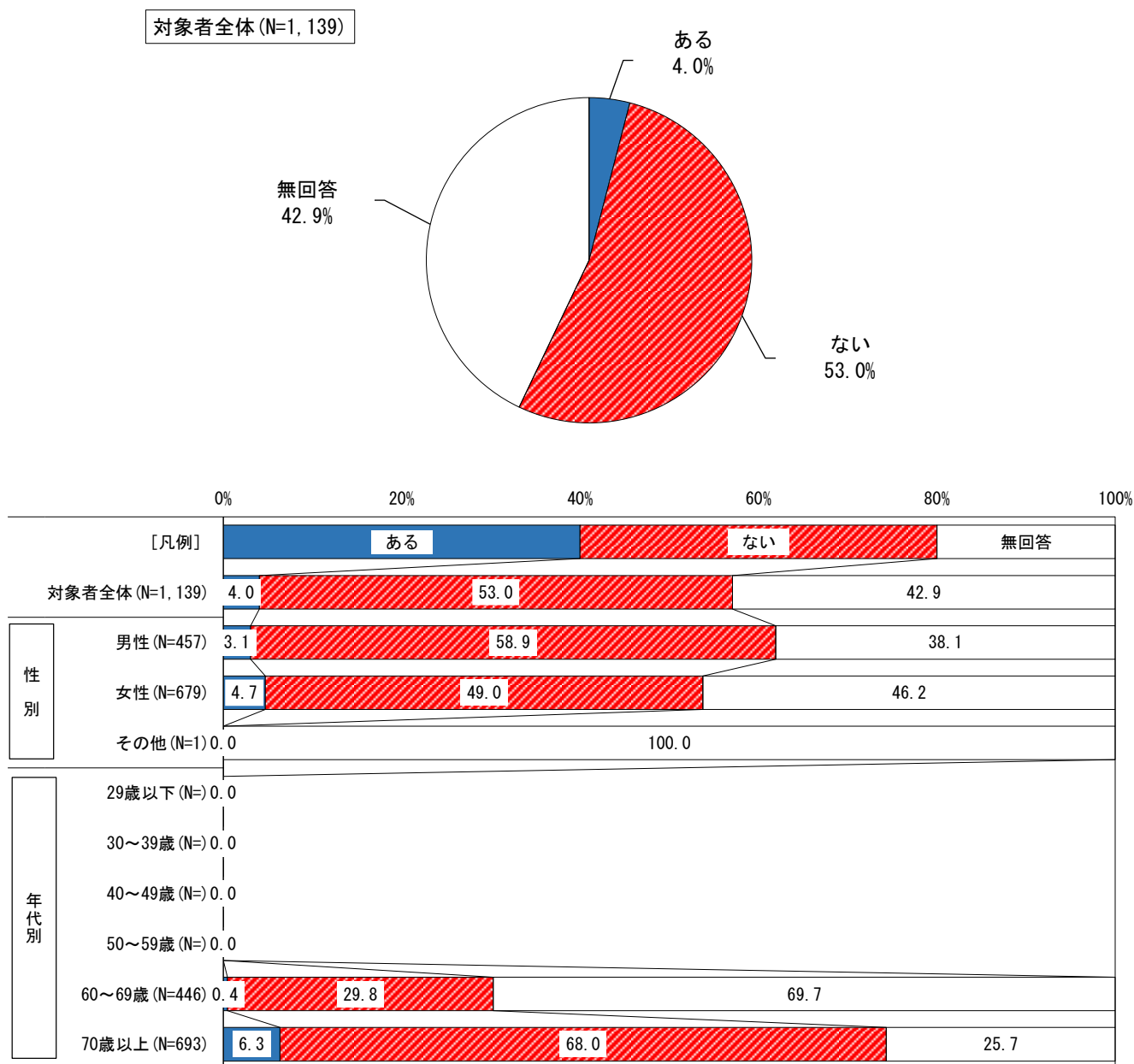
【年代別】「知らなかったから」「忙しかったから」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。また、「必要性を感じなかったから」「かかりつけ歯科医院で受診できないから」「興味がなかったから」「体調が悪かったから」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「後期高齢者歯科健診」の受診の有無

≪北海道後期高齢者医療被保険者の方にお聞きします。それ以外の方は問25にお進みください。≫

問24 あなたは、「後期高齢者歯科健診」を受診したことがありますか。

「後期高齢者歯科健診」を受診したことが、「ある」人が4.0%



【全 体】「後期高齢者歯科健診」の受診の有無は、「ある」が4.0%となっている。一方、「ない」が53.0%となっている。

【性 別】「ない」は男性が58.9%と、女性の49.0%より9.9ポイント高くなっている。

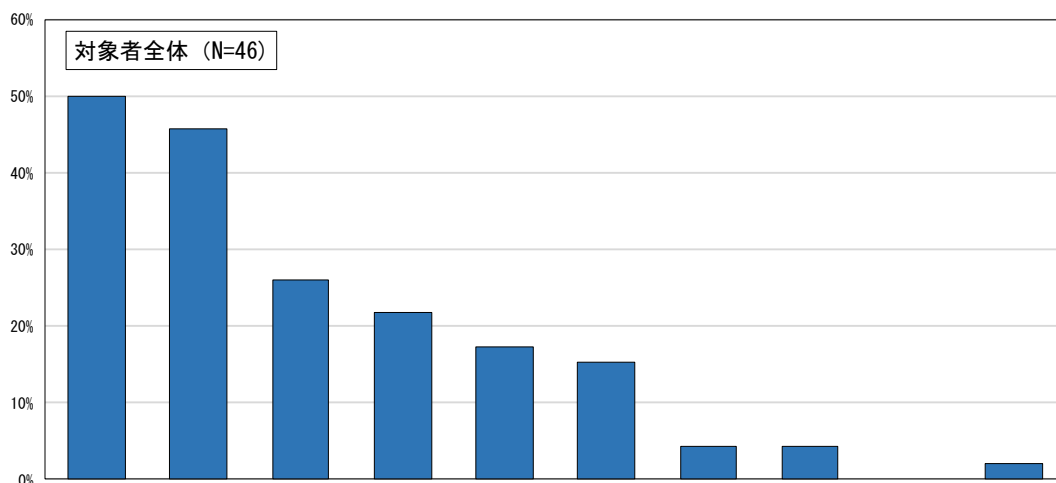
【年代別】「ある」は70歳以上で6.3%と、60歳代(0.4%)と比べると5.9ポイントの差になっている。

◇「後期高齢者歯科健診」を受診した理由

≪問24で「1 ある」と答えた方にお聞きます。≫

問24-1 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は、「受診券（案内）が届いたから」が50.0%



		対象者数	受診券（案内）が届いたから	日頃から歯に気をつけているから	必要性を感じていたから	歯科医院で勧められたから	行きやすいために歯科医院	400円で受診できるから	家族や友人などから勧められたから	興味があったから	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		46	50.0	45.7	26.1	21.7	17.4	15.2	4.3	4.3	-	2.2
性別	男性	14	42.9	57.1	21.4	21.4	14.3	7.1	7.1	-	-	-
	女性	32	53.1	40.6	28.1	21.9	18.8	18.8	3.1	6.3	-	3.1
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～69歳	2	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	70歳以上	44	52.3	47.7	22.7	22.7	15.9	15.9	4.5	4.5	-	2.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は、「受診券（案内）が届いたから」が50.0%、「日頃から歯に気をつけているから」が45.7%、「必要性を感じていたから」が26.1%となっている。

【性 別】「日頃から歯に気をつけているから」は、男性が57.1%と、女性の40.6%より16.5ポイント高くなっている。また、「受診券（案内）が届いたから」「必要性を感じていたから」「400円で受診できるから」は、女性が男性より6.7ポイント以上高くなっている。

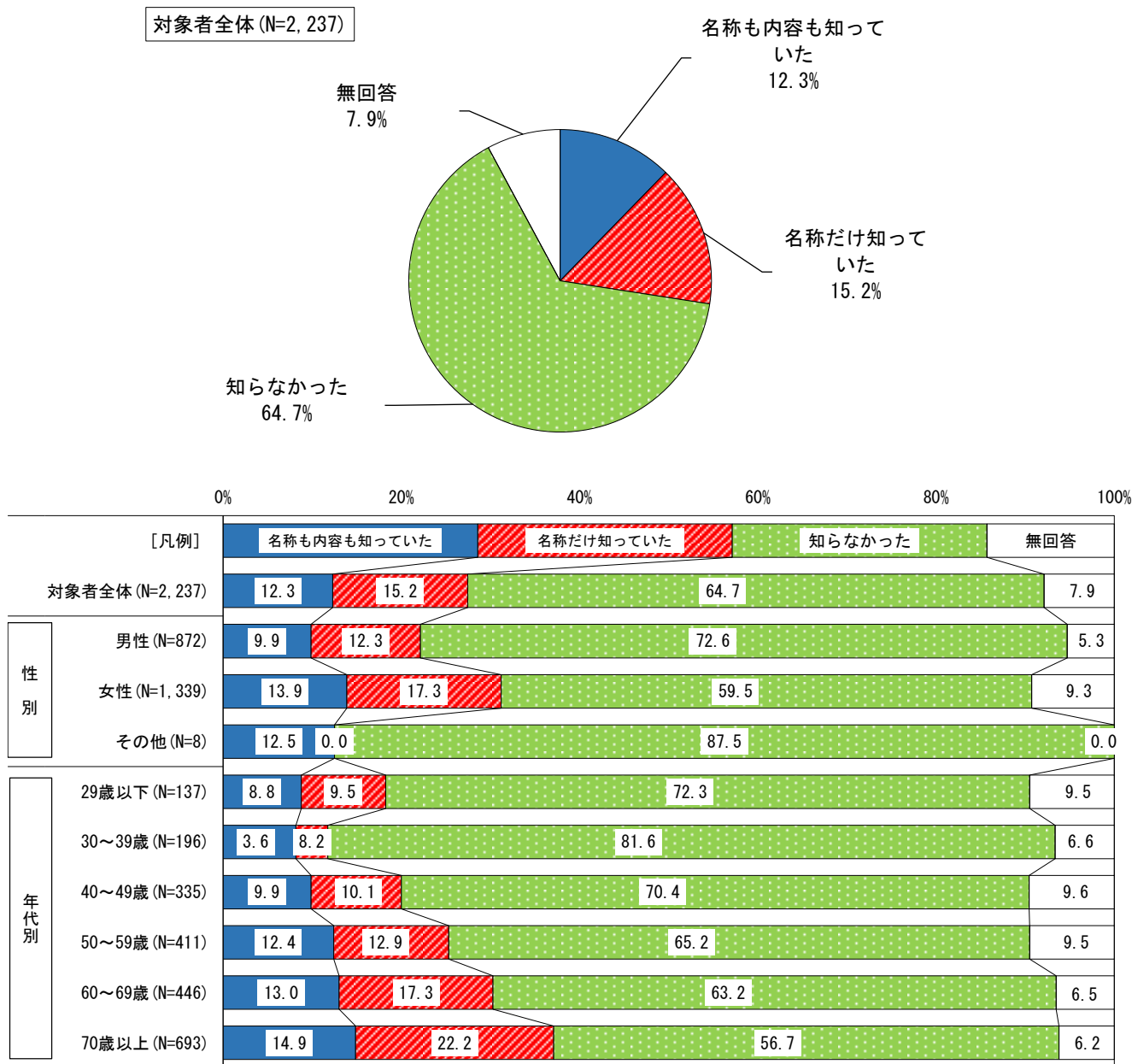
【年代別】60歳代では「必要性を感じていたから」、70歳以上では「受診券（案内）が届いたから」が最も高くなっている。

◇オーラルフレイルの認知度

問25 あなたは、オーラルフレイルについて知っていましたか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

オーラルフレイルについての認知度は、「知っていた」人が27.5%

※ “知っていた” = (「名称も内容も知っていた」 + 「名称だけ知っていた」)



【全 体】オーラルフレイルについての認知度は、「名称も内容も知っていた」が12.3%、「名称だけ知っていた」が15.2%、合わせると27.5%となっている。一方で、「知らなかった」が64.7%となっている。

【性 別】「知らなかった」は、男性が72.6%と、女性の59.5%より13.1ポイント高くなっている。また、「名称だけ知っていた」は男性が12.3%と、女性の17.3%より5.0ポイント低くなっている。

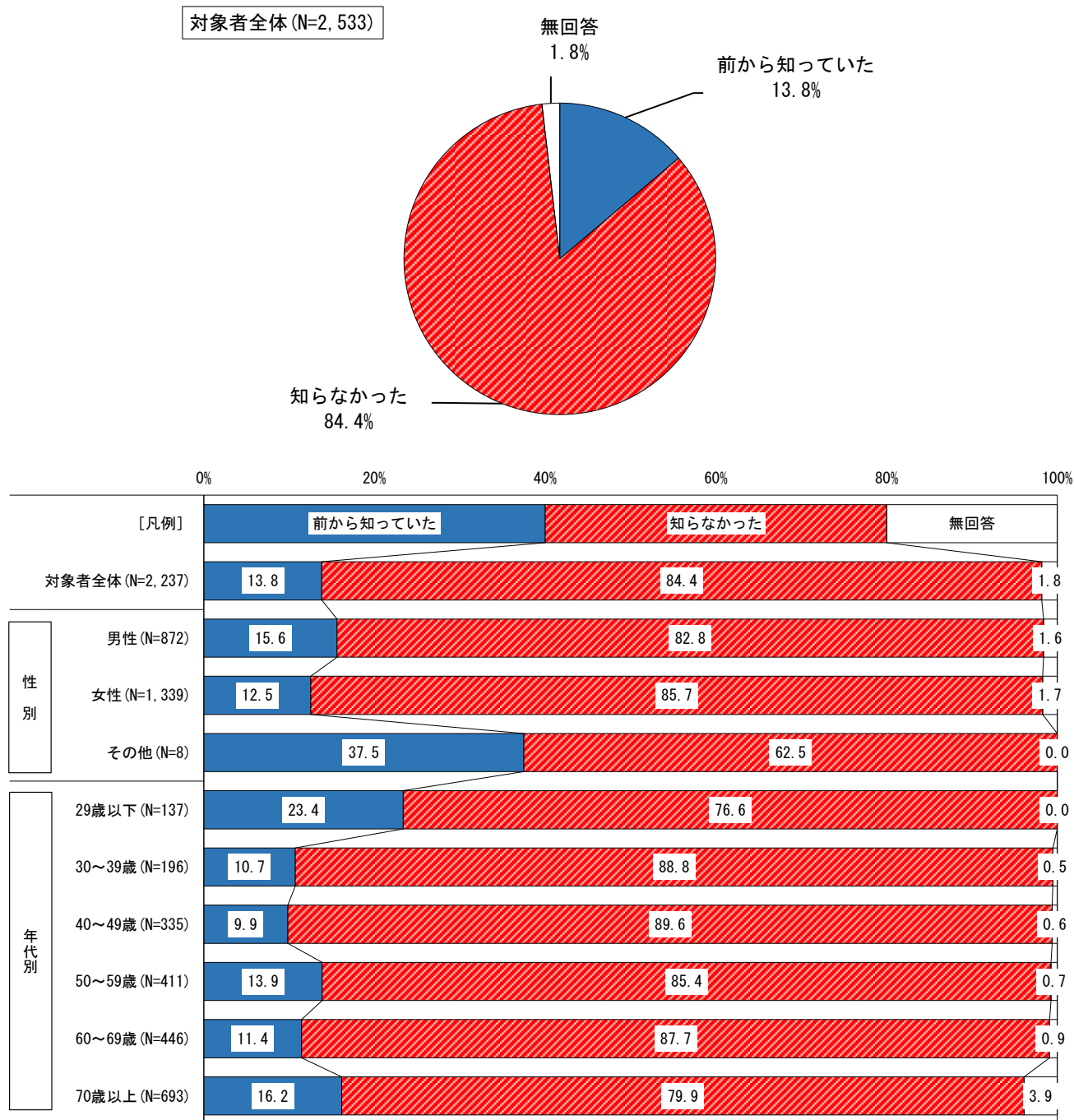
【年代別】「名称も内容も知っていた」「名称だけ知っていた」は70歳以上が、「知らなかった」は30歳代が最も高くなっている。

(4)札幌市における自殺対策について

◇札幌市で年間300人以上が自殺していることに関する認知度

問26 札幌市において年間300人を超える人が自ら命を絶っています。あなたは、このことを知っていますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市で年間300人以上が自殺していることについて、「前から知っていた」人が13.8%



【全 体】札幌市で年間300人以上が自殺していることについて、「前から知っていた」が13.8%、「知らなかった」が84.4%となっている。

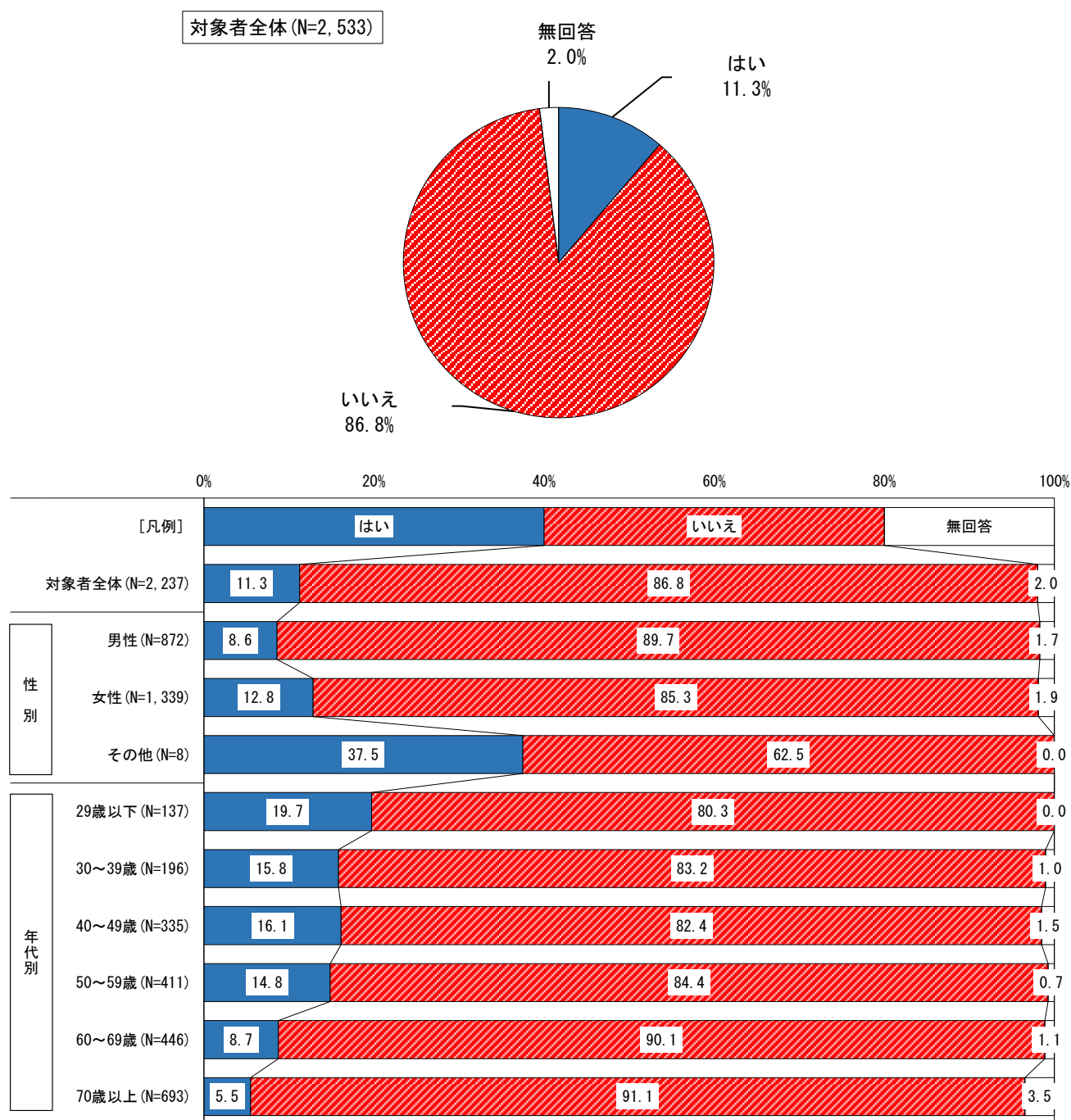
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「前から知っていた」が29歳以下(23.4%)で最も高く、次いで70歳以上(16.2%)、50歳代(13.9%)となっている。

◇自殺に関する相談を受けたことがあるか

問27 あなたは、周りにいる悩んでいる人から「死にたい」という相談を受けたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自殺に関する相談を受けたことがあるかについて、「はい」と回答した人が11.3%



【全 体】 自殺に関する相談を受けたことがあるかについて、「はい」と回答した人が11.3%、「いいえ」と回答した人が86.8%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

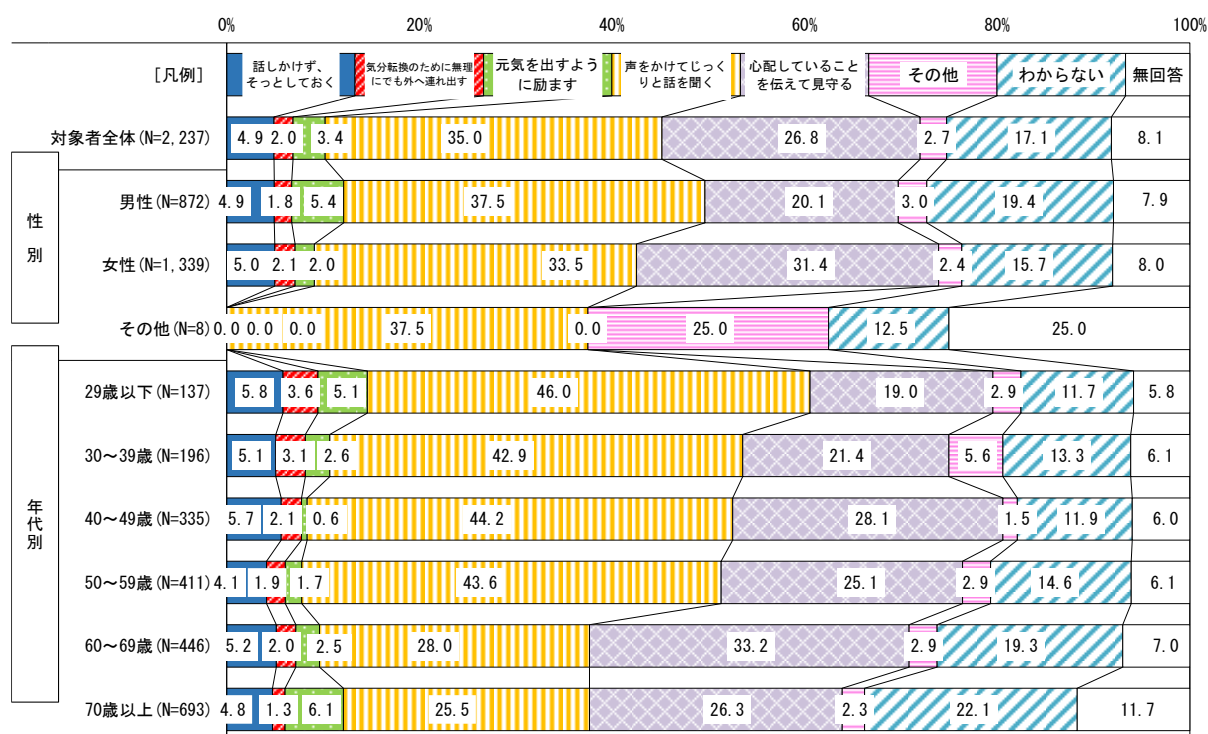
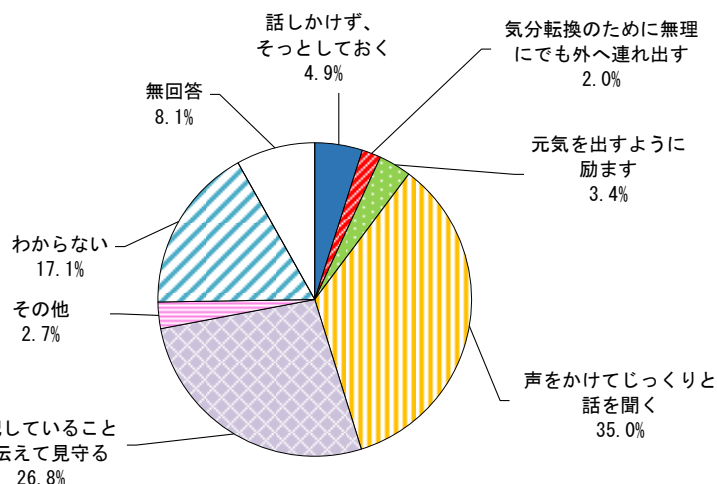
【年代別】 「はい」が29歳以下(19.7%)で最も高く、次いで40歳代(16.1%)、30歳代(15.8%)となっている。

◇悩んでいる人に対する最も望ましいと思う対応について

問28 あなたは、周りにいる悩んでいる人にきついたとき、どのように対応するのが最も望ましいと思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

悩んでいる人に対する最も望ましいと思う対応について、「声をかけてじっくりと話を聞く」と回答した人が35.0%

対象者全体 (N=2,237)



【全 体】悩んでいる人に対する最も望ましいと思う対応について、「声をかけてじっくりと話を聞く」が35.0%、「心配していることを伝えて見守る」が26.8%、「話しかけず、そっとしておく」が4.9%となっている。

【性 別】「心配していることを伝えて見守る」は女性が31.4%と、男性の20.1%より11.3ポイント高くなっている。

【年代別】「声をかけてじっくりと話を聞く」が29歳以下(46.0%)で最も高く、最も低い70歳以上(25.5%)と比べると20.5ポイントの差となっている。

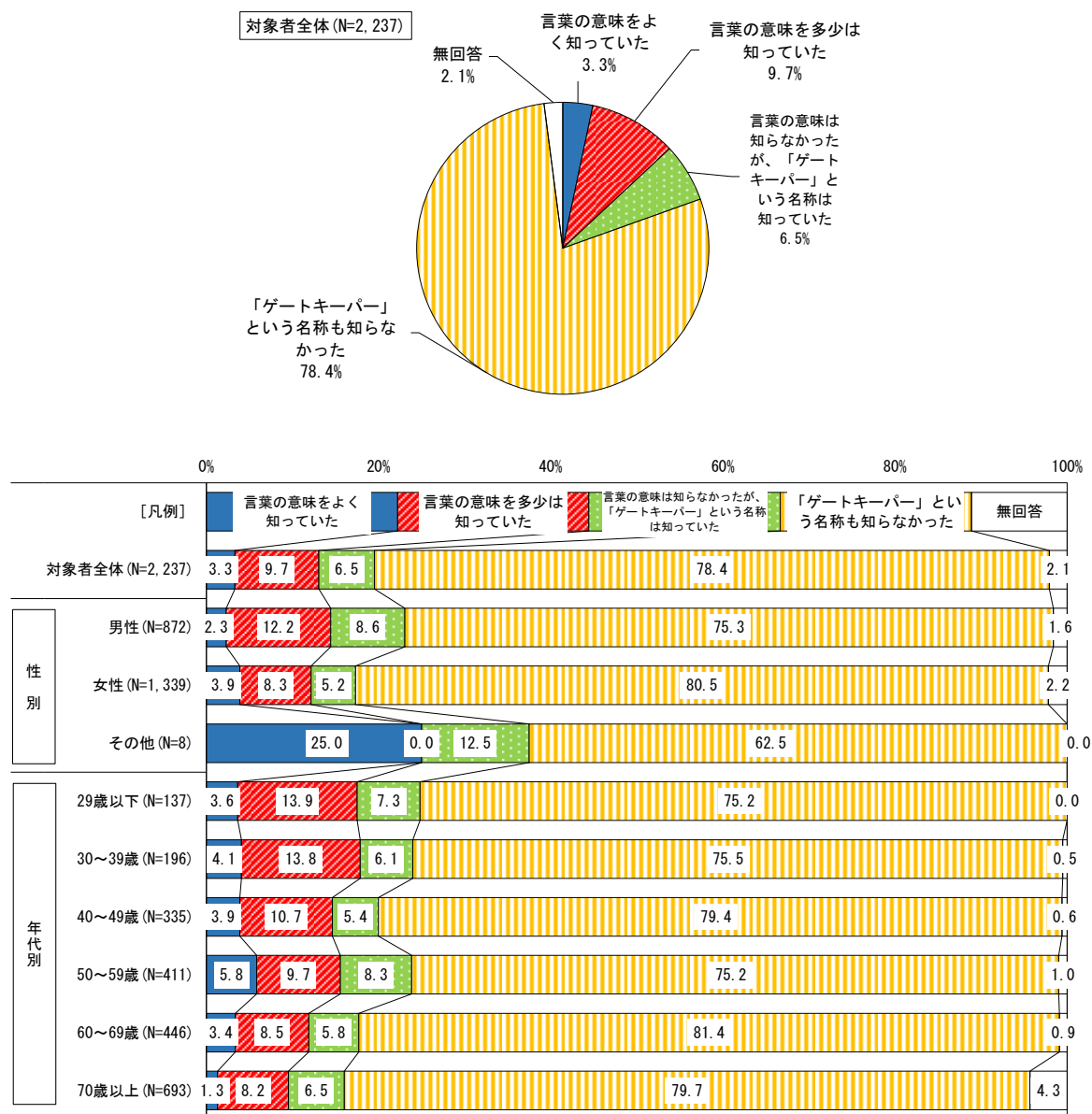
◇「ゲートキーパー」に関する認知度

「札幌市では「市民一人ひとりがゲートキーパーになること」を目指して自殺対策に取り組んでいます。「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人にきつき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、みまもる人のことです。特別な資格は必要なく、さまざまな立場の方が、それぞれの立場においてゲートキーパーになることができます。」

問29 あなたは、前記の「ゲートキーパー」の意味は知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「ゲートキーパー」について、「知っていた」人は19.5%

※ “知っていた” = (「言葉の意味をよく知っていた」 + 「言葉の意味を多少は知っていた」 + 「言葉の意味は知らなかったが、「ゲートキーパー」という名称は知っていた」)



【全 体】「ゲートキーパー」に関する認知度について、「言葉の意味をよく知っていた」が3.3%、「言葉の意味を多少は知っていた」が9.7%、「言葉の意味は知らなかったが、「ゲートキーパー」という名称は知っていた」が6.5%、合わせると19.5%となっている。一方で、「「ゲートキーパー」という名称も知らなかった」が78.4%となっている。

【性 別】「ゲートキーパー」という名称も知らなかった」は、女性が80.5%と、男性の75.3%より5.2%高くなっている。

【年代別】「言葉の意味を多少は知っていた」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

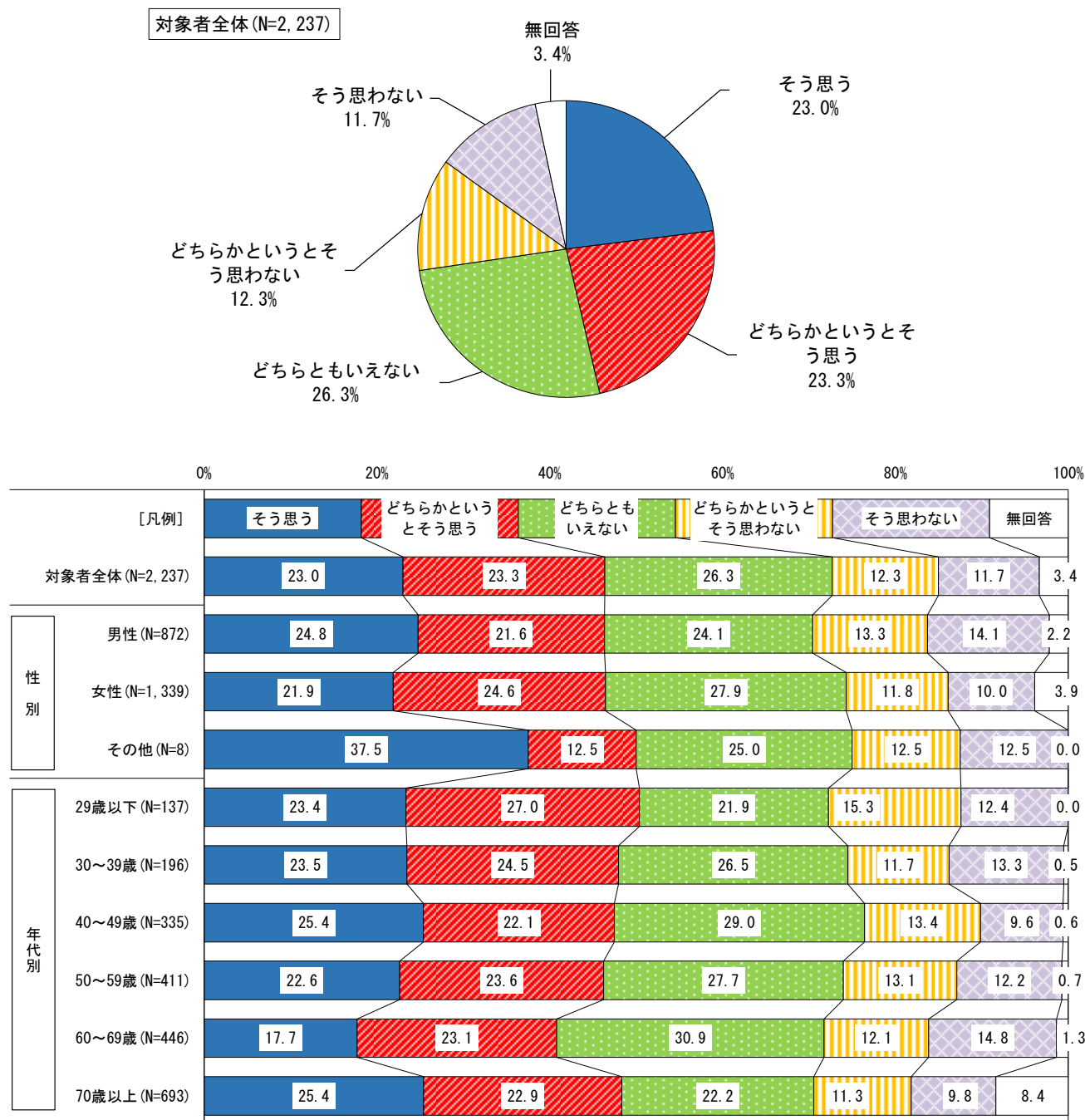
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ア 依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない

依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではないと「思う」人が46.3%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】 依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではないことを「そう思う」が 23.0%、「どちらかというと思う」が 23.3%、合わせると 46.3%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が 12.3%、「そう思わない」が 11.7%、合わせると 24.0%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 29歳以下では「どちらかというと思う」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「どちらともいえない」が、70歳以上では「そう思う」が最も高くなっている。

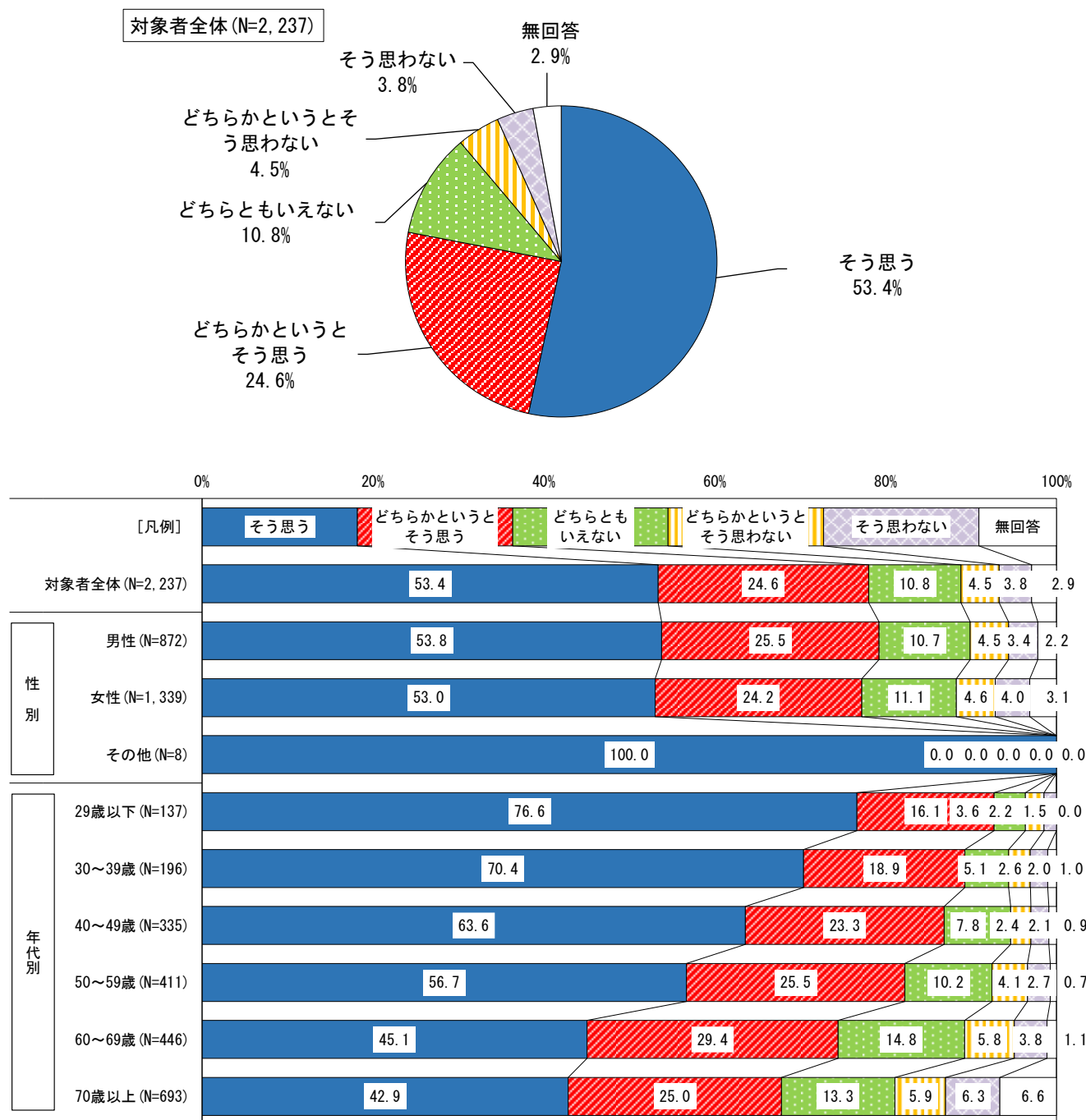
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

イ 依存症は、誰にでも起こりうる問題である。

依存症は、誰にでも起こりうる問題であると「思う」人が78.0%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】 依存症は、誰にでも起こりうる問題であることを「そう思う」が53.4%、「どちらかというと思う」が24.6%、合わせると78.0%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が4.5%、「そう思わない」が3.8%、合わせると8.3%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「そう思う」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

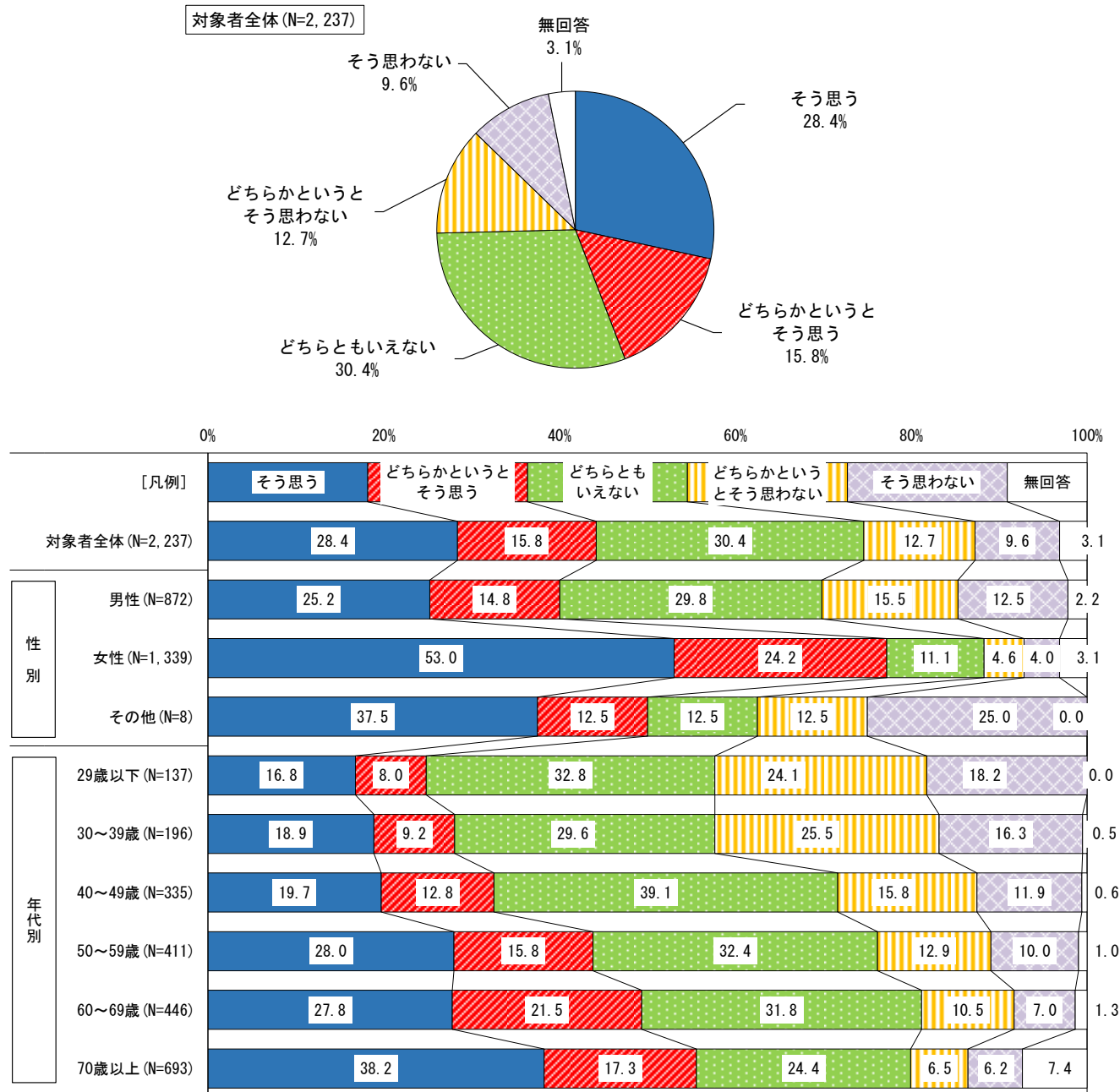
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない

お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらないと「思う」人が44.2%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】 お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらないことを「そう思う」が28.4%、「どちらかというと思う」が15.8%、合わせると44.2%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が12.7%、「そう思わない」が9.6%、合わせると22.3%となっている。

【性 別】 「そう思う」「どちらかというと思う」は、女性が男性より9.4ポイント以上高くなっている。また、「どちらともいえない」「どちらかというと思わない」「そう思わない」は、男性が女性より8.5ポイント以上高くなっている。

【年代別】 29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「どちらともいえない」が、70歳以上では「そう思う」が最も高くなっている。

◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

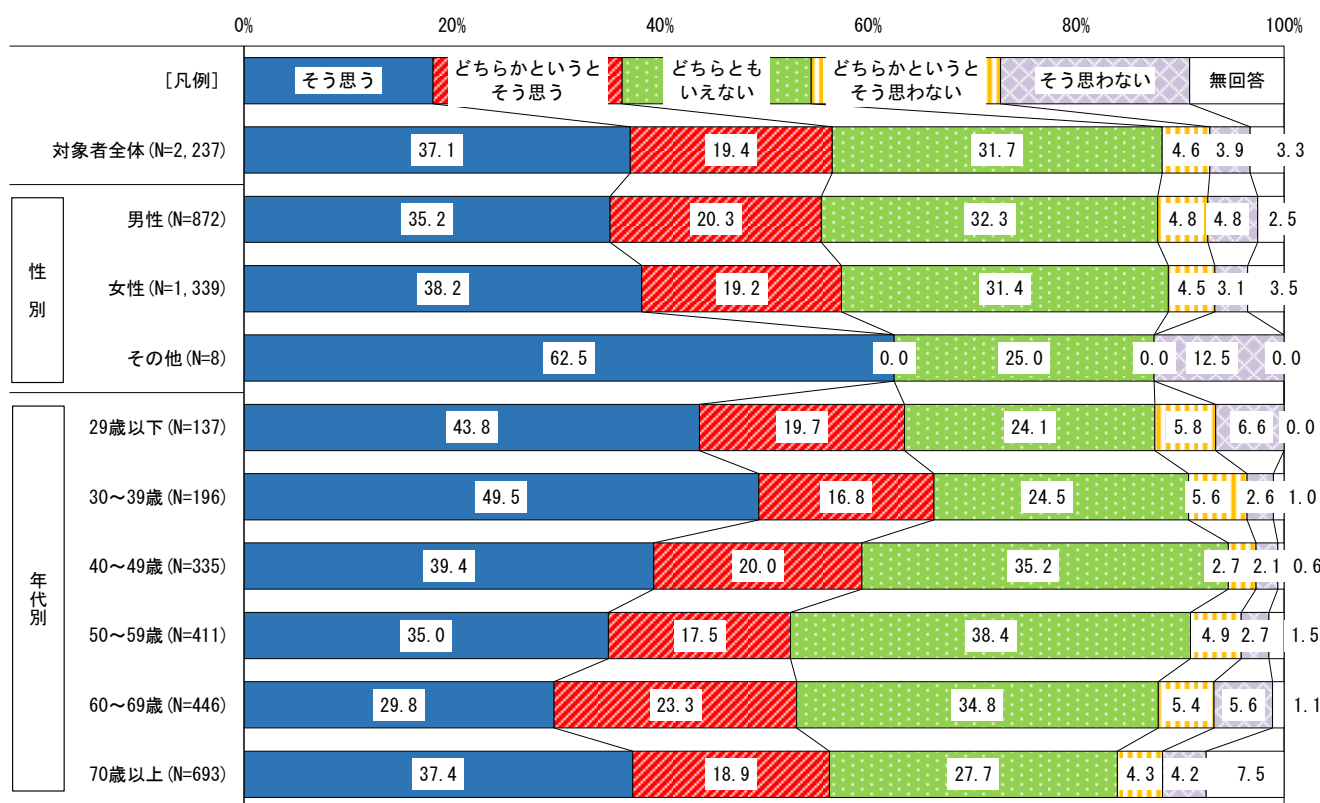
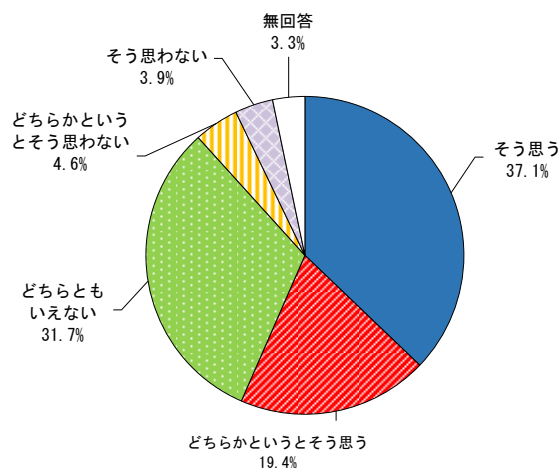
問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

エ 借金などのトラブルを家族が肩代わりして解決するべきではない

借金などのトラブルを家族が肩代わりして解決するべきではないと「思う」人が56.5%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)

対象者全体 (N=2,237)



【全 体】 借金などのトラブルを家族が肩代わりして解決するべきではないことを「そう思う」が37.1%、「どちらかというと思う」が19.4%、合わせると56.5%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が4.6%、「そう思わない」が3.9%、合わせると8.5%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「そう思う」が30歳代（49.5%）で最も高く、最も低い60歳代（29.8%）と比べると19.7ポイントの差となっている。

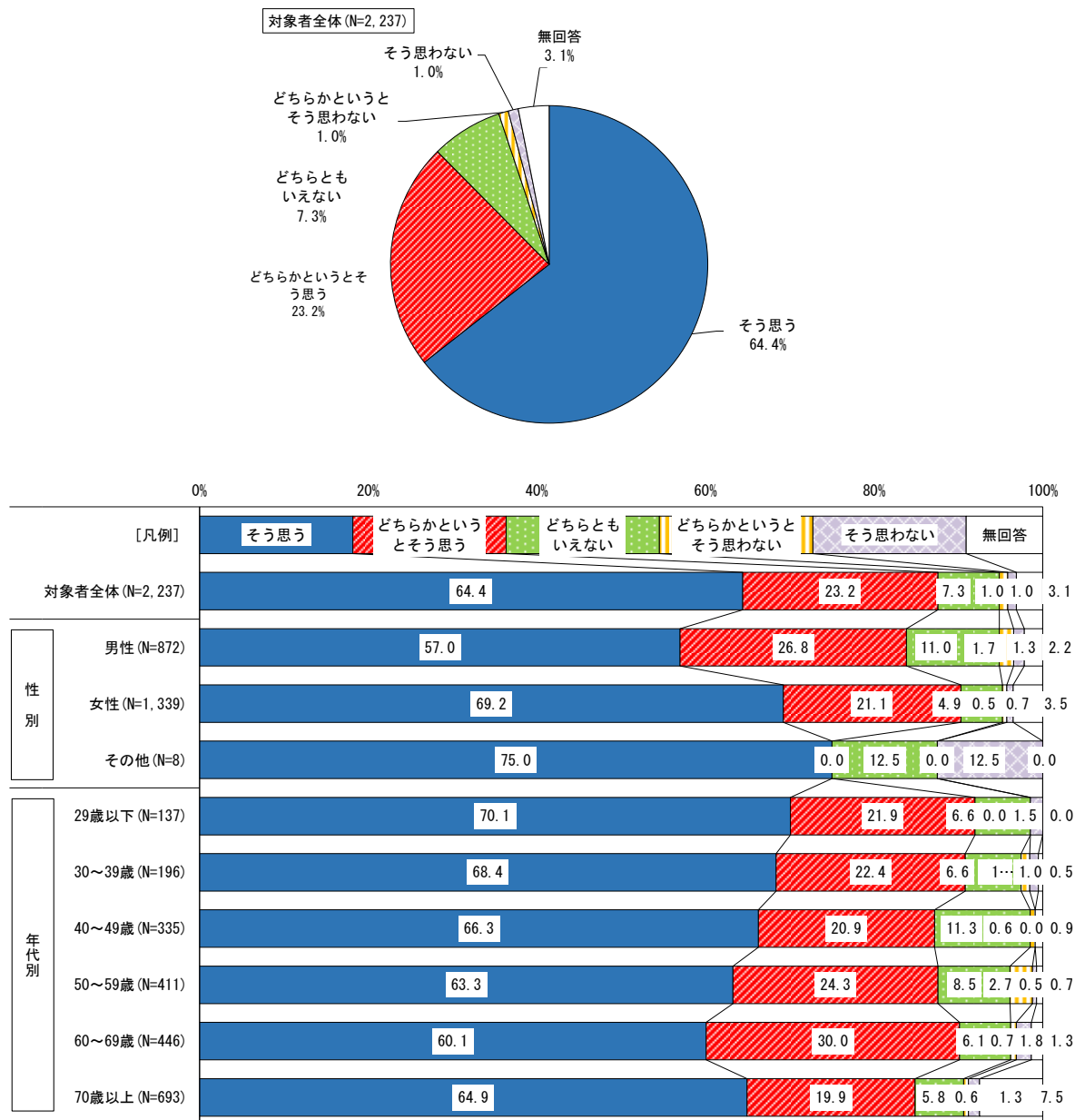
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

オ 本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切

本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切だと「思う」人が87.6%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】アルコールやギャンブル、薬物などを本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切なことを「そう思う」が64.4%、「どちらかというと思う」が23.2%、合わせると87.6%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が1.0%、「そう思わない」が1.0%、合わせると2.0%となっている。

【性 別】「そう思う」は女性が69.2%と、男性の57.0%より12.2ポイント高くなっている。また、「どちらかというと思う」「どちらともいえない」は、男性が女性より5.7ポイント以上高くなっている。

【年代別】「そう思う」が29歳以下(70.1%)で最も高く、次いで30歳代(68.4%)、40歳代(66.3%)となっている。

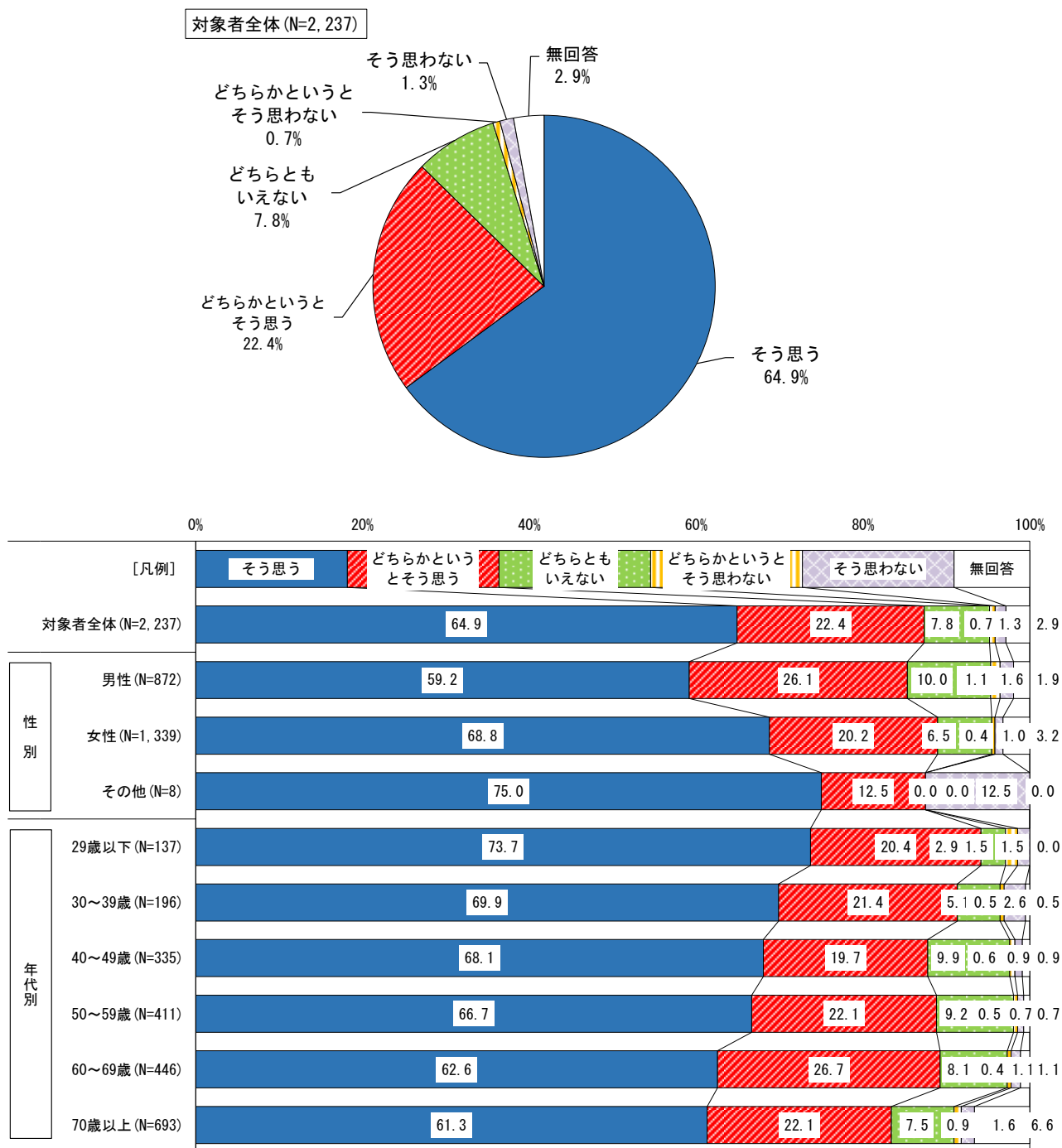
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

カ 本人が依存症であることを認めることから回復が始まる

本人が依存症であることを認めることから回復が始まると「思う」人が87.3%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】本人が依存症であることを認めることから回復が始まることを「そう思う」が64.9%、「どちらかというと思う」が22.4%、合わせると87.3%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が0.7%、「そう思わない」が1.3%、合わせると2.0%となっている。

【性 別】「そう思う」は女性が68.8%と、男性の59.2%より9.6ポイント高くなっている。また、「どちらかというと思う」は、男性が26.1%と、女性の20.2%より5.9ポイント高くなっている。

【年代別】「そう思う」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

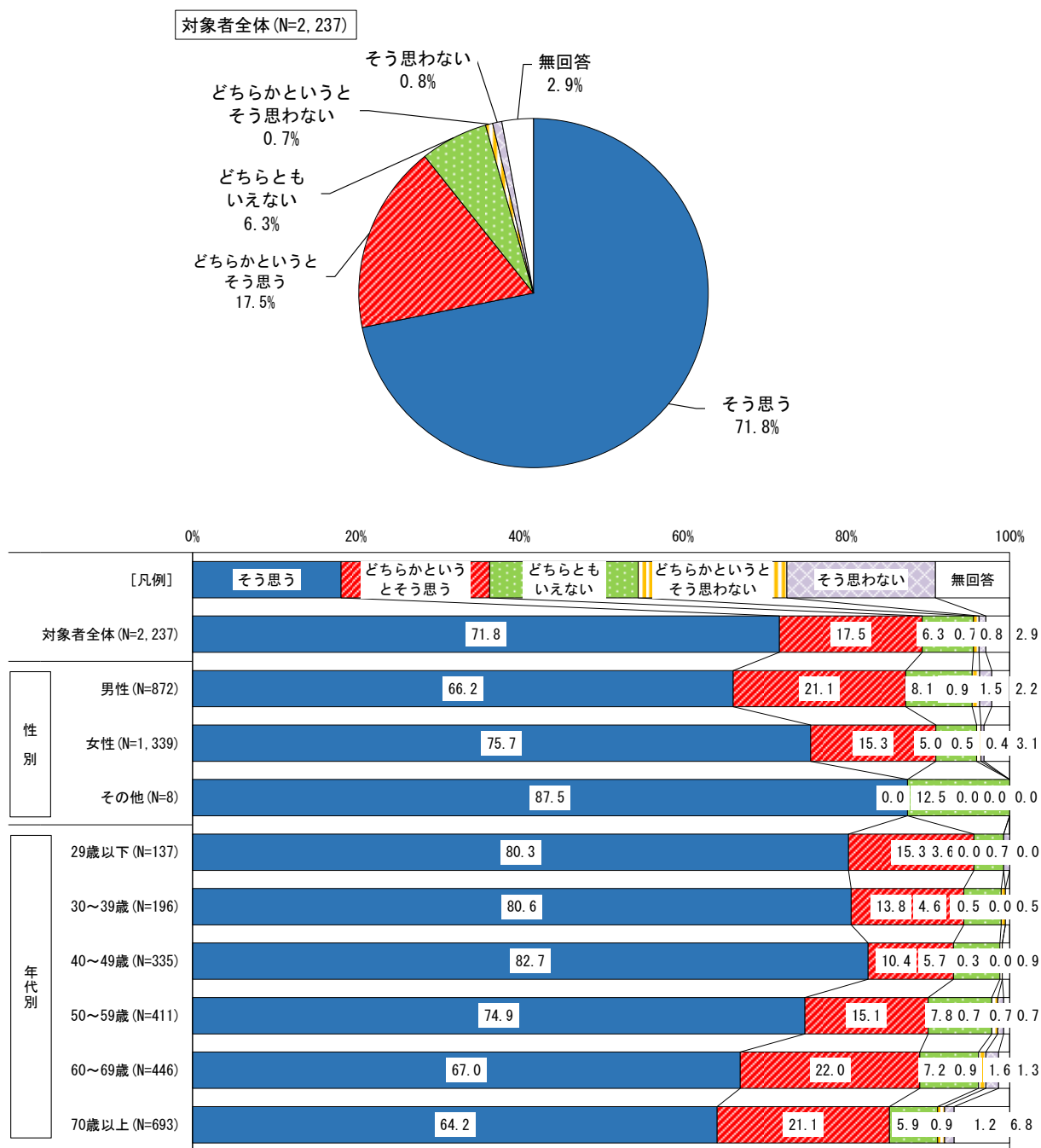
◇アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関する自身の考え

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

キ 依存症の回復には長い時間がかかる

依存症の回復には長い時間がかかると「思う」人が89.3%

※ “思う” = (「そう思う」 + 「どちらかというと思う」)



【全 体】 依存症の回復には長い時間がかかることを「そう思う」が71.8%、「どちらかというと思う」が17.5%、合わせると89.3%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」が0.7%、「そう思わない」が0.8%、合わせると1.5%となっている。

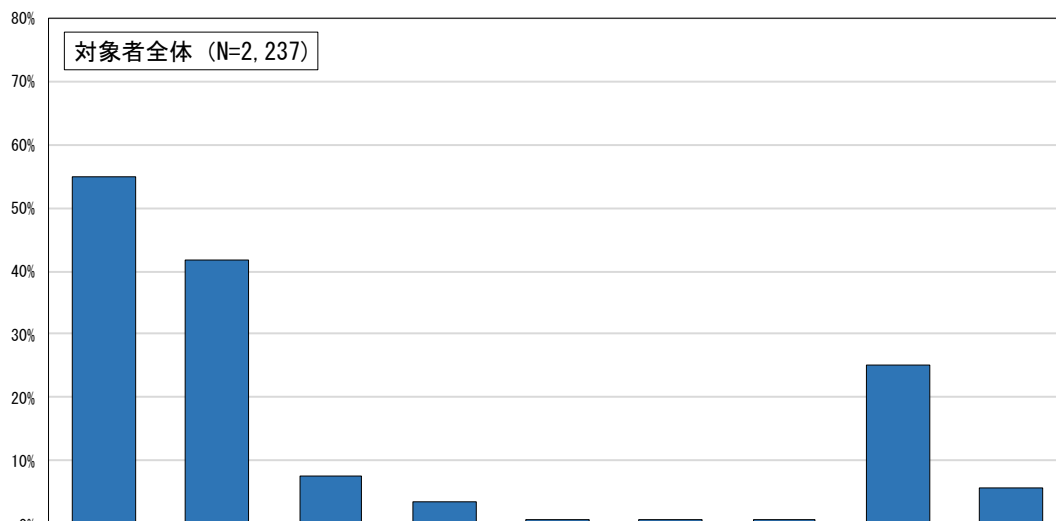
【性 別】 「そう思う」は女性が75.7%と、男性の66.2%より9.5ポイント高くなっている。また、「どちらかというと思う」は、男性が22.1%と、女性の15.3%より6.8ポイント高くなっている。

【年代別】 「そう思う」が40歳代(82.7%)で最も高く、最も低い70歳以上(64.2%)と比べると18.5ポイントの差となっている。

◇自殺対策の取り組み

問31 次の自殺対策の取り組みのうち、あなたが知っていたものにいくつでも○をつけてください。

自殺対策の取り組みについて「北海道いのちの電話」を知っていた人が54.9%



		対象者数	北海道いのちの電話	札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談	札幌市依存症相談窓口	Webサイト「札幌こころのナビ」	ゲートキーパー研修会	マンガで知ろう「ゲートキーパー」の役割	その他	知っている取り組みはない	無回答
		(%)									
対象者全体		2,237	54.9	41.7	7.5	3.4	0.8	0.8	0.5	25.1	5.8
性別	男性	872	46.3	36.0	5.7	3.4	0.9	1.3	0.5	33.9	5.5
	女性	1,339	60.8	45.7	8.7	3.5	0.7	0.4	0.5	19.3	5.7
	その他	8	75.0	37.5	12.5	-	-	-	-	25.0	-
年代別	29歳以下	137	43.1	45.3	7.3	8.0	0.7	-	0.7	38.7	-
	30～39歳	196	49.0	42.3	9.7	3.6	1.5	1.5	-	31.6	0.5
	40～49歳	335	54.3	34.6	5.1	4.5	-	1.2	-	31.9	1.8
	50～59歳	411	58.4	42.6	5.6	4.1	1.5	1.0	0.7	25.3	1.2
	60～69歳	446	63.9	46.4	6.1	4.0	0.7	0.7	0.9	22.0	2.9
	70歳以上	693	52.1	41.1	10.2	1.3	0.7	0.4	0.6	19.0	14.3

 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自殺対策の取り組みについて知っていたものは、「北海道いのちの電話」が54.9%、「札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談」が41.7%、「札幌市依存症相談窓口」が7.5%となっている。

【性別】「北海道いのちの電話」「札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談」は、女性が男性より9.7ポイント以上高くなっている。

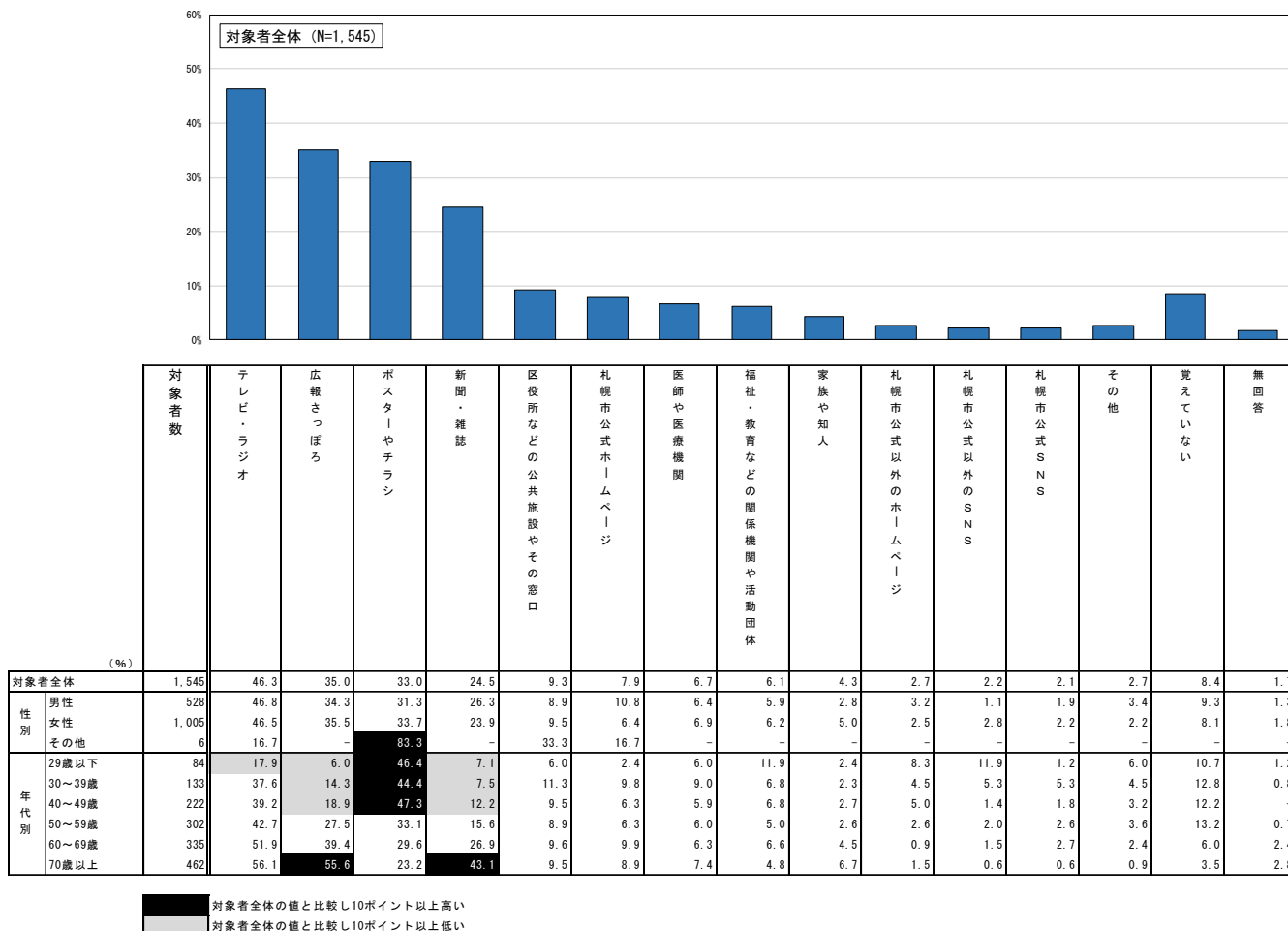
【年代別】「北海道いのちの電話」が60歳代（63.9%）で最も高く、最も低い29歳以下（43.1%）と比べると20.8ポイントの差となっている。

◇自殺対策の取り組みを知ったきっかけ

≪問31で「1」～「7」のうち、一つでも自殺対策の取り組みを知っていたと答えた方にお聞きします。≫

問31-1 あなたは、札幌市の自殺対策の取り組みをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自殺対策の取り組みを知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が46.3%



【全 体】自殺対策の取り組みを知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が46.3%、「広報さっぽろ」が35.0%、「ポスターやチラシ」が33.0%となっている。

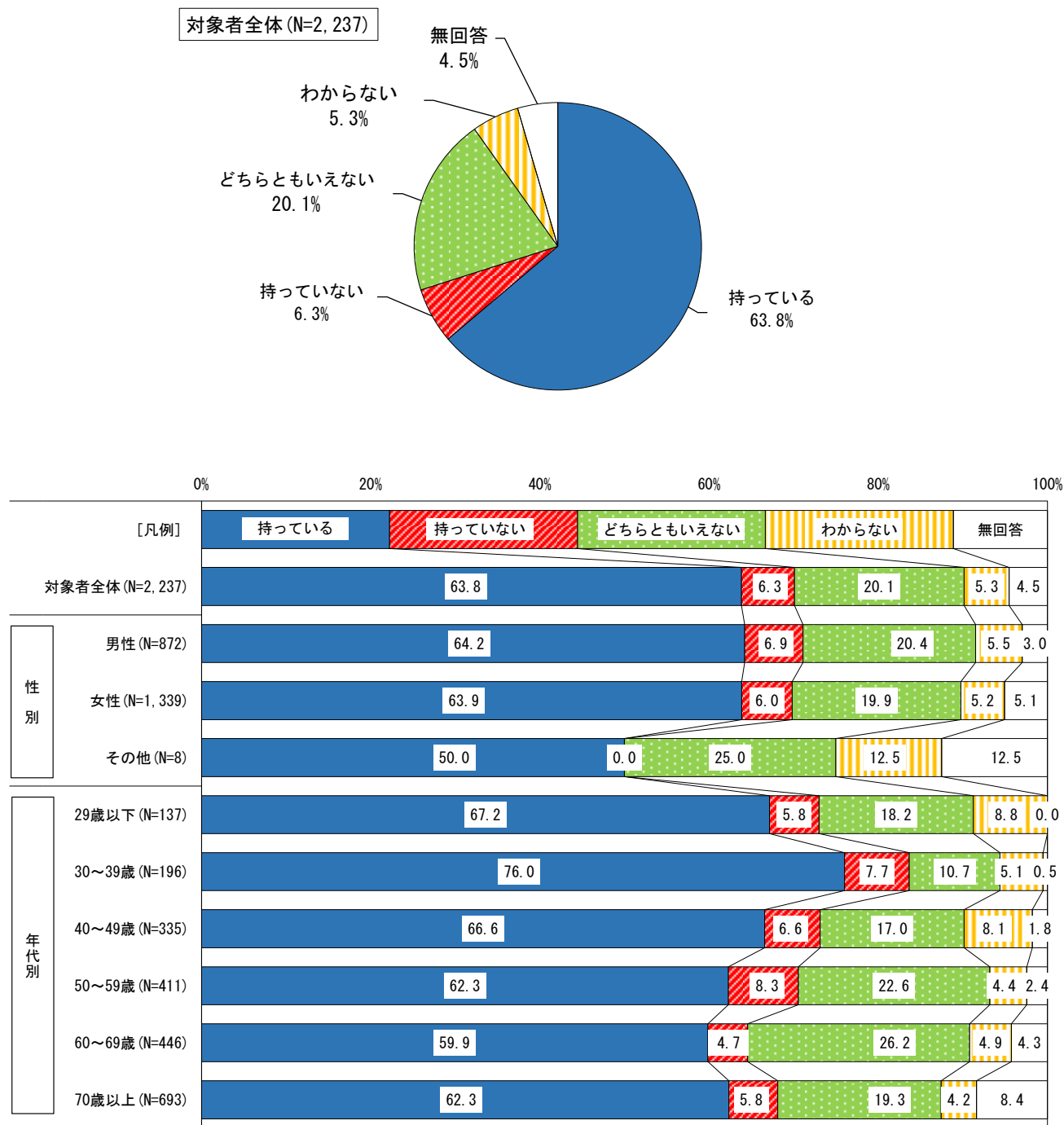
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「テレビ・ラジオ」「広報さっぽろ」「新聞・雑誌」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「生きがい」を持っているか

問3 2 あなたは「生きがい」を持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

生きがいを「持っている」と回答した人が63.8%



【全 体】生きがいを持っているかについて、「持っている」が63.8%となっている。一方で、「持っていない」が6.3%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

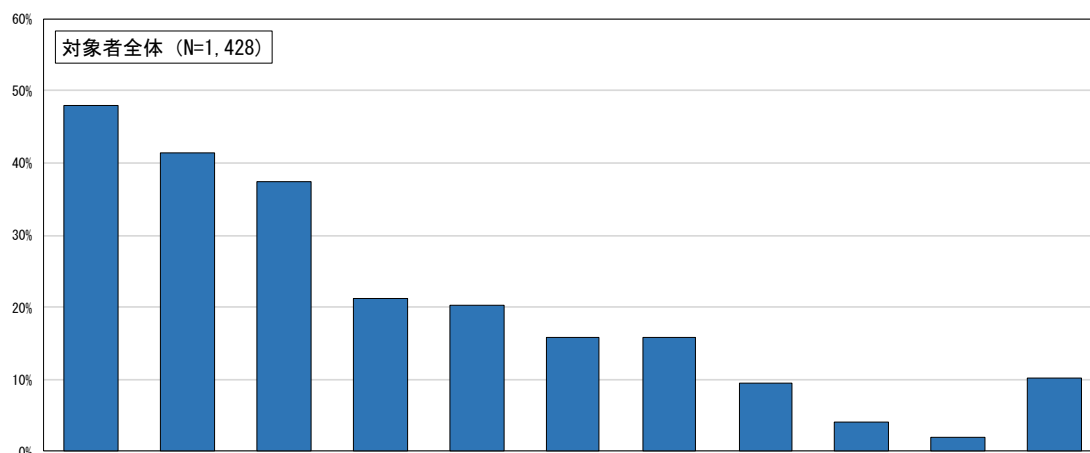
【年代別】「持っている」が30歳代（76.0%）で最も高く、最も低い60歳代（59.9%）と比べると16.1ポイントの差となっている。

◇自身の持っている「生きがい」の内容

≪問32で「1 持っている」と答えた方にお聞きします。≫

問32-1 あなたの「生きがい」の内容はどのようなものですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

持っている「生きがい」の内容について、「子や孫、その他家族のこと」と回答した人が48.0%



		対象者数	子や孫、その他家族のこと	趣味のこと	配偶者・パートナーのこと	友人など家族以外との交流	好きなものの飲食	仕事・学業のこと	自分自身の健康づくり	ペットのこと	地域活動・ボランティアのこと	その他	無回答
		(%)											
対象者全体		1,428	48.0	41.5	37.3	21.1	20.3	15.8	15.8	9.5	4.1	1.8	10.2
性別	男性	560	41.4	45.5	46.3	15.0	19.6	17.1	15.2	5.7	5.0	1.3	11.4
	女性	855	52.6	38.7	31.6	25.0	20.8	15.0	16.3	12.2	3.6	2.0	9.5
	その他	4	25.0	100.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-
年代別	29歳以下	92	21.7	55.4	32.6	31.5	31.5	20.7	4.3	15.2	-	2.2	8.7
	30～39歳	149	47.0	43.0	43.0	17.4	30.2	16.1	4.0	13.4	0.7	2.0	10.7
	40～49歳	223	57.0	33.6	37.7	13.5	23.8	24.2	4.5	8.5	0.4	1.3	11.7
	50～59歳	256	52.0	44.5	37.9	14.1	23.8	20.3	6.6	10.2	2.3	0.8	10.5
	60～69歳	267	42.7	42.7	37.5	24.3	15.7	17.6	15.0	11.2	5.2	3.0	10.5
	70歳以上	432	50.5	39.8	35.9	26.4	13.4	6.5	34.0	6.3	8.6	1.6	9.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】自身の持っている生きがいについて、「子や孫、その他家族のこと」が48.0%、「趣味のこと」が41.5%、「配偶者・パートナーのこと」が37.3%となっている。

【性 別】「子や孫、その他家族のこと」「友人など家族以外との交流」「ペットのこと」は、女性が男性より6.5ポイント以上高くなっている。また、「趣味のこと」「配偶者・パートナーのこと」は男性が女性より6.8ポイント以上高くなっている。

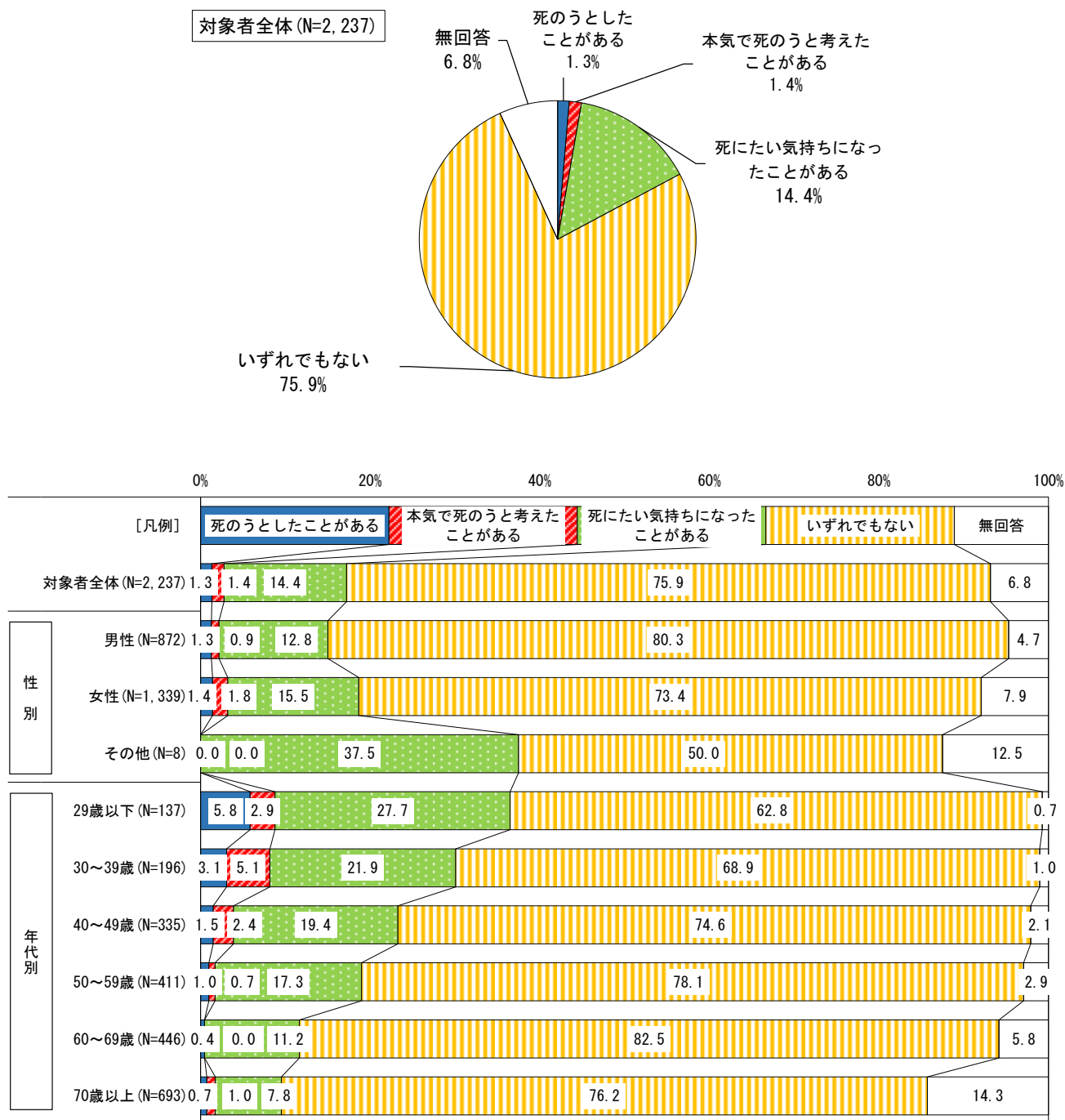
【年代別】「好きなものの飲食」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇過去1年間のうちに死のうとした、死にたいと考えた事があるか

問33 あなたは過去1年間のうちに、死のうとした、本気で死のうと考えた、または死にたい気持ちになったことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

過去1年間のうちに死のうとした、死にたいと考えた事が「ある」人が17.1%

※ “ある” = (「死のうとしたことがある」 + 「本気で死のうと考えたことがある」 + 「死にたい気持ちになったことがある」)



【全 体】過去1年間のうちに死のうとした、死にたいと考えた事があるかについて、「死のうとしたことがある」が1.3%、「本気で死のうと考えたことがある」が1.4%、「死にたい気持ちになったことがある」が14.4%、合わせると17.1%となっている。一方で、「いずれでもない」が75.9%となっている。

【性 別】「いずれでもない」は、男性が80.3%と、女性の73.4%より6.9ポイント高くなっている。

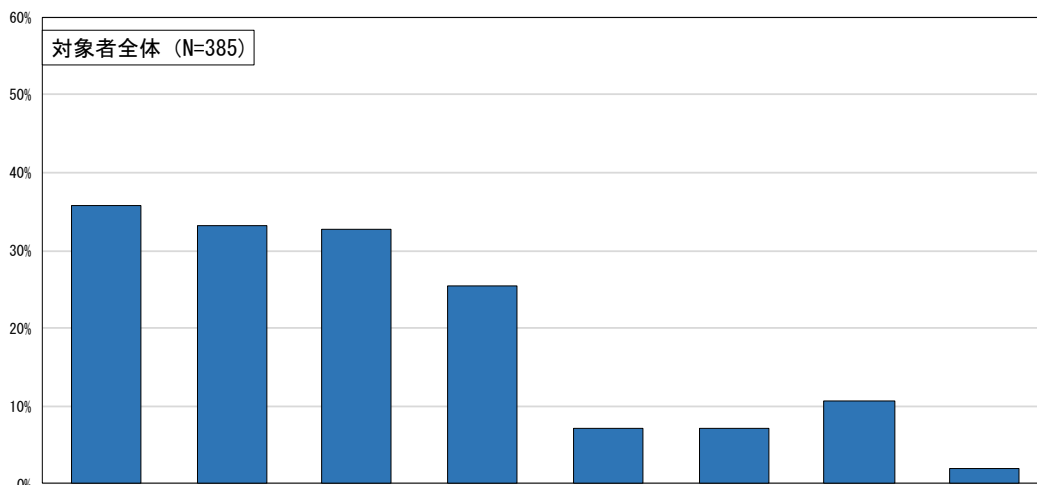
【年代別】「死にたい気持ちになったことがある」が29歳以下(27.7%)で最も高く、最も低い70歳以上と比べると19.9ポイントの差となっている。

◇死のうとした、死にたいと考えた原因

◀問33で「1 死のうとしたことがある」または「2 本気で死のうと考えたことがある」「3 死にたい気持ちになったことがある」と答えた方にお聞きします。▶

問33-1 あなたが、死のうとした、本気で死のうと考えた、または死にたい気持ちになった原因は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

死のうとした、死にたいと考えた原因は、「家庭の問題」が35.8%



		対象者数	対象者数 (%)	家庭の問題	勤務関係の問題	健康の問題	経済・生活の問題	交際の暴力関係の問題	学校・学業不振・進路・学校	その他	無回答
対象者全体		385	(%)	35.8	33.2	32.7	25.5	7.0	7.0	10.6	1.8
性別	男性	131		27.5	48.9	28.2	38.9	7.6	7.6	10.7	1.5
	女性	250		40.4	24.4	34.4	18.8	6.4	6.8	10.8	2.0
	その他	3		33.3	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-
年代別	29歳以下	50		32.0	34.0	28.0	14.0	10.0	32.0	6.0	-
	30～39歳	59		32.2	45.8	40.7	13.6	6.8	6.8	11.9	3.4
	40～49歳	78		43.6	51.3	23.1	29.5	10.3	5.1	5.1	1.3
	50～59歳	78		38.5	39.7	21.8	33.3	6.4	2.6	16.7	2.6
	60～69歳	52		28.8	17.3	40.4	30.8	5.8	1.9	9.6	-
	70歳以上	66		36.4	4.5	47.0	27.3	3.0	-	13.6	1.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】死のうとした、死にたいと考えた原因は、「家庭の問題」が35.8%、「勤務関係の問題」が33.2%、「健康の問題」が32.7%となっている。

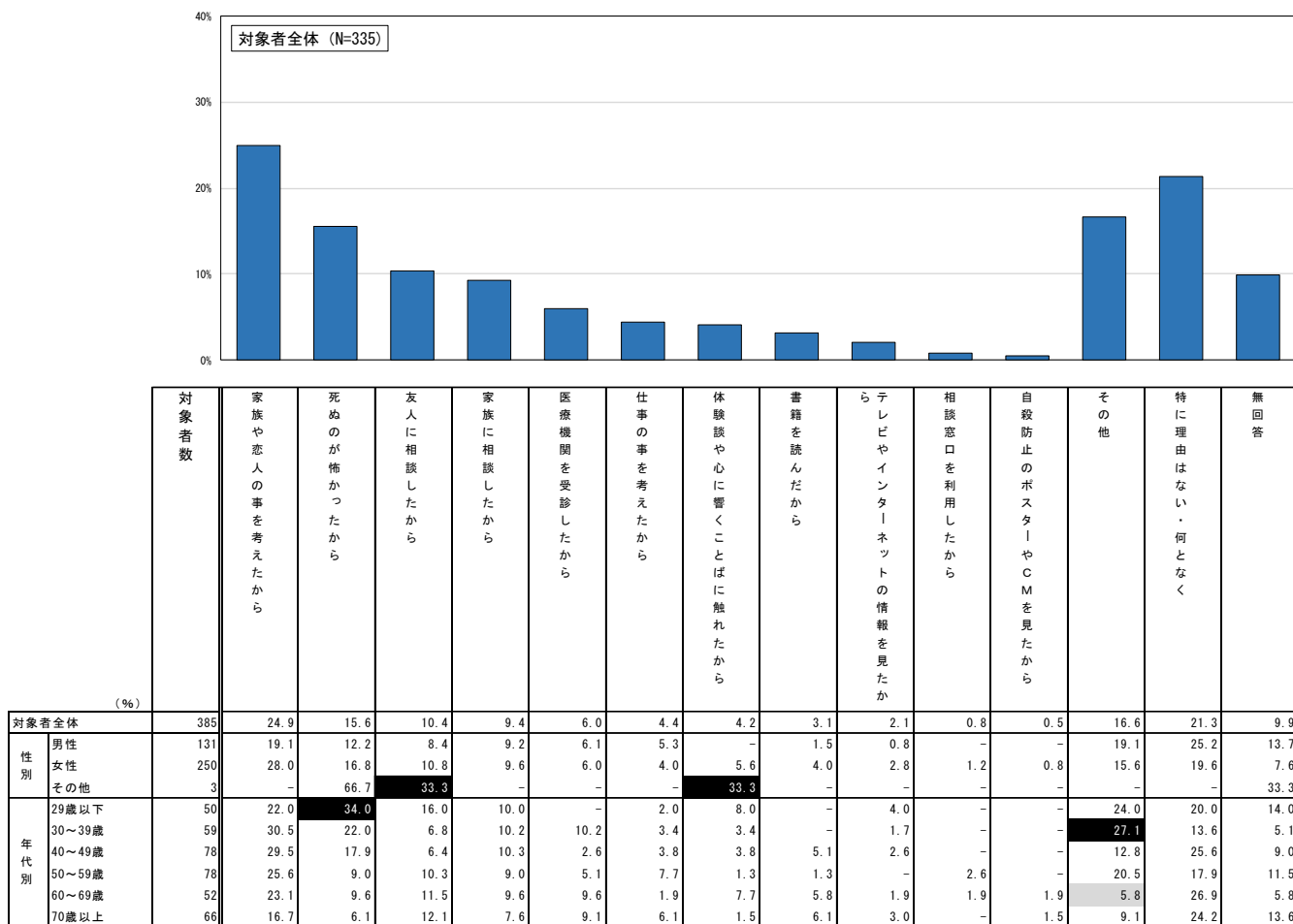
【性 別】「家庭の問題」は、女性が40.4%と、男性の27.5%より12.9ポイント高くなっている。また、「勤務関係の問題」「経済・生活の問題」は、男性が女性より20.1ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代では「勤務関係の問題」が最も高くなっている。

◇死のうとした、死にたいと考えたのを思いとどまったきっかけ

問33-2 あなたが、死のうとした、本気で死のうと考えた、または死にたい気持ちになった際に、思いとどまったのはなぜですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

死のうとした、死にたいと考えたのを思いとどまったきっかけは、「家族や恋人の事を考えたから」と回答した人が24.9%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】死のうとした、死にたいと考えたのを思いとどまったきっかけは、「家族や恋人の事を考えたから」が24.9%、「死ぬのが怖かったから」が15.6%、「友人に相談したから」が10.4%となっている。

【性 別】「家族や恋人の事を考えたから」「体験談や心に響くことばに触れたから」は、女性が男性より5.6ポイント以上高くなっている。

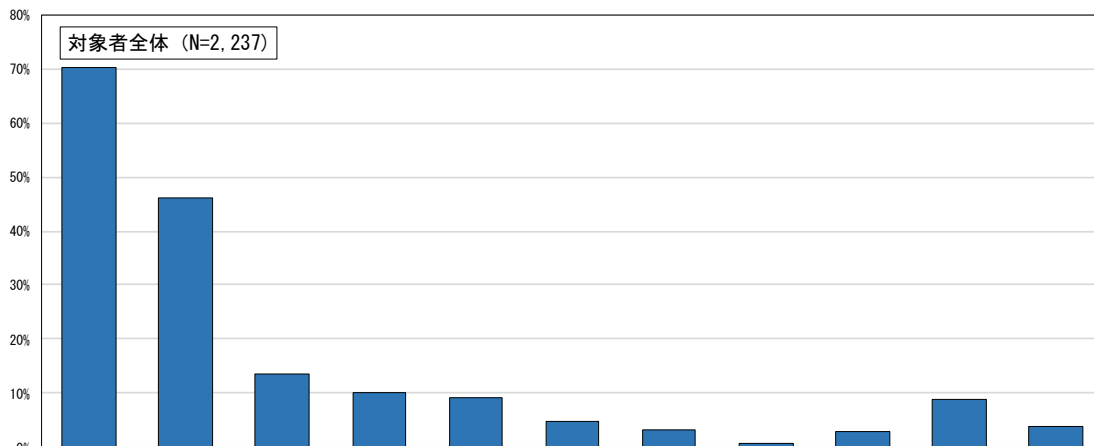
【年代別】29歳以下では「死ぬのが怖かったから」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「家族や恋人の事を考えたから」が最も高くなっている。

◇困りごとや相談を聞いてほしい相手、場所

「皆さまにお聞きします。」

問34 あなたは、困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

困りごとや相談を聞いてほしい相手、場所について「家族」と回答した人が70.3%



		対象者数	家族	友人・知人	病院などの医療機関	勤務先の上司・同僚	市の窓口（区役所や保健センターなど）	福祉・教育などの関係機関や活動団体	SNS・インターネット	先生	その他	相談する人や相談する窓口はない	無回答
		(%)											
対象者全体		2,237	70.3	46.0	13.7	10.0	9.3	4.8	3.3	0.8	2.9	8.9	3.8
性別	男性	872	67.5	38.3	14.7	13.4	9.4	4.5	3.8	0.8	2.4	12.5	2.6
	女性	1,339	72.3	51.3	13.1	7.8	9.3	5.2	3.0	0.8	2.9	6.6	4.2
	その他	8	62.5	37.5	-	12.5	-	-	12.5	-	37.5	12.5	-
年代別	29歳以下	137	70.8	62.0	7.3	14.6	3.6	2.9	8.8	3.6	3.6	2.9	1.5
	30～39歳	196	74.5	60.7	10.2	16.3	2.6	3.1	8.7	1.5	3.1	10.7	1.0
	40～49歳	335	73.4	52.2	9.0	18.8	2.4	2.4	3.9	0.6	2.1	11.9	1.8
	50～59歳	411	69.6	52.3	11.7	16.3	6.3	3.6	2.9	0.5	2.9	9.7	1.2
	60～69歳	446	71.7	42.8	15.2	7.4	11.2	4.5	3.1	0.7	2.7	8.5	3.4
	70歳以上	693	67.4	34.5	18.5	1.2	16.2	7.9	0.9	0.4	2.9	8.1	7.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】困りごとや相談を聞いてほしい相手、場所については「家族」が70.3%、「友人・知人」が46.0%、「病院などの医療機関」が13.7%となっている。

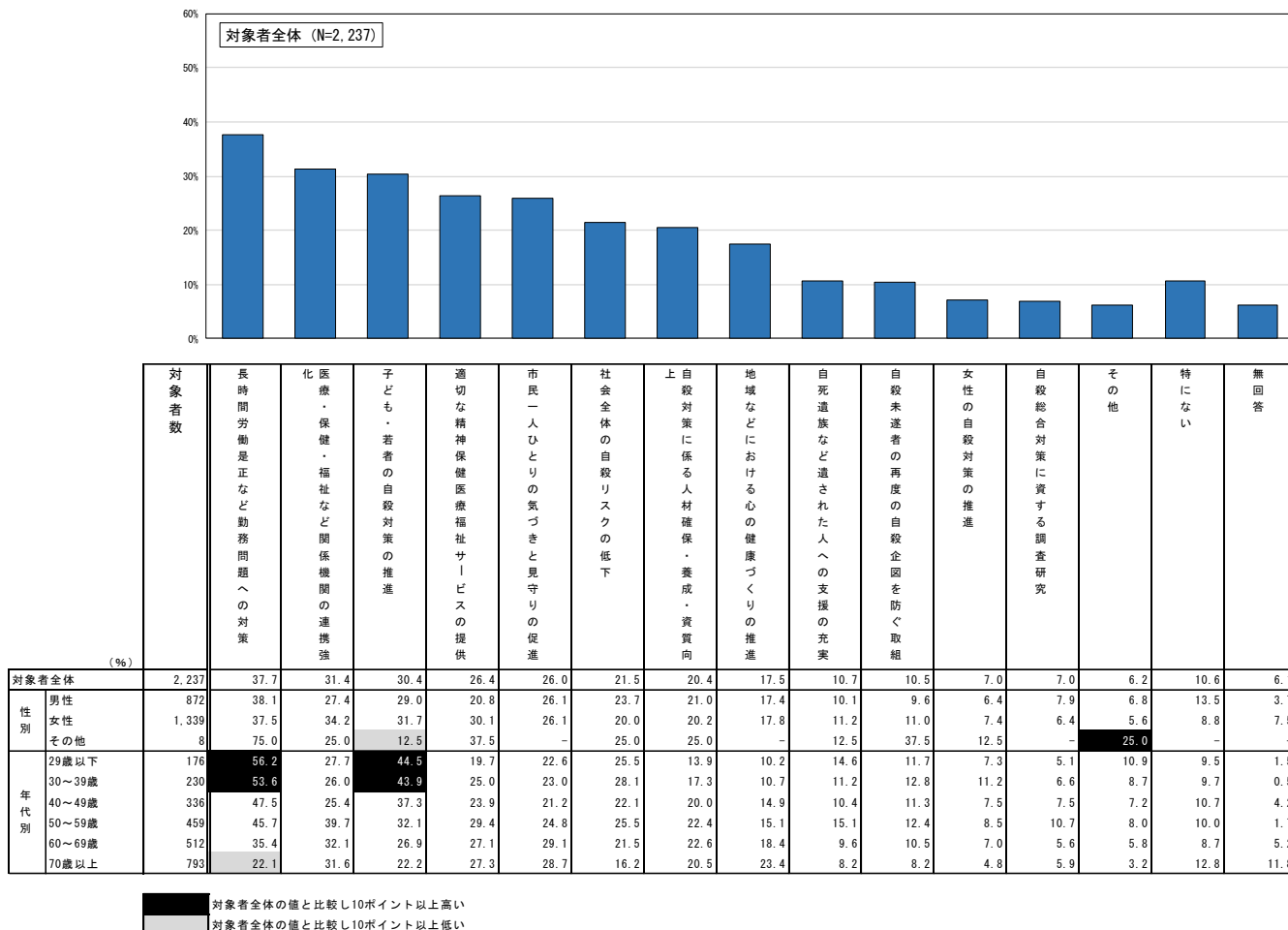
【性 別】「友人・知人」は女性が51.3%と、男性の38.3%より13.0ポイント高くなっている。また、「勤務先の上司・同僚」は男性が13.4%と、女性の7.8%より5.6ポイント高くなっている。

【年代別】全ての年代で「家族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっている。

◇自殺のない社会の実現のために推進したい取組

問35 誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すために、あなたは、どのような取組を推進したいと考えますか。あてはまるものをいくつでも○をつけてください。

自殺のない社会の実現のために推進したい取組について、「長時間労働是正など勤務問題への対策」と回答した人が37.7%



【全 体】自殺のない社会の実現のために推進したい取組について、「長時間労働是正など勤務問題への対策」が37.7%、「医療・保健・福祉など関係機関の連携強化」が31.4%、「子ども・若者の自殺対策の推進」が30.4%となっている。

【性 別】「医療・保健・福祉など関係機関の連携強化」「適切な精神保健医療福祉サービスの提供」は、女性が男性より6.8ポイント以上高くなっている。

【年代別】「長時間労働是正など勤務問題への対策」が29歳以下（56.2%）で最も高く、最も低い70歳以上（22.1%）と比べると34.1ポイントの差となっている。

資料 調査票

令和6年度第2回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和6年8月25日（日）までに、郵便ポストへ投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 片桐 ☎ 011-211-2045 まで

<市民意識調査に関するよくある質問（FAQ）>

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_eng/faq.html



テーマ1 市政広報について

「広報さっぽろ」は、札幌市が発行する広報誌で、毎月、各世帯にお配りし、各区役所などでも配布しています。ここでは「広報さっぽろ」についてお聞きします。

《皆さまにお聞きします。》

問1 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください
(ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含みます。)

- 1 必ず読んでいる } ⇒ 問1-1 へ
- 2 時々読んでいる }
- 3 あまり読んでいない } ⇒ 問1-2 へ
- 4 全く読んでいない }

《問1で「1 必ず読んでいる」または「2 時々読んでいる」と答えた方にお聞きます。》

問1-1 「広報さっぽろ」では、主に以下の企画が掲載されています。次のうち、あなたは、どの企画を読みたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 【円山動物園のこの動物に注目！】動物の生態や特徴を飼育員のコメントとともに紹介
- 2 【施設リサーチ】市内の施設の見どころや楽しみ方を紹介
- 3 【こそだて×さっぽろ】子育てに役立つ施設や制度を紹介
- 4 【しっとくさっぽろ】詐欺や災害など暮らしに潜む危険への備えをマンガで紹介
- 5 【ぽろっこタウン】市政の動きや市の取り組みを子ども向けに分かりやすく紹介
- 6 【イベントカタログ】市内のイベント情報を厳選して紹介
- 7 【市長とトーク】市民と市長が対話した内容などを紹介
- 8 【防災ワンポイント】いざというときに知っておいてほしい防災の情報を紹介
- 9 【延びらさる！健康寿命】いつまでも健康に暮らすために取り組んでほしいことを紹介
- 10 【ブラサトルと巡る！さっぽろ歴史旅】市の歴史や成り立ちを和田哲さんのお話で紹介
- 11 その他（ ）
- 12 この中には一つもない

《問1で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きします。》

問1－2 あなたが、「広報さっぽろ」を読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 市政に関心がないから 2 知りたい情報が掲載されていないから
3 読む時間がないから 4 表紙のデザインが好きではないから
5 誌面の構成が読みづらいから 6 文字が多く、読む気になれないから
7 市政情報は別の手段で入手しているから 8 その他（ ）
9 特に理由はない

《皆さまにお聞きます。》

問2 あなたが、「広報さっぽろ」で今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------------------------|------------|
| 1 地域のまちづくり活動 | 2 ボランティア | } ⇒ 問2-1 へ |
| 3 文化・芸術 | 4 高齢者福祉 | |
| 5 障がい者福祉 | 6 子ども・子育て | |
| 7 教育 | 8 ごみ | |
| 9 環境・エネルギー | 10 健康・食 | |
| 11 スポーツ | 12 防災 | |
| 13 公共施設 | 14 その他（ ） | |
| 15 特にない | ⇒ 問3 へ | |

《問2で「1」から「14」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問2-1 あなたは、問2で答えたテーマについて、具体的にどのような特集記事を読みたいと思いますか。お考えがあれば、ご自由にお書きください。

《皆さまにお聞きます。》

札幌市では、市のイベントなどのお知らせ情報を、テレビのデータ放送（北海道文化放送（UHB））で配信しています。データ放送では、市のお知らせ情報を詳細かつタイムリーにご覧いただけるとともに、必要な情報をジャンルや日付、区などで簡単に検索することができます。



データ放送のトップ画面



データ放送のカレンダー画面

問3 あなたは、札幌市からのお知らせ情報がテレビのデータ放送で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 知っていて、利用したことがある | ⇒ 問4 へ |
| 2 知っていたが、利用したことはない | ⇒ 問3-1 へ |
| 3 知らなかった | ⇒ 問4 へ |

《問3で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたが、テレビのデータ放送で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビを持っていないから
- 2 データ放送を見ないから
- 3 札幌市からのお知らせ情報を見たいと思わないから
- 4 札幌市からのお知らせ情報を見つけられないから
- 5 札幌市からのお知らせ情報を見る時間がないから
- 6 データ放送の見方が分からないから
- 7 札幌市からのお知らせ情報は別の手段で入手しているから
- 8 その他（）
- 9 特に理由はない

《皆さまにお聞きします。》

問4 あなたは市が行っているイベントの情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 広報さっぽろの全市版
- 2 広報さっぽろの区民のページ
- 3 テレビのデータ放送
- 4 札幌市公式ホームページ
- 5 札幌市公式 Facebook（フェイスブック）
- 6 札幌市公式 X（エックス）
- 7 札幌市公式 LINE（ライン）
- 8 札幌市公式 Instagram（インスタグラム）
- 9 札幌市公式以外のホームページ、Facebook、X、LINE、Instagram
- 10 イベント情報冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」
- 11 イベントを開催する施設が発行する印刷物
- 12 新聞・テレビなどの報道
- 13 フリーペーパー（ふりっぱー）
- 14 さっぽろ 10 区（トーク）
- 15 その他（）
- 16 入手していない

テーマ2 災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害や社会情勢に応じた防災対策に取り組んでいます。そこで、皆さまに災害に関することについてお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

災害時は、まずは自分の身を守る「自助」が重要となるため、札幌市では、災害の発生に備えて、平時から家庭での備えをお願いしています。

問5 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家具の固定や配置の工夫
- 2 家屋や塀などの補強
- 3 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
- 4 備蓄品や非常持ち出し品の用意
- 5 食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）
- 6 自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）
- 7 テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得
- 8 ハザードマップの確認
- 9 避難方法や最寄りの避難場所の確認
- 10 親戚や知人宅への避難の相談
- 11 地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入
- 12 地域での防災訓練や防災イベントへの参加
- 13 所有している電子端末に防災関係アプリのインストール
- 14 その他（ ）
- 15 特に何もしていない

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

	1 日 分	2 日 分	3 日分以上	用意して いない	わからない
ア 飲料水	1	2	3	4	5
イ 食料	1	2	3	4	5
ウ 携帯トイレ	1	2	3	4	5

問6-1 **問6**のア～ウ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

今年1月に能登半島地震が発生しましたが、札幌市でも、厳冬期に大地震が発生した場合が最大の被害になると想定しています。

問7 あなたは、厳冬期での災害発生に備えてどのような備蓄品を用意していますか。当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 電源不要のポータブルストーブ | 2 カセットコンロ |
| 3 非常用発電機 | 4 暖かいインナーウェア（靴下、保温肌着など） |
| 5 防寒着 | 6 寝袋や毛布 |
| 7 防寒シートや段ボール | 8 使い捨てカイロ |
| 9 その他（ | ） 10 特に何も備えていない |

問8 **厳冬期**に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウト（※）となったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 電力会社が管轄するエリア全域に及ぶ大規模停電のことをいう

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 避難所 | } ⇒ 問8-1 へ |
| 2 家族・親戚・知人宅 | |
| 3 車内 | |
| 4 ホテル等宿泊施設 | |
| 5 その他（ | |
| 6 避難しない（自宅にいる） ⇒ 問9 へ | |

≪**問8**で「6 避難しない(自宅にいる)」と答えた方以外の方お聞きします。≫

問8-1 **厳冬期**に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたが避難する理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから |
| 2 暖房機器が使用できず寒いから |
| 3 乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がないまたは少ないから |
| 4 停電により水が使えないから（マンションなど） |
| 5 不安だから |
| 6 食べ物の備蓄がない、または少ないから |
| 7 余震が心配だから |
| 8 避難先に友人・知人などがいるかもしれないから |
| 9 避難先に何か情報があるかもしれないから |
| 10 その他（ |
| ） 11 特に理由はない |

《皆さまにお聞きします。》

問9 夏季に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- | | |
|--------|----------------|
| 1 避難所 | 2 家族・親戚・知人宅 |
| 3 車内 | 4 ホテル等宿泊施設 |
| 5 その他（ | 6 避難しない（自宅にいる） |

札幌市では、ハザードマップ・各種パンフレット・防災動画・札幌市公式X（旧 Twitter）・防災アプリ等で防災の啓発を行っています。

問10 あなたは、札幌市が作成している「札幌防災動画 気づきから行動へ」を見たことがありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問11 あなたが知りたいと思う防災に関する項目は何ですか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所 |
| 2 洪水や内水氾濫にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難所 |
| 3 土砂災害のリスク・基礎知識・災害時の情報収集先・最寄りの避難所 |
| 4 津波にかかる災害リスク・基礎知識・災害時の情報収集先 |
| 5 家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について |
| 6 マンション特有の被害や防災について |
| 7 地域で助け合うための自主防災制度や活動について |
| 8 企業が行うべき防災について |
| 9 その他（ |

問12 あなたは、防災の知識や情報を何で得ていますか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 テレビやラジオ | 2 インターネット |
| 3 雑誌や本 | 4 新聞 |
| 5 SNS | 6 ポスターや掲示板 |
| 7 その他（ | 8 何も得ていない |

問13 あなたは、過去に防災に関するセミナーやイベントに参加したことがありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問14 あなたは今後、防災にかかるセミナーやイベントに参加しようと思いますか。

- | | | |
|-----------------|---|-----------|
| 1 必ず参加しようと思う | } | ⇒ 問15 へ |
| 2 できるだけ参加しようと思う | | |
| 3 あまり参加しようと思わない | } | ⇒ 問14-1 へ |
| 4 参加しようと思わない | | |

≪問14で3 あまり参加しようと思わないまたは4 参加しようと思わないと答えた方にお聞きます。≫

問14-1 あなたが参加しようと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1 時間がとれないから | 2 開催される日時や場所が分からないから |
| 3 1人では参加しにくいから | 4 会場まで行くのが大変だから |
| 5 役に立つ情報が得られると思えないから | 6 興味・関心がないから |
| 7 インターネットや本などで
すでに必要な情報を得ているから | 8 その他 () |
| 9 特に理由はない | |

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

住民票は区役所で取得？
いいえ、私はコンビニで取得します！

札幌市

区役所よりも100円 お得に取得！

コンビニ交付 100円 減額

必要な
もの

マイナンバーカード

と

暗証番号
ご自身で設定した4桁

注意

マイナンバーカードの受け取り直後や
市外からのお引越し直後は、すぐにご利用できません！



▲詳細はこちら

テーマ3 歯・口腔の健康づくりについて

札幌市では、令和6年3月に「第2次札幌市生涯歯科口腔保健推進計画」を策定し、歯と口腔の健康づくりに取り組んでいます。

そこで、市民の皆さまに歯や口腔の健康への関心などについてお聞きし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

問15 あなたは、過去1年間に歯科健診を受けましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

問16 あなたは、歯の健康のために気をつけていることはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 歯磨きを1日2回以上している | 2 歯間ブラシも使用している |
| 3 定期的に歯科検診を受けている | 4 歯石は年1回以上取るようにしている |
| 5 歯ごたえのあるものをよくかむ | 6 間食の回数を控える |
| 7 禁煙をする | 8 甘いものを控える |
| 9 その他（ | ） |
| 10 特に何も気をつけていない | |

問17 あなた自身の歯は何本ありますか。

※差し歯は含みますが、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。親知らずを除くと全部で28本ですが、28本より多い場合や少ない場合もあります。

本

問18 あなたがかんで食えるときの状態について、次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 何でもかんで食べることができる | 2 一部かめない食べ物がある |
| 3 かめない食べ物が多い | 4 かんで食べることはできない |

歯周病は、歯垢の中の細菌によって歯の周りの歯ぐき（歯肉）に炎症をひき起こし、やがては歯を支えている骨を溶かしてしまう病気です。

問19 あなたは、喫煙は歯周病を悪化させる要因のひとつであることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問20 あなたは、糖尿病が歯周病を悪化させたり、逆に歯周病が糖尿病を悪化させる可能性があることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

79

《問22で「2 ない」と答えた方にお聞きします。》

問23 あなたは、さっぽろ市歯周疾患検診を受診しなかった理由は何ですか？あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 忙しかったから | 2 知らなかったから |
| 3 興味がなかったから | 4 体調が悪かったから |
| 5 必要性を感じなかったから | 6 かかりつけ歯科医院で受診できないから |
| 7 その他（ | ） |

札幌市では、市内にお住まいの北海道後期高齢者医療被保険者（75歳以上の方または65歳から74歳で一定の障がいのある方）を対象に歯科健診を行っています。令和3年度から対象の方に受診券（案内）を送付しています。

《北海道後期高齢者医療被保険者の方にお聞きします。それ以外の方は問25へお進みください。》

問24 あなたは、「後期高齢者歯科健診」を受診したことがありますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 ある ⇒ 問24-1 へ | 2 ない ⇒ 問25 へ |
|----------------|--------------|

《問24で「1 ある」と答えた方にお聞きします。》

問24-1 あなたが「後期高齢者歯科健診」を受診した理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 歯科医院で勧められたから | 2 家族や友人などから勧められたから |
| 3 受診券（案内）が届いたから | 4 日頃から歯に気をつけているから |
| 5 必要性を感じていたから | 6 興味があったから |
| 7 400円で受診できるから | 8 行きやすいところに歯科医院があったから |
| 9 その他（ | ） |

「フレイル」とは、加齢にともなって心身の機能が徐々に低下してしまい、健康な日常生活を送るための身体機能や認知機能に低下が見られる状況のことです。「Frailty（虚弱）」という英単語から来ています。

このフレイルに「口の」を意味する「オーラル」が組み合わさった言葉が「オーラルフレイル」です。「オーラルフレイル」は食べたり話したりするための口の機能が低下してしまうことです。

問25 あなたは、オーラルフレイルについて知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 名称も内容も知っていた | 2 名称だけ知っていた |
| 3 知らなかった | |

テーマ4 札幌市における自殺対策について

札幌市では、「札幌市自殺総合対策行動計画 2024」に基づき、「ひとりでも多くの命を救う」ことを目標に自殺総合対策事業を行っています。

そこで、市民の皆さまの自殺に関する意識をお聞きし、今後の自殺対策の参考とさせていただきます。

問26 札幌市において年間 300 人を超える方が自ら命を絶っています。あなたは、このことを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 前から知っていた

2 知らなかった

問27 あなたは、周りにいる悩んでいる人から「死にたい」という相談を受けたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 はい

2 いいえ

問28 あなたは、周りにいる悩んでいる人にきづいたとき、どのように対応するのが最も望ましいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 話しかけず、そっとしておく

2 気分転換のために無理にでも外へ連れ出す

3 元気を出すように励ます

4 声をかけてじっくりと話を聞く

5 心配していることを伝えて見守る

6 その他（ ）

7 わからない

札幌市では「市民一人ひとりがゲートキーパーになること」を目指して自殺対策に取り組んでいます。

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人にきづき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、みまもる人のことです。特別な資格は必要なく、さまざまな立場の方が、それぞれの立場においてゲートキーパーになることができます。

問29 あなたは、前記の「ゲートキーパー」の意味は知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 言葉の意味をよく知っていた

2 言葉の意味を多少は知っていた

3 言葉の意味は知らなかったが、「ゲートキーパー」という名称は知っていた

4 「ゲートキーパー」という名称も知らなかった

問30 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

依存症に関する考え方		そう思う	どちらかという そう思う	どちらともいえない	どちらかという そう思わない	そう思わない
ア	依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない	1	2	3	4	5
イ	依存症は、誰にでも起こりうる問題である。	1	2	3	4	5
ウ	お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない	1	2	3	4	5
エ	借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない	1	2	3	4	5
オ	本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切	1	2	3	4	5
カ	本人が依存症であることを認めることから回復が始まる	1	2	3	4	5
キ	依存症の回復には長い時間がかかる	1	2	3	4	5

問31 次の自殺対策の取り組みのうち、あなたが知っていたものにいくつでも○をつけてください。

1 札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談 2 札幌市依存症相談窓口 3 Webサイト「札幌こころのナビ」 4 ゲートキーパー研修会 5 マンガで知ろう「ゲートキーパー」の役割 6 北海道いのちの電話 7 その他（ ） 8 知っている取り組みはない	}	⇒「1」～「7」に○をつけた方は 問31-1 へ ⇒ 問32 へ
--	---	--

《**問31**で「1」～「7」のうち、一つでも自殺対策の取り組みを知っていたと答えた方にお聞きします。》

問31-1 あなたは、札幌市の自殺対策の取り組みをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 ポスターやチラシ	2 新聞・雑誌
3 テレビ・ラジオ	4 広報さっぽろ
5 札幌市公式ホームページ	6 札幌市公式以外のホームページ
7 札幌市公式SNS	8 札幌市公式以外のSNS
9 家族や知人	10 区役所などの公共施設やその窓口
11 医師や医療機関	12 福祉・教育などの関係機関や活動団体
13 その他（ ）	14 覚えていない

問33-2

- 1 家族に相談したから

- 2 友人に相談したから

- ### 3 家族や恋人の事を考えたから

- #### 4 仕事の事を考えたから

- 5 医療機関を受診したから

- ## 6 死ぬのが怖かったから

- ## 7 書籍を読んだから

- ## 8 体験談や心に響くことばに触れたから

- ## 9 相談窓口を利用したから

- 10 自殺防止のポスターやCMを見たから

- 11 原因となった問題が解決したから

- 12 テレビやインターネットの情報を見たから

- 13 その他（

- 14 特に理由はない・何となく

《皆さまにお聞きします。》

問 34

- ## 1 家族

- ## 2 友人・知人

- ### 3 市の窓口（区役所や保健センターなど）

- 4 先生

- ## 5 勤務先の上司・同僚

- ## 6 病院などの医療機関

- ## 7 福祉・教育などの関係機関や活動団体

- ## 8 SNS・インターネット

- 9 その他 (

- ）10 相談する人や相談する窓口はない

問 35

- ## 1 市民一人ひとりの気づきと見守りの促進

- ## 2 自殺対策に係る人材確保・養成・資質向上

- ### 3 地域などにおける心の健康づくりの推進

- #### 4 長時間労働是正など勤務問題への対策

- ## 5 適切な精神保健医療福祉サービスの提供

- ## 6 社会全体の自殺リスクの低下

- ## 7 子ども・若者の自殺対策の推進

- ## 8 女性の自殺対策の推進

- ## 9 自殺総合対策に資する調査研究

- 10 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ取組

- ## 11 自死遺族など遺された人への支援の充実

- ## 12 医療・保健・福祉など関係機関の連携強化

- 13 その他（

-) 14 特にない

自殺は全国的な社会問題であり、札幌市においても年間 300 人を超える方が自ら命を絶っています。そのため、札幌市では以下のような相談窓口を開設しています。

○札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談 ※12月29日～1月3日はお休みです。

011-622-0556 (平日 9 時～17 時)

0570-064-556 (平日 17 時～21 時、土日祝休日 10 時～16 時)

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F2 あなたの年齢は（令和6年8月1日現在）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～74歳 8 75歳以上

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）

- 1 配偶者 2 乳幼児（0～2歳程度）
3 就学前児童（3～5歳程度） 4 小学生（6～12歳程度）
5 中学生（13～15歳程度） 6 高校生（16～18歳程度）
7 大学（院）・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和6年8月25日（日）までに、郵便ポストへ投函してください。

SAPPORO